

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和5年4月10日
住 所 埼玉県川越市大仙波369
県内企業等の名称 株式会社セムコーポレーション東京工場
代表者役職氏名 工場長 中川吾朗

株式会社セムコーポレーション

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は技術力のある環境企業を掲げており、環境に寄り添い環境に適した製品の開発販売をすることで、地域社会の発展に貢献していこうと考えています。よりよい環境を提供するという社会活動によりSDGs目標への達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	ペーパーレス化を推進し、紙資源や印刷資源の削減に努めていく。 <(現状値)2022年の数値> コピー用紙使用枚数:300,000枚/年	<2030年に向けた指標> 150,000枚/年 <取組開始3年後に向けた指標> 250,000枚/年
社会	社会貢献活動の推進として、地域の交通安全活動に参加する。 <(現状値)2022年の数値> 参加回数:1回/年(のべ2人参加)	<2030年に向けた指標> 4回/年(のべ8人参加) <取組開始3年後に向けた指標> 2回/年(のべ4人参加)
経済	水質汚染や土壌汚染の削減に貢献する医療機関向けの排水処理製品の販売促進を行う。 <(現状値)2022年の数値> 排水処理製品売上高:500万円/年	<2030年に向けた指標> 3,000万円/年 <取組開始3年後に向けた指標> 1,500万円/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 4月 10日
住 所 和光市丸山台3-12-11
県内企業等の名称 長岡紙器工業株式会社
代表者役職氏名 代表取締役 佐藤 弘行

長岡紙器工業株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

弊社は企業精神「前へ！」に則り、豊かな生活に貢献するとともに、環境・社会・経済活動において持続可能な経済活動を行う事により、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	地球温暖化防止のため、工場及び事務所の照明をLEDに変更し、電力使用量を削減することによりCO2排出を低減する。 <(現状値)2022年の数値> ①電気使用量:143,000kwh/年 ②LED化率:0%(事務所及び工場全域)	<2030年に向けた指標> ①2022年比 30%削減 ②100%(事務所内及び工場全域) <取組開始3年後に向けた指標> ①2022年比 15%削減 ②15%(事務所内)
社会	社員参加型の地域美化活動を行う。 <(現状値)2022年の数値> 美化活動回数:0回/月 のべ0人参加	<2030年に向けた指標> 12回/年 のべ216人参加 <取組開始3年後に向けた指標> 6回/年 のべ108人参加
経済	多様な働き方やワークライフバランス達成のため、子育て世帯(中学生まで)を対象に短時間労働の枠を増やし、地域の方の雇用を創出する。 <(現状値)2022年の数値> 子育て世帯雇用数:7名(累計)	<2030年に向けた指標> 12名 <取組開始3年後に向けた指標> 9名

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 4月 10日
住 所 埼玉県和光市新倉2-17-42
県内企業等の名称 サクラ建設株式会社
代表者役職氏名 代表取締役 手塚 秀夫

サクラ建設株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、住みよい街づくりと地域貢献を目標とした会社運営を目指し、昭和50年より日々精進してまいりました。今後も、地域の暮らし・より良い未来のために今までと変わることなく、社員一丸となって取り組んでまいります。
この考えは持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが役割を認識し、誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献してまいります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	DX化によるペーパーレス化を推進し、紙資源や印刷資材の削減を推進する。 照明のLED化を推進し、電力使用料の削減をはかる。 <(現状値)2022年の数値> ① コピー用紙使用枚数 140,000枚/年 ② LED化率: 12.5%(1室/8室)	<2030年に向けた指標> ① 2022年比40%削減 ② 95%(7.5室/8室) <取組開始3年後に向けた指標> ① 2022年比10%削減 ② 50%(4室/8室)
社会	社員参加型の地域美化活動を行う。 『赤い羽根募金』『日本赤十字社』『彩の国みどりの基金』等へ寄付を行う。 <(現状値)2022年の数値> ①清掃活動などの地域活動:6回/年(のべ20人参加) ②上記等団体へ合計寄付金額:3万円	<2030年に向けた指標> ① 6回/年(のべ30名参加) ② 7団体へ合計7万円 <取組開始3年後に向けた指標> ① 6回/年(のべ25名参加) ② 5団体へ合計5万円
経済	働きがいのある職場環境、仕事への意欲・私生活充実のため、業務効率化を推進し、休日取得日数増加を目指す。 <(現状値)2022年の数値> 年次休暇平均取得日数:5日	<2030年に向けた指標> 10日 <取組開始3年後に向けた指標> 7日

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 4月 10日
住 所 入間市宮寺4197-1
県内企業等の名称 フィルモールド・ラボラトリー株式会社
代表者役職氏名 代表取締役 永井 裕二

フィルモールド・ラボラトリー株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、自社のつくった製品が世の中の役に立つこと、日々の取引を通じてお客様はもちろん、すべての取引先が
繁栄すること、企業活動を通じて国や地域など広く社会に貢献することが当社の存在する意義であると掲げてお
り、いま、私たちができることはこうした社会貢献の精神を貫くことであり、グローバルな観点はもちろんのこと、
国や埼玉県、そして地元のまちづくりに企業活動を通じて貢献していく強い意思があります。このような当社の理
念に基づき社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	社内書類の電子化を進め、コピー紙使用量の削減を行う。 <(現状値)2022年の数値> コピー紙使用量:2,000枚/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 50%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 20%削減
社会	地域の清掃活動など社会貢献事業に積極的に参加する。 <(現状値)2022年の数値> 活動実施回数0回/年 のべ0人参加	<2030年に向けた指標> 8回/年 のべ16人参加 <取組開始3年後に向けた指標> 5回/年 のべ10人参加
経済	地域経済活性化のため、埼玉県産業振興公社が運営するS-SEARCH(登録済)などを活かして県内の年間を通じた顧客数を増加させる。 <(現状値)2022年実績> 県内受注顧客:1社/年	<2030年に向けた指標> 5社/年 <取組開始3年後に向けた指標> 2社/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5 年 4月 10日
住 所 さいたま市浦和区上木崎6-9-3
県内企業等の名称 有限会社福祉ネットワークさくら
代表者役職氏名 代表取締役 横山由紀子

有限会社福祉ネットワークさくら はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社の理念「住みなれた地域で支えあうベストパートナーをめざします」に基づき行動し、社会の発展に貢献する。この考えは持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	3Rの推進に取り組み、ペーパーレス化を行い、ごみの削減に繋げる。 <(現状値)2022年の数値> コピー用紙使用枚数:240,000枚/年	<2030年に向けた指標> 48,000枚/年 <取組開始3年後に向けた指標> 120,000枚/年
社会	福祉・教職課程を専攻する実習生を積極的に受入れる。 <(現状値)2022年の数値> 実習生受入人数:2名/年	<2030年に向けた指標> 10名/年 <取組開始3年後に向けた指標> 6名/年
経済	多様な働き方を推進するため障害者雇用を増員する <(現状値)2022年の数値> 障害者雇用率:3%(2名/60名)	<2030年に向けた指標> 7%(6名/80名) <取組開始3年後に向けた指標> 5%(4名/70名)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 4月 10日
住 所 入間市狭山ヶ原317-1
県内企業等の名称 株式会社立枝建工
代表者役職氏名 代表取締役 立枝 博之

株式会社立枝建工

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、経営理念「人と人が強いネットワークを作り、互いに対する【思いやり】の心を大切にお付き合いする。そんな人間関係を作っていける会社を目指す」を掲げている。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、コピー用紙の使用枚数を削減する。 <(現状値)2022年の数値> コピー用紙使用枚数:80,000枚/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 20%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 10%削減
社会	社会貢献活動の一環として、チャリティー自販機の設置をする。 <(現状値)2022年の数値> 自販機設置数:0台	<2030年に向けた指標> 2台(累計) <取組開始3年後に向けた指標> 1台(累計)
経済	従業員のワークバランス向上促進のため、年次休暇取得日数を増加させる。 <(現状値)2022年の数値> 年次休暇平均取得日数:6日/年	<2030年に向けた指標> 10日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 8日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 4月 10日
住 所 上尾市錦町38-2
県内企業等の名称 株式会社エムズ
代表者役職 氏名 代表取締役 松崎 真一

株式会社エムズ

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

弊社は企業理念である脱炭素化を目指し、太陽光発電の拡販により、地球環境の改善と地域社会の発展に貢献する。この考え方は、持続可能な開発目標(SDGs)と同じ目標を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献して行く。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO2削減のため、環境配慮型の車両に順次入れ替える。 <(現状値)2022年の数値> ①環境配慮型車両の導入割合:16%(1台/6台) ②平均燃費:13.5km/L	<2030年に向けた指標> 50%(3台/6台)②16.75km/L <取組開始3年後に向けた指標> 33%(2台/6台)②15.6km/L
社会	社員参加型の社会貢献活動を推進する。 <(現状値)2022年の数値> ①街の美化活動実施回数:3回/年・のべ15人参加 ②地元消防団での活動:0回/年のべ0人参加	<2030年に向けた指標> ①10回/年・のべ50人参加 ②2回/年・のべ4人参加 <取組開始3年後に向けた指標> ①5回/年・のべ25人参加 ②1回/年・のべ1人参加
経済	多様な働き方を推進するため、高齢者雇用を積極的に進める。 <(現状値)2022年の数値> 高齢者(60歳以上)の雇用比率:16%(1人/6人)	<2030年に向けた指標> 33%(3人/9人) <取組開始3年後に向けた指標> 25%(2人/8人)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 4月 10日
住 所 深谷市田中357-1
県内企業等の名称 株式会社タジリ
代表者役職氏名 代表取締役 田尻 洋

株式会社タジリ

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は1967年の創業以来、環境分野の事業に携わってきた会社である。創業以来培ってきた知見・技術をもとに、プラスチック廃棄物のリサイクル機器・設備の製造や設置を進めることにより、環境負荷低減社会の構築を目指し、CO2削減を進めて、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	FAX・閲覧資料・客先提出書類の電子化、ペーパーレスに努め、紙の使用枚数削減に取り組む。 <(現状値)2022年の数値> コピー用紙使用枚数:38,400枚/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 30%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 15%削減
社会	①地域の特別支援学校への寄付を行う ②地域美化のため近隣地域の清掃活動を行う。 <(現状値)2022年の数値> ①寄付金額:0円/年 ②清掃活動実施回数:0回/年(のべ0人参加)	<2030年に向けた指標> ①50,000円/年 ②12回/年(のべ30人参加) <取組開始3年後に向けた指標> ①20,000円/年 ②2回/年(のべ5人参加)
経済	CO2削減のため、プラスチック廃棄物のリサイクル機器・設備の販売を促進する。 <(現状値)2022年の数値> 販売実績:350施設(累計)	<2030年に向けた指標> 400施設(累計) <取組開始3年後に向けた指標> 370施設(累計)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 4月 11日

住 所 さいたま市大宮区大成町2-357-3

県内企業等の名称 株式会社壮月

代表者役職氏名 代表取締役 新田奈津紀

株式会社壮月

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

弊社は従業員の多様な働き方を後押ししつつ、事業活動を通じて地域社会への貢献をしていく。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組む事により、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境配慮型の素材を使用した名刺を採用するとともに、コピー用紙に再生紙を利用する。 <(現状値)2022年の数値> ①環境配慮型名刺導入率:0%(0枚/900枚) ②コピー用紙の再生紙導入率:0%(0枚/16,000枚)	<2030年に向けた指標> ①80% ②80% <取組開始3年後に向けた指標> ①30% ②50%
社会	日本赤十字社への寄付を通じて、社会貢献に参画する。 <(現状値)2022年の数値> ①寄付額:0円/年 ②寄付件数:0回/年	<2030年に向けた指標> ①3万円/年 ②1回/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①1万円/年 ②1回/年
経済	女性雇用比率の向上と環境に配慮した製品の販売を開始する。 <(現状値)2022年の数値> ①女性雇用率:9%(1人/11人) ②環境配慮型商品の販売点数:0点/年	<2030年に向けた指標> ①30%(4人/13人) ②5点/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①27%(3人/11人) ②2点/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 4月 11日
住 所 鴻巣市笠原1104
県内企業等の名称 有限会社カロエ
代表者役職氏名 社長 小野寺 洋二

有限会社カロエ

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社の経営理念である「社会貢献あつての会社組織」に基づき行動し、女性の社会進出を中心に、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、ペーパーレス化を推進し、コピー用紙の使用量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> コピー用紙使用枚数:32,400枚/年	<2030年に向けた指標> 15,600枚/年 <取組開始3年後に向けた指標> 22,800枚/年
社会	地域の活性化のため、地元祭りへの参加・支援を行う。 <(現状値)2022年の数値> 地元祭りへの参加:年1回/のべ1人参加	<2030年に向けた指標> 年3回/のべ9人参加 <取組開始3年後に向けた指標> 年2回/のべ4人参加
経済	多様な働き方の推進として、女性の雇用及び女性の役職登用を積極的に進める。 <(現状値)2022年の数値> ①女性雇用率:43%(3人/7人) ②女性役職者割合:33%(1人/3人)	<2030年に向けた指標> ①56%(5人/9人) ②50%(2人/4人) <取組開始3年後に向けた指標> ①50%(4人/8人) ②33%(1人/3人)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5 年 4 月 11日

住 所 埼玉県川越市山田東町1707-1

県内企業等の名称 福田板金株式会社

代表者役職氏名 代表取締役 福田 由武

福田板金株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

「社員・お客さまを大切に地域社会に貢献する」という経営理念のもと、行動をし社会の発展に貢献する。この考えは、SDGsと同じ方向を目指すものであり、社員一人ひとりが事業活動に真摯に取り組むことでSDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	大型機械5台を省エネ機械に切り替える。(従来より電力消費量56%削減) <(現状値)2022年の数値> 省エネ機械台数:3台/5台	<2030年に向けた指標> 5台/5台(100%) <取組開始3年後に向けた指標> 4台/5台(80%)
社会	社員参加型の地域社会貢献活動を推進する。 <(現状値)2022年の数値> 街の美化活動実施回数:2回/年・のべ20人参加	<2030年に向けた指標> 5回/年・のべ50人参加 <取組開始3年後に向けた指標> 3回/年・のべ30人参加
経済	多様な働き方推進として、定年制の年齢引き上げを行う。また、働きがい創出のため、社員の時間外労働削減を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①定年雇用:60歳 ②平均所定外労働時間:20時間/月	<2030年に向けた指標> ①定年雇用:70歳 ②10時間/月 <取組開始3年後に向けた指標> ①定年雇用:65歳 ②15時間/月

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 4月 11日
住 所 埼玉県坂戸市紺屋435-14
県内企業等の名称 坂創設備工業株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役 関口 豪

坂創設備工業株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社経営ビジョンにある、「100年永続できる企業を目指す」に基づき、地域社会の発展に貢献していく。従業員一人ひとりが社会貢献に対する意識を高く持ち、事業活動に取り組むことで、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO2排出削減のため、環境配慮型車両への切り替えを行う。 <(現状値)2022年の数値> 環境配慮型車両台数:4台/16台	<2030年に向けた指標> 8台/16台(50%) <取組開始3年後に向けた指標> 6台/14台(40%)
社会	社員参加型の社会貢献活動を実施する。 <(現状値)2022年の数値> 街の美化活動:0回/年・のべ0人参加	<2030年に向けた指標> 4回/年・のべ40人参加 <取組開始3年後に向けた指標> 2回/年・のべ20人参加
経済	誰もが活躍できる社会づくりのため、高齢者・障がい者雇用を積極的に行っていく。 <(現状値)2022年の数値> ①高齢者(60歳以上)雇用人数:1人(パート)/10人 ②障がい者雇用人数:1人/10人	<2030年に向けた指標> ①3人(社員2名・パート1名)/13人 ②2人/13人 <取組開始3年後に向けた指標> ①2人(社員1名・パート1名)/11人 ②1人/11人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5 年 4 月 11 日
住 所 埼玉県川越市上寺山158-3
県内企業等の名称 株式会社共和エレック
代表者役職 氏名 代表取締役 永島 明

株式会社共和エレック はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は下記経営理念に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。
「・ライフラインに携わる企業として、安心・安全・快適な生活を創造します
・常に高い志と使命感をもって生活環境の向上を約束します
・コンプライアンスを重視し、地域に頼られるオンリーワン企業を目指します」

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO2削減のため、社用車を環境配慮型車両にする。 <(現状値)2022年の数値> ①環境配慮型車両台数:20%(3台/15台) ②平均燃費:22.6km/L	<2030年に向けた指標> ①33%(5台/15台) ②28km/L <取組開始3年後に向けた指標> ①27%(4台/15台) ②25km/L
社会	社員参加型の社会貢献活動の一環として、街の美化活動を実施する。 <(現状値)2022年の数値> 美化活動実施回数:2回/年・延べ30人参加	<2030年に向けた指標> 4回/年・延べ50人参加 <取組開始3年後に向けた指標> 3回/年・延べ40人参加
経済	高齢者(60歳以上)の雇用を積極的に推進していく。 <(現状値)2022年の数値> 高齢者の雇用比率:0%(0人/22人)	<2030年に向けた指標> 17%(5人/30人) <取組開始3年後に向けた指標> 8%(2人/25人)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 4月 10日
住 所 川越市的場981-7
県内企業等の名称 有限会社モナミモータース
代表者役職 氏名 取締役 富岡 竜一

有限会社モナミモータース はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社の社名“モナミモータース”の“モナミ”はフランス語で“仲間”という意味がある。その意味通りに、「アットホームな雰囲気、人とのコミュニケーション、ご縁を大切に一つ一つのお車をしっかり丁寧に仕上げ、お客様が愛車と共に楽しい思い出がたくさん出来るように素敵なカーライフをサポートする」という基本理念に基づき、環境・社会・経済の三側面以下で以下の目標を掲げ、持続可能な社会の実現に貢献できる企業を目指してまいります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	事務所内の照明をLEDに入替え、電力使用量の削減に取り組む。また、伝票をDX化し、コピー用紙の使用量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> ①LED使用率:0%(0箇所/6箇所) ②電力使用量9,420kwh/年 ③コピー用紙使用量:7,000枚/年	<2030年に向けた指標> ①100% ②6,600kwh/年 ③2022年比 30%減 <取組開始3年後に向けた指標> ①30% ②8,500kwh/年 ③2022年比 10%減
社会	地域の子供に対し、就業体験を受け入れる。 <(現状値)2022年の数値> 就業体験授業:0回/年 のべ0人受入	<2030年に向けた指標> 3回/年 のべ15人受入 <取組開始3年後に向けた指標> 1回/年 のべ5人受入
経済	ワークライフバランスを意識した多様な働き方の推進として、社員の年次有給休暇取得を促進するとともに、女性雇用数の拡大を目指す。 <(現状値)2022年の数値> ①有給休暇平均取得日数:5日/年 ②女性雇用人数:1人(1人/5人中)	<2030年に向けた指標> ①10日 ③3人 <取組開始3年後に向けた指標> ①7日 ②2人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 7日

住 所 所沢市北中1丁目228番

県内企業等の名称 医療法人社団幸悠会 所沢慈光病院

代表者役職 氏名 理事長 鈴木 隆晴

医療法人社団幸悠会 所沢慈光病院 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

精神神経科病院である当法人におけるSDGsの目標は、患者様に対して年齢や性・国籍・主義・宗教・貧富の差などに関わらず、最適な医療を必要な時に人権に配慮した上で提供し、その結果、病気がある人たちが、生きがいのある人生・働きがいのある人間らしい仕事をできるようにする事です。また職員に対しても、年齢や性・国籍・主義・宗教等に関わらず、人の働く権利を守り安全に安心して仕事ができる環境を作ることを目標とし、SDGsの達成に貢献します。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	院内ライフライン設備について、省エネを意識し改善に取り組んでいく。特に空調は年間を通じてデマンドを管理し省エネ活動を行っていく。 <(現状値)2022年の数値> エネルギー使用量:1,060,356kwh	<2030年に向けた指標> 1,038,000kwh <取組開始3年後に向けた指標> 1,050,000kwh
社会	年齢・性別・障害・人種あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、雇用機会において平等且つ公平な対応をしていく。特に外国人雇用を積極的に行っていく。 <(現状値)2022年の数値> 外国人雇用人数:1人(全従業員数175名)	<2030年に向けた指標> 外国人雇用人数 6人 <取組開始3年後に向けた指標> 外国人雇用人数 2人
経済	多様なワークライフスタイルを実現するため、事務系職員の残業時間の削減、有給休暇取得の推進等、働きやすい環境作りを力を入れていく。 <(現状値)2022年の数値> ①有給休暇平均取得日数:5.5日/年 ②平均時間外労働時間:8.73時間/月	<2030年に向けた指標> ①15日/年 ②7.0時間/月 <取組開始3年後に向けた指標> ①10日/年 ②7.5時間/月

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 4月 13日
住 所 行田市酒巻819-4
県内企業等の名称 有限会社中新土建工業
代表者役職氏名 代表取締役 中丸治彦

有限会社中新土建工業 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は『モノづくりを通じ地球と社会に価値のある存在であり続ける』という基本理念に基づき行動し、地域社会の発展に貢献します。
この考えは持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の一環としてエネルギー使用量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> ①電気使用量:1,090kwh/年 ②LED照明の割合:20%(1室/8室)	<2030年に向けた指標> ①2022年比 10%削減 ②70%(5室/8室) <取組開始3年後に向けた指標> ①2022年比 5%削減 ②30%(2室/8室)
社会	社会貢献活動の一環として、美化活動を実施する。 <(現状値)2022年の数値> 美化活動実施回数:2回/年(のべ2人参加)	<2030年に向けた指標> 4回/年(のべ16人参加) <取組開始3年後に向けた指標> 3回/年(のべ6人参加)
経済	働き方改革の推進として、有給取得率の向上及び所定外労働時間の削減を目指す。 <(現状値)2022年の数値> ①平均有給休暇取得日数:5日/年 ②ノー残業デイ履行率:0%	<2030年に向けた指標> ①10日/年 ②100% <取組開始3年後に向けた指標> ①7日/年 ②30%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 4 月 13 日
住 所 埼玉県三郷市上彦名578番地
県内企業等の名称 マスザワ産業有限会社
代表者役職氏名 代表取締役 増沢雄太

マスザワ産業有限会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「環境に貢献しつつ、責任ある行動を！」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO2削減のためDX化などにより報告書類の使用量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> ①使用枚数:720枚/年 ②電力使用量:7,200kwh/年 ③再生可能エネルギー利用率:5%	<2030年に向けた指標> ①2022年比 20%削減 ②5,760kwh/年 ③15% <取組開始3年後に向けた指標> ①2022年比 15%削減 ②6,120kwh/年 ③10%
社会	ワークライフバランス実現のため有給休暇取得日数増加を促進する。 <(現状値)2022年の数値> 有給休暇平均取得日数:5日/年	<2030年に向けた指標> ①12日/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①10日/年
経済	若年層の活躍の場を創出し、地域経済発展のため30歳以下の雇用数を増加させる。 また、業務拡大推進のため、運行管理者資格、けん引免許取得者を増加させる。 <(現状値)2022年の数値> ①30歳以下の若年層雇用数:1人(1人/8人) ②運行管理者資格:0人/けん引免許:0人	<2030年に向けた指標> ①3人 ②運行管理者資格:2人 けん引免許:2人 <取組開始3年後に向けた指標> ①2人 ②運行管理者資格:1人 けん引免許:1人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 4月 14日
住 所 白岡市下大崎字星川端860-1
県内企業等の名称 北井産業株式会社
代表者役職氏名 代表取締役 北井 正之

北井産業株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念『1. ゆとりある豊かな暮らしを創造する製品作りを通じて、社会の発展に寄与する。2. 会社を
発展・永続することにより、社会的責任を全うし、関係するすべての人々を幸せにする。3. 全社員が企業活動を通
じて、誠実で、誰からも愛され、信頼される人間形成を行い明るい社会作りに貢献する。』に基づき行動し、地域社
会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり社員ひとりひと
りが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	IT導入による電子化でペーパーレス化を推進する。また、節電の周知徹底によりエネルギー使用量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> ①コピー用紙使用枚数:約100,000枚/年 ②電力使用量:約96,000kwh/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 ①50%削減 ②30%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 ①25%削減 ②10%削減
社会	従業員の有給休暇取得を促進し、ワークライフバランスを充実させる。 <(現状値)2022年の数値> 有給休暇平均取得日数:6日/年	<2030年に向けた指標> 15日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 10日/年
経済	高齢者(60歳以上)の雇用及び女性の雇用を積極的におこない多様な働き方を実現する。 <(現状値)2022年の数値> ①高齢者従業員数:7人/25人中 ②女性従業員数:5人/25人中	<2030年に向けた指標> ①9人 ②8人 <取組開始3年後に向けた指標> ①8人 ②7人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 4月 14日
住 所 さいたま市桜区白鷺544-1
県内企業等の名称 株式会社松岡電気工業
代表者役職氏名 代表取締役 松岡 貴幸

株式会社松岡電気工業

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

株式会社松岡電気工業は社員一人ひとりが地球環境保全の必要性を認識し、事業活動に起因する環境負荷の低減に継続的に取り組みながら安全、安心で豊かな社会の発展に向けて、地域社会の一員として積極的にSDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	地球温暖化対策の一環として、エネルギー使用量(電力・燃料)の削減による二酸化炭素(温室効果ガス)排出量及びコピー用紙使用量の削減に取り組む。 <(現状値)2022年の数値> ①二酸化炭素排出量:18.96t-CO ₂ /年 ②コピー用紙使用量:34,500枚/年	<2030年に向けた指標> ①17.44t-CO ₂ /年(2022年比8%削減) ②24,100枚/年(2022年比30%削減) <取組開始3年後に向けた指標> ①18.39t-CO ₂ /年(2022年比3%削減) ②31,000枚/年(2022年比10%削減)
社会	社会貢献活動の一環として、地域のボランティア活動を実施する。 <(現状値)2022年の数値> 活動実施回数:1回/年 のべ1人参加	<2030年に向けた指標> 3回/年 のべ5人参加 <取組開始3年後に向けた指標> 2回/年 のべ2人参加
経済	働き方改革の一環として、有給休暇取得日数の向上に取り組む。 <2022年の数値> 有給休暇平均取得日数:6.6日/年	<2030年に向けた指標> 9.0日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 7.5日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5 年 4 月 14 日
住 所 川越市脇田町8-1大橋ビル
県内企業等の名称 株式会社トリプルエーテクノロジーズ
代表者役職氏名 代表取締役 小川 公一郎

株式会社トリプルエーテクノロジーズ はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「1000年続く会社」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	自然保護の観点から、社内の事務作業で使用する印刷物の枚数を削減する。 <(現状値)2022年の数値> コピー用紙の使用枚数:5,000枚/年	<2030年に向けた指標> 4,000枚/年 <取組開始3年後に向けた指標> 4,500枚/年
社会	地域活動への貢献のため、地元のお祭り等への積極的な参加を行う。 <(現状値)2022年の数値> 地元催事への参加回数:2回/年 のべ4人	<2030年に向けた指標> 2回/年 のべ12人 <取組開始3年後に向けた指標> 2回/年 のべ8人
経済	持続的な生産性の向上のため、資格取得者の増加を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①基本情報技術者数:4名(累計) ②応用情報処理技術者数:3名(累計) ③簿記3級取得者:3名(累計) ④簿記2級取得者:2名(累計)	<2030年に向けた指標> ①7名 ②6名 ③6名 ④4名 <取組開始3年後に向けた指標> ①5名 ②4名 ③4名 ④3名

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 4月 13日
住 所 新座市中野一丁目1番3号
県内企業等の名称 有限会社MKサービス
代表者役職氏名 代表取締役 神崎 辰也

有限会社MKサービス はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、企業理念である「限りある資源を守ろう。」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献します。
この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが事業活動に取り
組むことにより、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	マイカップの使用や裏紙使用・ペーパーレス化により、限りある資源の消費を抑制する。 <(現状値)2022年の数値> ①紙コップの使用数:1,000個/年 ②コピー用紙使用枚数:35,000枚/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 ①50%減 ②50%減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 ①20%減 ②20%減
社会	社員が街の美化活動に参加することで、社会貢献活動を推進する。 <(現状値)2022年の数値> 街の美化活動:0回/年(のべ参加人数:0人)	<2030年に向けた指標> 街の美化活動:4回/年(のべ参加人数:16人) <取組開始3年後に向けた指標> 街の美化活動:2回/年(のべ参加人数:6人)
経済	国籍、性別、年齢に制限をかけることなく、幅広い雇用を積極的に取り組む。 <(現状値)2022年の数値> ①技能実習生の受入れ:0人(0人/3人) ②高齢者(60歳以上)雇用人数:1人(1人/3人)	<2030年に向けた指標> ①3人 ②3人 <取組開始3年後に向けた指標> ①2人 ②2人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 4月 17日
住 所 越谷市南越谷1-26-7-208
県内企業等の名称 アセットガード株式会社
代表者役職氏名 代表取締役 大塚 絢也

アセットガード株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

弊社は、品質方針である「警備業務を通じて顧客・社会に貢献していく」「社員が商品であるというスタンスにおいて社員教育を行い、継続的な改善を行い、質の高い警備を追求する」に基づき行動し、地域・社会の発展に貢献することを目指す。これは持続可能な開発目標(SDGs)の理念と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組む事により、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、電気や紙資源の使用を抑制する。 <(現状値)2022年の数値> ①電気使用量:13,000kwh/年 ②コピー用紙使用枚数:70,000枚/年	<2030年に向けた指標> ①2022年比 20%削減 ②2022年比 20%削減 <取組開始3年後に向けた指標> ①2022年比 10%削減 ②2022年比 10%削減
社会	健康維持の観点から社員の喫煙率をゼロにする。また、専門性の高い社員育成のため、警備員指導教育責任者の資格取得率100%を目指す。 <(現状値)2022年の数値> ①社員の喫煙者(2人/6人) ②指導教育責任者資格(3人/6人)	<2030年に向けた指標> ①0人/6人 ②6人/6人 <取組開始3年後に向けた指標> ①1人/6人 ②4人/6人
経済	多様な人材が働ける職場の推進に向けて、女性の管理職登用や、障害者の雇用を促進する。 <(現状値)2022年の数値> ①女性の管理職比率:0%(0人/4人) ②障害者雇用率:2.3%(1人/42人)	<2030年に向けた指標> ①50%(2人/4人) ②6%(3人/50人) <取組開始3年後に向けた指標> ①25%(1人/4人) ②4%(2人/50人)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和5年4月17日
住 所 埼玉県志木市下宗岡4丁目29番17号
県内企業等の名称 株式会社 富士見養蜂園
代表者役職氏名 代表取締役社長 角田陽介

株式会社 富士見養蜂園

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「自然に感謝し、真心込め、社会に貢献」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	プロポリス残渣を利用した商品開発・製造により廃棄物の大幅な削減を図る。 <(現状値)2022年の数値> 残渣量:150kg/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 26%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 13%削減
社会	社会貢献活動の推進として、地域の美化活動を推進する。 <(現状値)2022年の数値> 美化活動実施回数:1回/年(のべ2名参加)	<2030年に向けた指標> 3回/年(のべ30名参加) <取組開始3年後に向けた指標> 2回/年(のべ10名参加)
経済	地域経済の活性化のため、地域の事業者との取引件数を増やす。 <(現状値)2022年の数値> 地域の事業者との取引件数:2件/年	<2030年に向けた指標> 10件/年 <取組開始3年後に向けた指標> 5件/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 4月18日
住 所 ふじみ野市大井621-1
県内企業等の名称 社会福祉法人 崇徳会
代表者役職氏名 理事長 野溝 守

社会福祉法人 崇徳会

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当法人は、基本理念である『忠恕』真心と思いやりの心を大切に、地域社会の発展に貢献します。職員一人一人が目標に向かって真摯に取り組み、持続可能でよりよい世界を目指すため、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	電気使用量を削減するとともに、照明機器のLED化を進める。 <(現状値)2022年の数値> ①電気使用量:372,379kwh/年 ②LED交換率:5%(5室/100室)	<2030年に向けた指標> ①2022年比 8%削減 ②100%(100室/100室) <取組開始3年後に向けた指標> ①2022年比 3.5%削減 ②35%(35室/100室)
社会	赤い羽根の募金額を増やす。また、生活保護世帯の子供たちへの学習支援を行う。 <(現状値)2022年の数値> ①赤い羽根募金額:53,000円/年 ②支援人数:31名/年	<2030年に向けた指標> ①60,000円/年 ②40名/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①56,000円/年 ②36名/年
経済	障害者と高齢者(60歳以上)雇用を積極的に進める。 従業員の年次休暇取得日数を増やす。 <(現状値)2022年の数値> ①障害者雇用数:3人/110人 ②高齢者雇用数:22人/110人 ③年次休暇平均取得日数:16日/年	<2030年に向けた指標> ①7人 ②28人 ③20日/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①5人 ②25人 ③17.5日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5 年 4 月 18 日
住 所 さいたま市大宮区桜木町1-10-16
県内企業等の名称 高砂熱学工業株式会社関信越支店
代表者役職 氏名 執行役員支店長 渡辺 孝志

高砂熱学工業株式会社関信越支店 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は社是・経営理念の下、TakasagoWayの実践を通じ、持続的な成長と企業価値の向上を目指します。また、ESG・SDGsの各課題に対して、E(環境)、S(社会)、G(ガバナンス)のPDCAサイクルを通じて課題解決に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO2削減へ貢献する。 <(現状値)2021年の数値> ①自社のCO ₂ 排出量:4,040t/年 (ガソリン使用料抑制、再エネ電力利用等) ②取引先のCO ₂ 排出量:464.8万t/年 (当社削減貢献技術の提供等)	<2030年に向けた指標> ①2021年比 22.5%削減 ②2021年比 11.1%削減 <取組開始3年後に向けた指標> ①2021年比 7.5%削減 ②2021年比 3.7%削減
社会	群馬県伊香保町「高砂熱学の森」で森林保全活動を実施する。 <(現状値)2022年の数値> 森林保全活動実施回数:1回/年(20人参加)	<2030年に向けた指標> 2回/年(のべ60人参加) <取組開始3年後に向けた指標> 1回/年(30人参加)
経済	お互いの多様性を認めて尊重し合う企業文化を醸成する。 <(現状値)2022年の数値> ①女性管理職比率:2.3%(11人/466人) ②男性育休1週間以上取得率:65.7%(44人/67人)	<2030年に向けた指標> ①10.0%(47人/470人) ②100%(50名/50名) <取組開始3年後に向けた指標> ①4.5%(21人/467人) ②72%(43名/60名)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 4月 18日
住 所 桶川市北一丁目22番17号
県内企業等の名称 株式会社武蔵糧穀
代表者役職氏名 代表取締役社長 田中敏勝

株式会社武蔵糧穀

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、「食の安心安全のため、コンプライアンスを重視し、コミュニケーションを推進し、継続的な教育訓練を実施する」という方針に基づき事業活動を行い、地域における様々な社会貢献に対応いたします。持続可能な開発目標(SDGs)の精神を自社の事業活動に様々な形で取り入れ、社員ひとりひとりが真摯に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献してまいります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	エネルギー使用量削減のため、照明のLED化等を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①使用電力量:1,309,561kwh/年 ②LED化率:70%(33室/48室)	<2030年に向けた指標> ①1,170,000kwh/年 ②90%(43室/48室) <取組開始3年後に向けた指標> ①1,270,000kwh/年 ②80%(38室/48室)
社会	地域社会への奉仕と還元に努めるため、子供の食育のための職場見学等を受け入れ、地域行事等への協力・支援をする。 <(現状値)2022年の数値> ①職場見学:0件/年 ②地域行事への協力支援:45,000円/2件	<2030年に向けた指標> ①2件/年 ②60,000円/4件 <取組開始3年後に向けた指標> ①1件/年 ②50,000円/3件
経済	地域産品の販路拡大を支援する。 <(現状値)2022年の数値> 地域産品の取扱数量:1,059t/年	<2030年に向けた指標> 1,200t/年 <取組開始3年後に向けた指標> 1,100t/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 4月 20日
住 所 埼玉県行田市野字高畑3666-12
県内企業等の名称 森田産商株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役 森田 泰嘉

森田産商株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社の経営理念である、「物心両面の幸福を追求し、また社会のため、人類の幸福のために働きます」と「社員満足度を高める事で顧客満足度を高める」の通り持続可能な社会、人を尊重する事業運営によりSDGs、カーボンニュートラルに資する社会活動を実施していく

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO2削減のため、環境配慮型車両を導入する。照明のLED化への切り替えなどを促進する。 <(現状値)2022年の数値> ①環境配慮型車両割合:33%(1台/3台) 平均燃費:16km/ℓ ②LED化率:97%(32基/33基)	<2030年に向けた指標> ①100%(3台/3台) 30km/ℓ ②100% <取組開始3年後に向けた指標> ①66%(2台/3台)21km/ℓ ②100%
社会	社会貢献活動の一環として、医療機関、緑化事業、災害関係に寄付する。 <(現状値)2022年の数値> 寄付金:30,000円/年	<2030年に向けた指標> 100,000円/年 <取組開始3年後に向けた指標> 50,000円/年
経済	女性の管理職登用を進め、多様な働き方を推進する。 <(現状値)2022年の数値> 女性管理職 1人(1人/5人中)	<2030年に向けた指標> 3人 <取組開始3年後に向けた指標> 2人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 4月21日
住 所 春日部市東中野45番地16
県内企業等の名称 株式会社野崎製作所
代表者役職 氏名 代表取締役 野崎成実

株式会社野崎製作所 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「不易流行」の考えを大切にし、時代の変化に合わせて変わるべきもの、変わってはいけないものは何かと常に考えながら、家具製造を本業とし、木材という自然から恩恵を受けている。だからこそ、社員一同、地球環境へ感謝し、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、電気使用量の削減と事業所における緑化率の向上を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①電気使用量:48,000kwh/年 ②緑化率:5%(150㎡)	<2030年に向けた指標> ①40,800kwh/年 ②20% <取組開始3年後に向けた指標> ①43,200kwh/年 ②10%
社会	社会貢献活動として、小学生の社会科見学、中学生の職業体験、大学生のインターンシップの受け入れを行う。 <(現状値)2022年の数値> ①社会科見学・職業体験:0校 ②インターンシップ:0校	<2030年に向けた指標> ①3校 ②3校 <取組開始3年後に向けた指標> ①1校 ②2校
経済	地域経済活性化のため、地域の事業者との取引を増やす。また、働きがいのある労働環境を整備するため、有給休暇取得日数を増加させる。 <(現状値)2022年の数値> ①地域の取引業者:5社 ②平均有給休暇取得日:15日/年	<2030年に向けた指標> ①15社 ②18日/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①10社 ②17日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 4月 21日
住 所 川越市芳野台2-8-119
県内企業等の名称 大南光学株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役 丸橋良次

大南光学株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、業界トップの高品質と環境に配慮した事業活動を展開すると共に、更なる技術の向上を図り、お客様及び地域社会からの満足が得られる企業を目指します。この考え方は、持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員一人ひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献して参ります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	LED化による消費電力削減、工程異常減によるガラス廃棄量の削減を通して環境負荷の低減に取り組む。 <(現状値)2022年の数値> ①LED化率:60%(23部屋/39部屋) ②電気使用量:1,028,566kwh/年 ③ガラス廃棄量:8.5m ³ /年	<2030年に向けた指標> ①100% ②10%(102,856kwh/年)削減 ③6.5m ³ /年 <取組開始3年後に向けた指標> ①80% ②5%(51,428kwh/年)削減 ③7.5m ³ /年
社会	地域コミュニティ活動への参画を行い、社会貢献する。 <(現状値)2022年の数値> ①交通安全キャンペーン:2回/年(2名参加) ②組合主催の清掃活動:2回/年(1名参加)	<2030年に向けた指標> ①4回/年(5名参加) ②5回/年(5名参加) <取組開始3年後に向けた指標> ①3回/年(4名参加) ②4回/年(3名参加)
経済	教育研修の充実化により資格等の取得者数の増加を目指すことにより、取引先の拡大を図り地域経済に貢献する。 <(現状値)2022年の数値> ①フォークリフト資格保持者:7名/36名 ②公害防止管理者の取得者:2名/36名 ③新規取引件数:2件/年	<2030年に向けた指標> ①12人 ②4名 ③5件/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①9名 ②3名 ③3件/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 4月 21日
住 所 狭山市青柳194-1
県内企業等の名称 株式会社埼玉成光
代表者役職 氏名 代表取締役 松尾和彦

株式会社埼玉成光

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

株式会社埼玉成光は、昭和48年の創業以来、地域社会の安全・安心・発展を経営理念としており、この考え方は、持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものである為、従業員一人が誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の推進として、見積書等の電子化・積極的なPDFの活用・社内書類の裏紙再利用等による紙の消費量の削減や電気使用量の削減に取り組む。 <(現状値)2022年の数値> ①コピー用紙使用枚数;37,000枚/年 ②電気使用量;12,500kwh/年	<2030年に向けた指標> ①25,900枚/年 ②9,500kwh/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①33,300枚/年 ②11,000kwh/年
社会	社員参加型貢献活動の推進として、地域の皆様が安全に暮らしていける街づくりの為に、彩の国ロードサポート活動に参加している。 <(現状値)2022年の数値> 参加回数:2回/年 延べ5人参加	<2030年に向けた指標> 4回/年 延べ20人参加 <取組開始3年後に向けた指標> 3回/年 延べ12人参加
経済	多様な働き方の推進として、働きがいのある職場環境づくりの実現に向け有給休暇取得率の向上を図る。 <(現状値)2022年の数値> 平均有給休暇取得日数:8日/年	<2030年に向けた指標> 12日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 11日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 4月 24日
住 所 川越市問屋町6-3
県内企業等の名称 国立株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役社長 若林 久香

国立株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は「仕事を通して国の役に立つ」という経営理念に基づき行動し、環境配慮型商品の開発・販売等の地球温暖化防止をはじめとする持続可能な開発目標(SDGs)の達成に社員ひとりひとりが誠実に事業活動し、貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、コピー用紙の使用量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> コピー用紙使用枚数:92,400枚/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 10%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 5%削減
社会	従業員の働きがい向上のため、年次有給休暇平均取得率アップする。 <(現状値)2022年の数値> 平均有給休暇取得日数:5.5日/年	<2030年に向けた指標> 10日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 7日/年
経済	リサイクル可能な商品開発を推進し、地元事業者との取引業者数を増加させる。 <(現状値)2022年の数値> ①県内取引事業者数:195社 ②リサイクル可能な商品の開発:0商品/年	<2030年に向けた指標> ①260社 ②10商品/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①220社 ②3商品/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 4月 25日
住 所 秩父郡皆野町大字皆野3053-3
県内企業等の名称 関東粉化工業有限会社
代表者役職 氏名 代表取締役 小林 勝

関東粉化工業有限会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

弊社の経営理念「①お客様に喜ばれる、より安心・安全な商品を提供し、社会に貢献します。②社員の能力向上に努め、社員の努力が報われる社会を目指します。③地域社会と連携し、地域の行事に積極的に参加します。」は、持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員一人一人がそのことを自覚し、それぞれの役割を果たしていくことにより社業の発展を促進し、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	産業廃棄物の排出量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> 産業廃棄物排出量:24t/年 (タルク、砂岩、石膏等の粉末及びセメント混合品)	<2030年に向けた指標> 2022年比 30%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 20%削減
社会	日本赤十字社等、慈善団体への寄付や地元お祭りへの参加を行い、地域社会に貢献する。 <(現状値)2022年の数値> ①慈善団体への寄付額:15,000円/年 ②地元お祭りへの協賛参加日数:5日(のべ10人参加)	<2030年に向けた指標> ①30,000円/年 ②10日(のべ20人参加) <取組開始3年後に向けた指標> ①25,000円/年 ②8日(のべ16人参加)
経済	年間休日を増加し、雇用の安定と雇用促進及び働き甲斐のある職場を目指す。 <(現状値)2022年の数値> 年間休日数:101日/年	<2030年に向けた指標> ①120日/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①115日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 4月 26日
住 所 和光市下新倉3-14-30
県内企業等の名称 紀和建設工業株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役 本山 貴之

紀和建設工業株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、企業理念である「建設を通じ地域社会に貢献する」に基づき行動し、社員一同が情熱と志をもって取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	書類の電子化を行い、コピー用紙の使用量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> コピー用紙使用枚数:15,000枚/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 50%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 30%削減
社会	ITの積極的活用により、勤怠管理、原価管理、工事書類の作業時間を削減し、時間外労働を縮減する。 <(現状値)2022年の数値> 平均時間外労働時間:30時間/月	<2030年に向けた指標> 15時間/月 <取組開始3年後に向けた指標> 20時間/月
経済	資格取得制度を強化し、1級土木施工管理技士といった有資格者を増やすとともに、高齢者雇用を促進する。 <(現状値)2022年の数値> ①資格取得率:25%(5人/20人) ②高齢者(60歳以上)雇用率:10%(2人/20人)	<2030年に向けた指標> ①40%(12人/30人) ②20%(6人/30人) <取組開始3年後に向けた指標> ①30%(8人/25人) ②15%(4人/25人)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 4月 26日
住 所 熊谷市柿沼567-1
県内企業等の名称 株式会社エーステクニカ
代表者役職 氏名 代表取締役 大澤 智章

株式会社エーステクニカ はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「電気・空調設備工事業として【迅速に】【誠実に】をモットーとする」に基づき行動し、環境問題の解決に取り組むと共に法令順守及び省エネルギー化提案・施工を提供する事により、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、ペーパーレス化を推進し、紙の使用量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> コピー用紙使用枚数:11,985枚/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 20%減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 10%減
社会	社会貢献活動の推進として、地域のボランティア清掃活動に参加する。 <(現状値)2022年の数値> 美化活動実施回数:1回/年(のべ2人参加)	<2030年に向けた指標> 5回/年(のべ10人参加) <取組開始3年後に向けた指標> 3回/年(のべ6人参加)
経済	働き方改革を推進し、従業員の年次有給休暇取得日数を増加させる。 <(現状値)2022年の数値> 年次有給休暇平均取得日数:3.5日/年	<2030年に向けた指標> 10日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 7日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和5年 4月 26日
住 所 埼玉県新座市野火止4-19-85
県内企業等の名称 ジャパン・フィールド株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役社長 内野 正俊

ジャパン・フィールド 株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は『文明が高度化すれば浄化する仕事が残される』の企業理念に基づき行動し、地球環境を守る洗浄技術の開発に取り組むことにより環境保全に貢献しております。この考えは持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであります。当社は社員一丸となり事業活動を行うことでSDGsの達成に貢献してまいります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	エネルギー使用量を削減するとともに、再生可能エネルギーの利用率の向上を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①エネルギー使用量:93,650kwh/年 ②再生可能エネルギー利用率:0%	<2030年に向けた指標> ①2022年比 15%削減 ②10% <取組開始3年後に向けた指標> ①2022年比 10%削減 ②5%
社会	シルバー人材の活躍を推進するため、65歳以上の雇用延長を行う。 <(現状値)2022年の数値> 高齢者(65歳以上)雇用人数:6人(6人/50人)	<2030年に向けた指標> 10人 <取組開始3年後に向けた指標> 8人
経済	環境に配慮し、CO2排出抑制が可能な自動洗浄機システムの販売を促進する。 <(現状値)2022年の数値> 環境配慮型製品の販売台数:2台/年	<2030年に向けた指標> 10台/年 <取組開始3年後に向けた指標> 5台/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 4月 26日

住 所 三郷市中央2-37-2

県内企業等の名称 株式会社シヴァ電設

代表者役職氏名 代表取締役 松原 荘一

株式会社シヴァ電設

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「様々な体験を通して『楽しく』学び、より生きがいのある生活へ」に基づき、人々が自立した日常生活・社会生活を送れるよう支援することで、地域社会の発展に貢献する。

この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、エネルギー消費量の削減やペーパーレス化を推進する。 <(現状値)2022年の数値> ①電気使用量:4,500kwh/年 ②コピー用紙使用枚数:5,000枚/年	<2030年に向けた指標> ①3,700kwh/年 ②1,000枚/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①4,000kwh/年 ②3,000枚/年
社会	社員参加型・社会貢献の推進のため、町の美化活動に参加する。 <(現状値)2022年の数値> 街の美化活動実施回数:0回/年・のべ0人	<2030年に向けた指標> 6回/年・のべ6人 <取組開始3年後に向けた指標> 3回/年・のべ3人
経済	ワークライフバランス向上のため、男性の育休、有給休暇取得を推進する。 <(現状値)2022年の数値> ①男性の育休平均取得日数:0日/年 ②有給休暇平均取得日数:10日/年	<2030年に向けた指標> ①14日/年 ②18日/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①7/年 ②14日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 4月 26日
住 所 川口市南前川2-25-16
県内企業等の名称 株式会社エプセム
代表者役職氏名 代表取締役 東 日出市

株式会社エプセム

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

再生可能エネルギーの促進事業を行っている当社は、事業そのものがCO2排出量の削減に貢献しているだけでなく、様々な社会貢献「蓄電池の開放」「太陽光パネル下の緑化」等を行っております。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献してまいります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO2削減のため、社用車を環境配慮型車両へ入れ替える。 <(現状値)2022年の数値> ①環境配慮型車両導入率:28%(4台/14台) ②平均燃費:15km/l	<2030年に向けた指標> ①78%(11台/14台) ②25km/l <取組開始3年後に向けた指標> ①50%(7台/14台) ②20km/l
社会	停電時や災害時に発電所や本社にある蓄電池を地域の方に開放し、携帯電話やEVの充電ステーションの役割を担っていく。 <(現状値)2022年の数値> 開放する蓄電池の数/電力量:5個/75kWh	<2030年に向けた指標> 67個/1,000kWh <取組開始3年後に向けた指標> 30個/450kWh
経済	60歳以上の高齢者も含めた多様な人材の新規雇用を推進する。 <(現状値)2022年の数値> 高齢者の新規雇用人数:0人(7人/20人)	<2030年に向けた指標> 2人(9人/28人) <取組開始3年後に向けた指標> 1人(8人/24人)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 4月 26日
住 所 飯能市井上816-8
県内企業等の名称 株式会社フォレスト萩原
代表者役職氏名 代表取締役 萩原信一

株式会社フォレスト萩原 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「森林を活かして地域社会の持続的な発展に貢献します。」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO2排出量削減のため、社用車を環境配慮型車両にする。 <(現状値)2022年の数値> ①環境配慮型車両の導入台数:1台(1台/7台) ②平均燃費:9.0km/ℓ	<2030年に向けた指標> ①4台(4台/7台)②18.0km/ℓ <取組開始3年後に向けた指標> ①2台(2台/7台)②13.0km/ℓ
社会	社員参加型の社会貢献活動を推進する。 <(現状値)2022年の数値> 地域美化活動:2回/年・のべ2人参加	<2030年に向けた指標> 4回/年・のべ16人参加 <取組開始3年後に向けた指標> 3回/年・のべ6人参加
経済	高齢者雇用を積極的に進め、多様な人材が活躍できる職場づくりを行う。 <(現状値)2022年の数値> 高齢者(70歳以上)の雇用比率:0%(0人/8人)	<2030年に向けた指標> 40%(4人/10人) <取組開始3年後に向けた指標> 25%(2人/8人)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 4月 27日
住 所 鴻巣市本町3-7-9
県内企業等の名称 株式会社トップ・ライフ
代表者役職 氏名 代表取締役 成井さなゑ

株式会社トップ・ライフ はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当法人は、基本理念を「お客様と私たち自身の為に介護・福祉の知識や技術を向上させ思いやりの心をもって住み慣れた地域での生活を応援します。」としております。
地域の中でその人らしく暮らし続けるためにより良い地域包括ケアシステムを目指して行動し地域社会の発展に貢献します。
この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、職員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	コピー用紙及びFAX用紙など紙資源の節約・社内業務のDX化を推進し、ペーパーレス化に取り組む。 <(現状値)2022年の数値> 紙使用枚数:56,000枚/年	<2030年に向けた指標> 52,080枚/年 <取組開始3年後に向けた指標> 53,200枚/年
社会	社会貢献活動の一環として、事務所(1か所)周辺の清掃活動を行い美化に取り組む。 <(現状値)2022年の数値> 清掃活動実施回数:0回/年(のべ参加人数0人)	<2030年に向けた指標> 16回/年(のべ参加人数:52人) <取組開始3年後に向けた指標> 6回/年(のべ参加人数:12人)
経済	地域における訪問介護員や介護支援専門員といった介護職員の雇用を促進し、安心・安全に暮らせる地域づくりに貢献する。 <(現状値)2022年の数値> 介護職員人数:10人	<2030年に向けた指標> 14人 <取組開始3年後に向けた指標> 12人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 4月 27日
住 所 埼玉県三郷市戸ヶ崎3-557-2
県内企業等の名称 株式会社タクテック 三郷ショールーム
代表者役職 氏名 保守管理課 課長 野口 繁

株式会社タクテック はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社はライフラインとしての物流をささえ、人々の豊かな暮らしに貢献する企業を目指しています。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	蛍光管をLEDに変えることにより、各事業所の電力使用量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> ①LED化率:0%(0室/0室) ②電力使用量:22,320kWh/年	<2030年に向けた指標> ①100%(6室/6室) ②2022年比 30%削減 <取組開始3年後に向けた指標> ①50%(3室/6室) ②2022年比 10%削減
社会	従業員のワークライフバランス推進として、年次休暇取得日数を上昇させる。 <(現状値)2022年の数値> 年次休暇平均取得日数:12日/年	<2030年に向けた指標> 18日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 15日/年
経済	物流センターの最適解を実現するGAS・Pals 他の販売促進を図る。 <(現状値)2022年の数値> ・GAS・PaLS・M-Cop他 契約数:140件/年	<2030年に向けた指標> 190件/年 <取組開始3年後に向けた指標> 170件/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 4月 28日
住 所 春日部市緑町二丁目8番51号
県内企業等の名称 彩光建設株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役 中塚昭弘

彩光建設株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社経営理念である「信頼される技術で社会に貢献する」に基づき、安全な社会と地域経済の発展のために行動し、地域社会に貢献します。安全と防災への積極的な取り組みと、環境関係法令、防災協定を順守することにより、信頼される企業として事業活動を行い、持続可能なSDGsの達成に貢献します。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	社用車を環境配慮型車両に変更し、エネルギー量の削減を目指す。 <(現状値)2022年の数値> ①環境配慮型車両の導入割合:0%(0台/10台) ②平均燃費:10.1Km/ℓ	<2030年に向けた指標> ①50%(5台/10台)②20Km/ℓ <取組開始3年後に向けた指標> ①20%(2台/10台)②12.1Km/ℓ
社会	社員参加の社会貢献活動として、地域の清掃活動と子ども食堂への寄付活動を行う。 <(現状値)2022年の数値> ①ロードサポート活動:3回/年(延べ15人参加) ②子ども食堂への寄付額:0円/年	<2030年に向けた指標> ①6回/年(延べ30人参加)②20,000円/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①4回/年(延べ20人参加)②10,000円/年
経済	社員のワークライフバランスの向上として、年次休暇の取得を促進する。 <(現状値)2022年の数値> 年次休暇取得平均日数:8日/年	<2030年に向けた指標> 15日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 11日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 1日
住 所 埼玉県熊谷市日向1415
県内企業等の名称 株式会社 増田工務店
代表者役職 氏名 代表取締役 増田 和行

株式会社 増田工務店 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社の経営理念である【安心・安全な職場環境】に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。
この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	LED照明へ変更し、エネルギー使用量の削減を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①LED導入率:60%(6室/10室) ②エネルギー使用量:23,682kwh/年	<2030年に向けた指標> ①100%(10室/10室) ②2022年比 25%削減 <取組開始3年後に向けた指標> ①80%(8室/10室) ②2022年比 15%削減
社会	地域貢献・社会貢献につながる活動への積極的に参加する。 <(現状値)2022年の数値> ①彩の国ロードサポート実施回数:2回/年(参加者のべ25人) ②川の国応援団実施回数:2回/年(参加者のべ25人)	<2030年に向けた指標> ①5回/年(参加者のべ45人) ②5回/年(参加者のべ45人) <取組開始3年後に向けた指標> ①3回/年(参加者のべ30人) ②3回/年(参加者のべ30人)
経済	働きがいのある職場づくりの一環として、有給休暇の取得を促進する。 <(現状値)2022年の数値> 有給休暇平均取得日数:10日/年	<2030年に向けた指標> 15日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 12日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 1日
住 所 埼玉県深谷市上柴町西5丁目6番地1
県内企業等の名称 金茂重機建設株式会社
代表者役職氏名 代表取締役 小林 和成

金茂重機建設株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

私たちは安全かつ確実な施工を行うことで、品質・環境の向上に努めます。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員各自が誠実に事業活動を取り組みSDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	ペーパーレス化の推進により、コピー用紙使用量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> コピー用紙使用量:10,000枚/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 30%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 10%削減
社会	職員参加型・社会貢献活動の推進として、川の国応援団美化活動を行う。 <(現状値)2022年の数値> ①実施回数:1回/年(のべ5人参加) ②実施区間:200m	<2030年に向けた指標> ①2回/年(のべ12人参加) ②300m <取組開始3年後に向けた指標> ①2回/年(のべ10人参加) ②250m
経済	多様な働き方の推進として、年間休日の増加を図る。 <(現状値)2022年の数値> 年間休日数:105日/年	<2030年に向けた指標> 115日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 110日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 1日

住 所 吉川市旭7-1

県内企業等の名称 AZ-COM丸和ホールディングス株式会社

代表者役職 氏名 代表取締役社長 和佐見勝

AZ-COM丸和ホールディングス株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社はサステナビリティ経営の実現を重要事項と認識し、事業活動を通じて社会的責任を果たし、中長期的な企業価値向上と持続的な成長を実現すべくマテリアリティ(重要課題)を特定する。また、激変する環境・経済・社会の総合的な課題解決に取り組むための4つのマテリアリティテーマを設定し、CSV (Creating Shared Value:社会との共有価値の創造)を実現できる21世紀型のマネジメント体制の実現により、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	温室効果ガス(Scope1,2,3)排出量削減目標を設定し、目標達成に向けて取り組む。 <(現状値)2022年度の数値> ①Scope1,2 :52,832t-CO2 ②Scope3 :365,083t-CO2	<2030年に向けた指標> ①2022年比 25%削減 ②2022年比 25%削減 <取組開始3年後に向けた指標> ①2022年比 8%削減 ②2022年比 8%削減
社会	BCP物流を展開し、非常時における安定した物流機能の提供により地域の安全確保と事業継続の両立に貢献する。 <(現状値)2022年の数値> 災害支援協定の締結団体数 ①地方自治体:43団体(累計) ②一般法人:6団体(累計)	<2030年に向けた指標> ①100団体(累計) ②30団体(累計) <取組開始3年後に向けた指標> ①60団体(累計) ②15団体(累計)
経済	女性、外国人、様々な職歴をもつキャリア採用など、多様な人材の採用、登用を積極的に継続する。 <(現状値)2022年の数値> ①女性管理職比率:7.01%(23名/328名) ②外国籍社員数:36名/3,993名	<2030年に向けた指標> ①10% ②80名 <取組開始3年後に向けた指標> ①8% ②45名

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5 年 5 月 10 日
住 所 さいたま市大宮区桜木町二丁目7番6号3F
県内企業等の名称 株式会社アイエスエス
代表者役職 氏名 代表取締役 嶋 良祐

株式会社アイエスエスはSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

弊社は警備という普段の業務を通じて、地域社会の安全に寄与し、住みやすいまちづくりに貢献し、また従業員への道路交通法及びその他の法令遵守教育を行い、安全意識を向上させる事により、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	節電の徹底等により電力使用量を削減します。 <(現状値)2022年の数値> 電力使用量:40,000kw/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 20%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 10%削減
社会	まちの清掃・美化活動に積極的に参加します。 <(現状値)2022年の数値> まちの清掃・美化活動:1回/年(のべ5人参加)	<2030年に向けた指標> 5回/年(のべ25人参加) <取組開始3年後に向けた指標> 3回/年(のべ15人参加)
経済	若年層(30歳以下)や高齢者(60歳以上)の雇用を促進します。 <(現状値)2022年の数値> ①若年労働者の割合:10%(8人/80人) ②高齢労働者の割合:15%(12人/80人)	<2030年に向けた指標> ①25%(20人/80人) ②25%(20人/80人) <取組開始3年後に向けた指標> ①17%(14人/80人) ②20%(16人/80人)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 31日
住 所 越谷市西方2986-2
県内企業等の名称 タワーベーカリー株式会社
代表者役職氏名 代表取締役社長 佐藤 誠

タワーベーカリー株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は昭和産業グループ経営理念である「人々の健康で豊かな食生活に貢献する」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。社会的課題の解決と持続可能な開発目標(SDGs)達成のために社員一人一人が自覚を持ち誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	廃棄物の分別を行い、廃プラスチックを有価物化とすることで、廃プラ排出量の削減に務める。 <(現状値)2022年の数値> ①廃プラスチック排出量:288t/年 ②リサイクル率(有価資源):45%(720t/1,600t)	<2030年に向けた指標> ①240t/年 ②47%(752t/1,600t) <取組開始3年後に向けた指標> ①264t/年 ②46%(736t/1,600t)
社会	工場近隣の定期的な外部清掃を実施する従業員の年次休暇取得日数を増加させる。 <(現状値)2022年の数値> ①清掃活動実施回数:7回/年(参加人数8人) ②平均取得日数:10日/年	<2030年に向けた指標> ①12回/年(参加人数15人) ②15日/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①9回/年(参加人数10人) ②12日/年
経済	多様な人材の雇用を促進する。 <2022年数値> ①障害者雇用数:14人/401人 ②65歳以上高齢者雇用数:23人/401人 ③外国人正社員の雇用数:4人/118人	<2030年に向けた指標> ①16人 ②35人 ③6人 <取組開始3年後に向けた指標> ①15人 ②27人 ③5人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 10日
住 所 埼玉県川口市西立野187
県内企業等の名称 株式会社 八廣園
代表者役職 氏名 代表取締役 渡邊進

株式会社 八廣園

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

株式会社八廣園は、『地域社会に貢献し、お客様に感謝され喜ばれる企業、社会的にも貢献しなければ企業の発展はない』という理念の元に日々行動しております。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員一人一人が自覚をもち、誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	事務所照明のLED化を推進し、電力使用量の削減を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①LED化率:40%(12室/30室) ②電力使用量:20,132kwh/年	<2030年に向けた指標> ①70%(21室/30室) ②2022年比 30%削減 <取組開始3年後に向けた指標> ①50%(15室/30室) ②2022年比 15%削減
社会	社会貢献活動の推進として、道路の清掃活動を実施する。 <2023年の数値> 彩の国ロードサポート活動実施回数:10回/年(延べ100人参加)	<2030年に向けた指標> 15回/年(延べ150人参加) <取組開始3年後に向けた指標> 12回/年(延べ120人参加)
経済	企業の持続可能な発展のため、多様な人材の雇用を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①高齢者(70歳以上)の雇用数:4人/36人 ②女性の従業者割合:13.5%(5人/37人)	<2030年に向けた指標> ①7人 ②18%(8人/44人) <取組開始3年後に向けた指標> ①5人 ②15%(6人/39人)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 10日
住 所 埼玉県川口市西立野181-4
県内企業等の名称 有限会社 東川口建設
代表者役職 氏名 代表取締役 渡邊早苗

有限会社 東川口建設 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

有限会社東川口建設は、SDGs達成に向けた取組みに賛同し、地域に根差し感謝され喜ばれる企業として、社員一人一人が自覚をもち、誠実に事業活動に取り組むことにより持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けて行動していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	事務所照明のLED化を推進し、電力使用量の削減を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①LED化率:40%(4室/10室) ②電力使用量:2,608kwh/年	<2030年に向けた指標> ①70%(7室/10室) ②1,800kwh/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①50%(5室/10室) ②2,200kwh/年
社会	社会貢献活動の推進として、道路の清掃活動を実施する。 <2022年の数値> 彩の国ロードサポート活動実施回数:10回/年(延べ40人参加)	<2030年に向けた指標> 15回/年(延べ60人参加) <取組開始3年後に向けた指標> 12回/年(延べ48人参加)
経済	女性と高齢者の雇用を促進する。 <(現状値)2022年の数値> ①女性の従業員割合:14%(1人/7人) ②高齢者の従業員割合:14%(1人/7人)	<2030年に向けた指標> ①23%(3人/13人) ②23%(3人/13人) <取組開始3年後に向けた指標> ①20%(2人/10人) ②20%(2人/10人)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 5日
住 所 さいたま市南区内谷5-11-7
県内企業等の名称 株式会社ティーピーディー
代表者役職 氏名 代表取締役 古澤 健志

株式会社ティーピーディー はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「出会えた人に幸せ、夢、チャンス、素敵さを提供し続ける会社であり、人でありたい」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	二酸化炭素排出量削減のため、社用車を環境配慮型車両に入れ替える。 <(現状値)2022年の数値> ①環境配慮型車両の導入割合:40%(4台/10台) ②平均燃費:10km/l	<2030年に向けた指標> ①80% ②15km/l <取組開始3年後に向けた指標> ①60% ②12km/l
社会	地域企業参加型の社会貢献活動を推進する。地域貢献の積極的実施に努める。 <(現状値)2022年の数値> ①フリーマーケット等実施:3回/年・のべ12社参加 ②無料給水スポットの登録者数:3,000人/年	<2030年に向けた指標> ①5回/年・のべ20社参加 ②10,000人/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①4回/年・のべ16社参加 ②6,000人/年
経済	障害者雇用や高齢者雇用を積極的に進め、多様な人材が活躍できる職場づくりを推進する。 <(現状値)2022年の数値> ①障害者雇用数:2名/380名 ②高齢者(65歳以上)の雇用数:4名/380名	<2030年に向けた指標> ①6名/420名 ②12名/420名 <取組開始3年後に向けた指標> ①4名/400名 ②8名/400名

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 9日
住 所 さいたま市岩槻区西原台1-1-10
県内企業等の名称 株式会社 サイエイヤマト
代表者役職氏名 代表取締役 町田 豊

株式会社 サイエイヤマト

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、お客様価値の高い「モノ」と「サービス」を提供し、社会的課題の解決や気候変動などの地球環境問題への取り組みを通じ、持続可能な地域社会づくりの実現、SDGsの達成に貢献いたします。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	エコアクション21の取組の一環として、二酸化炭素(温室効果ガス)排出量の削減に取り組む。 <(現状値)2021年の数値> 二酸化炭素排出量:44,955kg-CO2	<2030年に向けた指標> 2021年比 7%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2021年比 3%削減
社会	社会貢献活動の継続実施として、川の国応援団美化活動に参加する。 <(現状値)2022年の数値> 美化活動実施回数:2回/年(延べ4名参加)	<2030年に向けた指標> 3回/年(延べ12名参加) <取組開始3年後に向けた指標> 2回/年(延べ6名参加)
経済	多様な働き方を推進するため、60歳以上の高齢者雇用者数を増加させる。 <(現状値)2022年の数値> 高齢者雇用数:1名/20名	<2030年に向けた指標> 5名/25名 <取組開始3年後に向けた指標> 3名/22名

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5 年 5 月 9 日
住 所 埼玉県比企郡鳩山町大字赤沼44-7
県内企業等の名称 株式会社田中工業
代表者役職氏名 代表取締役 田中亮圭

株式会社田中工業

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社の基本方針である下記5点を社員一人一人が取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。
1.地域社会に貢献する人材の育成と豊かな社会環境を創造する
2.技術力・知力・完成を高め、最高の技業で高い品質と価値あるソリューションを提供する
3.健全な財務体質の強化を実現する
4.法令、社会規範、企業倫理の理解と順守から、CSR活動に取り組む
5.安全衛生管理を強化・継続し安全文化を醸成する

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	社用車を環境配慮型自動車へ入替え、平均燃費の向上を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①導入台数:1台/30台 ②平均燃費:11.2km/ℓ	<2030年に向けた指標> ①3台/30台 ②12.32km/ℓ(2022年比10%UP) <取組開始3年後に向けた指標> ①2台/30台 ②11.76km/ℓ(2022年比5%UP)
社会	地域貢献活動である、ロードサポートを継続実施する。 <(現状値)2022年の数値> 実施回数:年2回(のべ16名参加)	<2030年に向けた指標> 年2回(のべ30名参加) <取組開始3年後に向けた指標> 年2回(のべ24名参加)
経済	従業員の働きがい向上のため、時間外労働時間の削減とノー残業デーの実施、休暇取得の促進を行う。 <(現状値)2022年の数値> ①平均時間外労働時間:13.32時間/月 ②ノー残業デー実施回数:0回/年 ③有給休暇平均取得日数:5日/年	<2030年に向けた指標> ①12.65時間/月(2022年比5%削減) ②24回/年 ③12日/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①13.05時間/月(2022年比2%削減) ②12回/年 ③8日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 9日
住 所 さいたま市浦和区常盤10-16-23
県内企業等の名称 株式会社田中工務店
代表者役職氏名 代表取締役社長 田中 一成

株式会社田中工務店

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は「事業の持続的な発展につとめ、顧客・地域社会・従業員・協力会社・株主の繁栄と幸福に貢献する」という経営理念に基づき持続可能な社会を実現するために社員ひとりひとりが今できる事を真摯に取り組み、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	次世代自動車・エコカー使用率100% ガソリン使用量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> ①次世代自動車・エコカー使用率:80%(21台/26台) ②ガソリン使用量:16,992ℓ/年	<2030年に向けた指標> ①100%(26台/26台) ②15,112ℓ/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①90%(23台/26台) ②15,505ℓ/年
社会	さいたま緑のトラスト基金の寄付額を増額する。 <(現状値)2022年の数値> 寄付額:1万円	<2030年に向けた指標> 寄付額:15万円(累計) <取組開始3年後に向けた指標> 寄付額:5万円(累計)
経済	多様な働き方を推進する。 <(現状値)2022年の数値> ①多様な働き方実践企業認定:シルバー ②認定項目数:3項目(認定項目1、2、6)	<2030年に向けた指標> ①プラチナ ②7項目(認定項目1、2、3、6、7、8、9) <取組開始3年後に向けた指標> ①ゴールド ②5項目(認定項目1、2、3、6、8)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 9日
住 所 埼玉県秩父市荒川上田野1402
県内企業等の名称 サンセイ磯田建設株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役 吉田 智

サンセイ磯田建設株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は「秩父の自然からの恵み、安心してらせる社会」を企業活動の原点とし、自然環境と調和を図り、安全・安心の地域社会の発展に貢献できる企業であり続けるよう努めています。
この考え方は、持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが責任をもって事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	事業所における緑化率をアップする。 <(現状値)2022年の数値> 事業所における緑化率:0%(0㎡/577.07㎡)	<2030年に向けた指標> 事業所における緑化率:10% <取組開始3年後に向けた指標> 事業所における緑化率:2%
社会	社会貢献活動として、地域の清掃活動を推進する。 <(現状値)2022年の数値> ロードサポート活動実施回数:2回/年・延べ12名	<2030年に向けた指標> ロードサポート活動:6回/年・延べ36名 <取組開始3年後に向けた指標> ロードサポート活動:4回/年・延べ24名
経済	従業員の私生活の充実と仕事への意欲の向上のため有給休暇取得日数を増加させる。 <(現状値)2022年の数値> 平均有給休暇取得日数:5日/年	<2030年に向けた指標> 平均有休休暇取得日数:10日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 平均有休休暇取得日数:7日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5 年 5 月 10 日
住 所 埼玉県南埼玉郡宮代町姫宮359
県内企業等の名称 株式会社野口建設
代表者役職氏名 代表取締役 中島 勘寿

株式会社野口建設

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、「Civil Engineering」(土木工学)とは市民(Civil) = 地域社会を豊かにしていくものであるという企業理念と一貫した社内体制のもとにたゆまぬ改善を続けあらゆる面での“質”の向上をめざす姿勢により、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点からペーパーレス化の推進を行う。また、電力使用量削減の為、照明のLED化を進める。 <(現状値)2022年の数値> ①コピー用紙使用量:34,300枚 ②照明のLED化率:25%(1箇所/5箇所(事業所・倉庫・置場等)) ③電気使用量:10,320kwh/年	<2030年に向けた指標> ①10%削減(2022年比) ②100% ③5%削減(2022年比) <取組開始3年後に向けた指標> ①5%削減(2022年比) ②80% ③3%削減(2022年比)
社会	地域社会への貢献活動としての「ロードサポート」と「川の国応援団(美化活動)」の継続と推進を図る。 <(現状値)2022年の数値> 活動回数:各活動4回/年(合計8回/年) 参加延べ人数:44名	<2030年に向けた指標> 各活動 4回/年、延べ60人 <取組開始3年後に向けた指標> 各活動 4回/年、延べ50人
経済	シニアの活躍の推進(高齢者雇用の促進)を図る。 <(現状値)2022年の数値> 定年(65歳)後の再雇用人数:1名/15名	<2030年に向けた指標> 定年(65歳)後の再雇用 3名/15名 <取組開始3年後に向けた指標> 定年(65歳)後の再雇用 2名/15名

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 10日
住 所 埼玉県幸手市大字幸手2619番地
県内企業等の名称 株式会社ISI・ビルド
代表者役職氏名 代表取締役 石井 栄三郎

株式会社ISI・ビルド

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は『耐えざる自己革新と創造により顧客の信頼と満足が得られる施工を提供し、当社の持続的な発展と社会貢献を達成する』を企業理念に、総合建設業を通じ、当社が保有する固有技術及び品質管理技術を駆使して、地域社会貢献に取り組むことでSDGsの達成に貢献します。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO2排出量削減のため、社用車を環境配慮型車両にする。 <(現状値)2022年の数値> ①環境配慮型車両の導入割合:17.6% (3台/17台) ②平均燃費:15.5km/L	<2030年に向けた指標> ①100% ②21km/L <取組開始3年後に向けた指標> ①47% ②17.2km/L
社会	企業の社会的責任を認識し、地域社会への奉仕と還元に努めることで、未来に繋がる地域社会の実現に貢献する。 <(現状値)2022年の数値> 川の国応援団活動回数:4回/年のべ20人参加	<2030年に向けた指標> 5回/年・のべ30人参加 <取組開始3年後に向けた指標> 4回/年・のべ24人参加
経済	埼玉県シニア活躍推進宣言企業として高齢者(60歳以上)雇用を積極的に進める。 <(現状値)2022年の数値> 高齢者雇用割合:20%(4人/20人)	<2030年に向けた指標> 30% <取組開始3年後に向けた指標> 25%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 10日
住 所 熊谷市江南中央二丁目17番1号
県内企業等の名称 株式会社オキナヤ
代表者役職 氏名 代表取締役 藤間 太郎

株式会社オキナヤ はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社の経営理念「優れた製品とサービスを提供し、お客様と社会に貢献する」に基づき、社員一人一人が誠意を持って事業活動に取り組むことにより地域社会の発展に貢献するとともに、同じ方向を目指す「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の一環として、省エネ設備や環境配慮型車両の導入などにより、エネルギー使用量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> ①電気使用量:385,005kwh/年 ②ガソリン使用量:81,987L/年	<2030年に向けた指標> ①2022年比 15%削減 ②2022年比 15%削減 <取組開始3年後に向けた指標> ①2022年比 10%削減 ②2022年比 10%削減
社会	従業員の働きがい向上として、年次有給休暇取得日数の増加を図る。 <(現状値)2022年の数値> 年間平均取得日数:10日/年	<2030年に向けた指標> 16日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 12日/年
経済	女性の管理職登用や高齢者雇用を積極的に進め、多様な働き方を推進する。 <(現状値)2022年の数値> ①管理職に占める女性労働者割合: 7%(4人/57人) ②高齢者(60歳以上)の雇用割合: 14%(18人/128人)	<2030年に向けた指標> ①15% ②20% <取組開始3年後に向けた指標> ①10% ②17%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 10日
住 所 新座市野火止1-13-41
県内企業等の名称 株式会社ブシュー
代表者役職氏名 代表取締役 近藤 豊

株式会社ブシュー

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、「循環型社会の構築」「環境負荷の低減」という方針の下、地球温暖化防止のために「省エネルギー」「省資源活動」に積極的に取り組み、社員一人一人が意識を高めることによってSDGs達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境負荷低減のため、従業員全員で節電活動に取り組みエネルギー使用量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> エネルギー使用量:102,489kWh/年	<2030年に向けた指標> ①2022年比 10%削減 <取組開始3年後に向けた指標> ①2022年比 5%削減
社会	地域社会貢献のため、会社周辺や近隣の清掃活動を推進する。 <(現状値)2022年の数値> 清掃活動実施回数:0回/年(のべ0人参加)	<2030年に向けた指標> 2回/年(のべ10人参加) <取組開始3年後に向けた指標> 1回/年(のべ5人参加)
経済	社員の働きやすい環境作りとして有給休暇取得率の増加を推進する。 <(現状値)2022年の数値> 有給休暇平均取得率:60% (取得日数/付与日数)	<2030年に向けた指標> 80% <取組開始3年後に向けた指標> 70%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 11日
住 所 深谷市永田918
県内企業等の名称 株式会社柿澤工務店
代表者役職氏名 代表取締役 柿澤 明久

株式会社柿澤工務店

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社の経営理念である「家族的な経営で、お客様との信頼関係を構築し、未永く安心を提供する。」は、スタッフ一人だけが大きな事を目標にするのではなく、一人一人が小さな目標をクリアし続けていく事により、次第に大きな目標を永続的に達成していく事ができるという理念である。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものにとらえており、社員一人一人が事業活動を誠実にを行うことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護のため、コピー用紙とエネルギー使用量の削減を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①コピー用紙使用枚数:1万5千枚/年 ②エネルギー使用量:13,820kwh/年	<2030年に向けた指標> ①2022年比 5%削減 ②2022年比 20%削減 <取組開始3年後に向けた指標> ①2022年比 2%削減 ②2022年比 10%削減
社会	社会貢献運動の推進のため、街の美化活動を行う。 <(現状値)2022年の数値> 美化活動実施回数:1回/年・のべ5名参加	<2030年に向けた指標> 4回/年・のべ40名参加 <取組開始3年後に向けた指標> 2回/年・のべ15名参加
経済	社員のワークライフバランス向上として、年次休暇の取得を促進する。 <(現状値)2022年の数値> 年次休暇取得平均日数:9日/年	<2030年に向けた指標> 15日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 12日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 11日
住 所 埼玉県久喜市北青柳1518-4
県内企業等の名称 株式会社スマートプロジェクト
代表者役職氏名 代表取締役 諸橋浩司

株式会社スマートプロジェクト はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社の経営理念は『よりよい未来の創造』である。①人が生きていく中で必要不可欠なものをよりよく、効率的に、持続可能な形で提供する。②様々なニーズの答えを想像し提供するグローバル企業として責任を果たす。③あらゆる生命、有機物、無機物とともに共生できる社会の実現に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員一人一人が誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	カーボンニュートラルの実現に向け、LEDライトを導入し、エネルギー使用量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> ①エネルギー使用量:18,200kwh/年 ②LED照明導入率0%(0室/10室)	<2030年に向けた指標> ①2022年比 30%削減 ②100%(10室/10室) <取組開始3年後に向けた指標> ①2022年比 15%削減 ②20%(2室/10室)
社会	社会貢献のため、事業所周辺の環境美化の活動を行う。 <(現状値)2022年の数値> 環境美化活動実施回数:6回/年(のべ6人参加)	<2030年に向けた指標> 12回/年(のべ12人参加) <取組開始3年後に向けた指標> 9回/年(のべ9人参加)
経済	多種多様な人材が活躍できる職場環境にしていくため①高齢者(60歳以上)の雇用を進めていく ②女性の管理職を増やしていく。 <(現状値)2022年の数値> ①高齢者雇用数:20人/80人 ②女性管理職数:0人/4人	<2030年に向けた指標> ①40人/80人 ②2人/4人 <取組開始3年後に向けた指標> ①25人/80人 ②1人/4人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 11日
住 所 埼玉県川越市大字鯨井552
県内企業等の名称 埼玉ライナー株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役 宮田 哲

埼玉ライナー株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社の企業理念である「優れた技術を通じて、常に地域社会に貢献する」を念頭に、自然環境に配慮した物づくりなど、事業活動を通じて地域の課題解決、地域社会に資することにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	社用車の燃料・燃費をデータ化し、エコドライブの推進をするとともに環境配慮型車両に入れ替える。 <(現状値)2022年の数値> ①環境配慮型車両導入率:56%(9台/16台)②平均燃費:15km/L	<2030年に向けた指標> ①100%(16台/16台) ②23km/L <取組開始3年後に向けた指標> ①75%(12台/16台) ②20km/L
社会	社会貢献活動として、「彩の国ロードサポート」の継続及び推進をする。 <(現状値)2022年の数値> 彩の国ロードサポート実施回数:4回/年(延べ24名)	<2030年に向けた指標> 6回/年(延べ54名) <取組開始3年後に向けた指標> 5回/年(延べ45名)
経済	多様な働き方実践事業として、社員の有給休暇取得向上を目指す。 <(現状値)2022年の数値> 有給休暇平均取得日数:11日/年	<2030年に向けた指標> 14日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 12日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 11日

住 所 久喜市南栗橋5-19-12

県内企業等の名称 リーディングテック株式会社

代表者役職 氏名 代表取締役 本川 俊

リーディングテック株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

リーディングテック株式会社は事業を通じた社会持続可能性の向上のみならず、外部機関とも連携することで社会的インパクトの最大化を図っています。各種イベントや地方自治体事業への協賛、パートナーシップへの参加等を通じてリーディングテック単体では難しかった社会課題解決にも貢献し、様々なアプローチでSDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	社内の電球をLEDに変え、コピー用紙の使用枚数を減らす。 <(現状値)2022年の数値> ①LED電球の割合:0%(0/社内10個) ②コピー用紙の使用枚数:約1,200枚/年	<2030年に向けた指標> ①50% ②70%削減 <取組開始3年後に向けた指標> ①30% ②50%削減
社会	社員参加型の社会貢献活動を推進するとともに、時間外労働時間を削減する。 <(現状値)2022年の数値> ①街の美化活動:0回/年 のべ2人参加 ②平均時間外労働時間:40時間/月	<2030年に向けた指標> ①4回/年 のべ10人参加 ②20時間/月 <取組開始3年後に向けた指標> ①2回/年 のべ5人参加 ②30時間/月
経済	女性の雇用や従業員の年次休暇取得日数を奨励して、多様な働き方を推進する。 <(現状値)2022年の数値> ①女性雇用者:0%(0人/2人) ②年次休暇平均取得日数:70%	<2030年に向けた指標> ①50%(5人/10人) ②100% <取組開始3年後に向けた指標> ①40%(2人/5人) ②90%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 12日
住 所 比企郡吉見町下細谷306-1
県内企業等の名称 株式会社中村組
代表者役職 氏名 代表取締役 中村善博

株式会社中村組 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、各認証制度を有効に活用しながら、「地域社会から信頼を獲得する」という理念に基づき、地域社会の発展に貢献する事業活動を通じて、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	二酸化炭素排出量を削減し、地球温暖化対策に貢献する。(取組みは、エコアップ認証の制度の活動に準ずる) <(現状値)2022年の数値> CO2排出量:35.5t-co2/年	<2030年に向けた指標> CO2排出量 10%削減 2022年比 <取組開始3年後に向けた指標> CO2排出量 5%削減 2022年比
社会	従業員参加型の社会貢献活動の継続及び推進として、彩の国ロードサポートへ参加する。 <(現状値)2022年の数値> 参加人数:25%(18人/72人)	<2030年に向けた指標> 70% <取組開始3年後に向けた指標> 55%
経済	多様な人材が活躍できる職場づくりのため、高齢者の雇用を推進する。 <(現状値)2022年の数値> 高齢者(65歳以上)の雇用比率:10%(3人/24人)	<2030年に向けた指標> 高齢者の雇用比率 20% <取組開始3年後に向けた指標> 高齢者の雇用比率 15%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 12日
住 所 埼玉県志木市下宗岡4-15-24
県内企業等の名称 木下建設株式会社
代表者役職氏名 代表取締役 木下貞男

木下建設株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は「ものづくりから地域社会の豊かな未来創造に向けて」という基本理念に基づき、総合建設業として地元地域の皆様のお役に立つ事をモットーに成長してまいりました。
「地域社会の発展に寄与する」この考え方は、持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとり一人が誠実に事業活動に取り組むことでSDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	事務所内で使用している紙製品の使用をDX化して削減し、社内照明のLED化を増やす。 <(現状値)2022年の数値> ①紙製品使用量:74,000枚/年 ②LED化率:50%(5室/10室)	<2030年に向けた指標> ①(2022年比)25%削減 55,500枚/年 ②100% <取組開始3年後に向けた指標> ①(2022年比)10%削減 66,600枚/年 ②80%
社会	社員参加型の社会貢献活動を推進する。 <(現状値)2022年の数値> ①彩の国ロードサポート:2回/年(のべ5人参加) ②川の国応援団:1回/年(のべ5人参加)	<2030年に向けた指標> ①2回(のべ10人参加) ②1回(のべ10人参加) <取組開始3年後に向けた指標> ①2回(のべ7人参加) ②1回(のべ7人参加)
経済	「地域社会の発展に寄与する」という考えから地元地域の事業者との取引を増やす。 <(現状値)2022年の数値> 取引件数:30者(累計)	<2030年に向けた指標> 40者(累計) <取組開始3年後に向けた指標> 35者(累計)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 12日
住 所 川口市榛松1583
県内企業等の名称 株式会社イーエーオー
代表者役職氏名 代表取締役 荻原 宏明

株式会社イーエーオー

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

弊社は、半導体製造装置及び液晶製造装置等の部品製造により、機械部品の製造方法の改良を重ね、人々の豊かな生活を支え、成長していく社会と共にSDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	全社で節電の意識を高め、エネルギー使用量の削減を目指していくとともに、ペーパーレスを推進していく。 <(現状値)2022年の数値> ①年間電力使用量:92,000kwh/年 ②コピー用紙使用量:6000枚/年	<2030年に向けた指標> ①64,400kwh(▲30%) ②4800枚/年(▲20%) <取組開始3年後に向けた指標> ①82,800kwh(▲10%) ②5400枚/年(▲10%)
社会	地元経済発展のため、地元企業との取引を強化していく。また、町内会の祭りへの参加を積極的に行う。 <(現状値)2022年の数値> ①総仕入先に対する川口市内の業者率:81% ②地元祭りへの参加:0回/年・のべ0人	<2030年に向けた指標> ①90% ②2回/年・のべ6人 <取組開始3年後に向けた指標> ①85% ②1回/年・のべ3人
経済	女性従業員の採用を強化し、多様な人材が活躍できる環境整備していく。 <(現状値)2022年の数値> 女性従業員の雇用率:10%(1人/10人)	<2030年に向けた指標> 33%(5人/15人) <取組開始3年後に向けた指標> 23%(3人/13人)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 15日
住 所 南埼玉郡宮代町字東107
県内企業等の名称 金子建設株式会社
代表者役職氏名 代表取締役 金子 繁子

金子建設株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「まごごろ込めたもの創り」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	書類の電子化を推奨し、ペーパーレスの意識を高めることでコピー用紙の使用量を削減する。また、照明による電力削減のため電灯のLED化を進める。 <(現状値)2022年の数値> ①コピー用紙使用枚数:13,200枚/年 ②LED化率:30%(2室/6室)	<2030年に向けた指標> ①10%削減 ②70%(4室/6室) <取組開始3年後に向けた指標> ①5%削減 ②50%(3室/6室)
社会	彩の国ロードサポートを継続実施し、地域の環境美化を図る。また、地元のお祭りに参加し、地域活動に貢献する。 <(現状値)2022年の数値> ①ロードサポート3回/年 のべ9人 ②地元祭りへの参加 1回/年 のべ3人	<2030年に向けた指標> ①3回/年 のべ15人 ②1回/年 のべ5人 <取組開始3年後に向けた指標> ①3回/年 のべ12人 ②1回/年 のべ4人
経済	有給休暇平均取得日数増加を促進し、働きやすい職場を目指す。 <(現状値)2022年の数値> 有給休暇平均取得日数:9日/年	<2030年に向けた指標> 有給休暇平均取得日数:13日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 有給休暇平均取得日数:11日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 15日
住 所 越谷市小曾川681-1
県内企業等の名称 宝源株式会社
代表者役職氏名 代表取締役 大場 龍一

宝源株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は鉄・非鉄金属を中心とした資源の再資源化を促進し、産業廃棄物の適正処理を行っております。環境を配慮した当社の事業は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO2削減のためDX化などにより、ペーパーレス化を推進しコピー用紙の削減に取り組む。 <(現状値)2022年の数値> コピー用紙使用量:5,000枚/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 15%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 5%削減
社会	社会貢献活動の一環として、地方公共団体(越谷市)へ寄付を行う。 <(現状値)2022年の数値> 越谷市への寄付:50万円/年	<2030年に向けた指標> 寄付金額:80万円/年 <取組開始3年後に向けた指標> 寄付金額:55万円/年
経済	外国人の雇用に積極的に取組み、多様な人材が活躍できる職場づくりを目指す。 <(現状値)2022年の数値> 外国人社員雇用数:1人/10人(累計)	<2030年に向けた指標> 外国人社員雇用人数 10人/20人 <取組開始3年後に向けた指標> 外国人社員雇用人数 3人/13人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 15日

住 所 大里郡寄居町桜沢1632番2

県内企業等の名称 株式会社MCロジスティクス物流センター

代表者役職 氏名 センター長 田村 謙弥

株式会社MCロジスティクス物流センター はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念にもある通り、「常にお客様の繁栄に寄与する」ことを掲げ、社員の健康と幸福を願
い、企業の発展を基に地域社会に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を
目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献し
ていく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、輸送過程で排出される温室効果ガスを削減し、エコドライブの推進、輸送ルートの最適化を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①低炭素型ディーゼルトラック導入率:80%(8台/10台) ②平均燃費:3.0km/L	<2030年に向けた指標> ①100% ②3.9km/L <取組開始3年後に向けた指標> ①90% ②3.5km/L
社会	地域貢献活動の一環として、社員参加型の地域の清掃活動に参加する。 <(現状値)2022年の数値> 地域の清掃活動:3回/年、のべ10名参加	<2030年に向けた指標> 10回/年、のべ50名参加 <取組開始3年後に向けた指標> 6回/年、のべ18名参加
経済	女性ドライバーや高齢者作業員の積極的な採用を進め、多様な人材が活躍できる職場づくりを推進する。 <(現状値)2022年の数値> ①女性ドライバー比率:8%(1名/13名) ②高齢者(60歳以上)雇用比率:15%(2名/13名)	<2030年に向けた指標> ①20% ②25% <取組開始3年後に向けた指標> ①15% ②20%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5 年 5月 16日
住 所 埼玉県熊谷市俵瀬138-4
県内企業等の名称 大利根ベルト工業株式会社
代表者役職氏名 代表取締役 清水松夫

大利根ベルト工業株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は企業理念である「(会社において)模範的な一流の企業人、(地域社会における)模範的な一流の社会人、(家庭において)一流の家庭人」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。
この考え方は持続可能な開発目標「SDGs」と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	事業所における緑化率を上げ、緑の多い環境を作る。またエネルギー使用量の削減のため、照明のLED化を更に進める。 <(現状値)2022年の数値> ①緑化率:10%(0.1ha/1ha) ②LED化率:90%(9室/10室)	<2030年に向けた指標> ①20% ②100%(10室/10室) <取組開始3年後に向けた指標> ①15% ②100%(10室/10室)
社会	社員参加型・社会貢献活動の推進として、地域の美化活動に参加する。 <(現状値)2022年の数値> 地域の美化活動:2回/年、のべ5人参加	<2030年に向けた指標> 4回/年、のべ16人参加 <取組開始3年後に向けた指標> 3回/年、のべ9人参加
経済	地域経済の活性化に貢献するため、地域、主に県北を中心とした事業者との取引を増加させる。 <(現状値)2022年の数値> 地元地域の取引先:20社	<2030年に向けた指標> 地元地域の取引先:50社 <取組開始3年後に向けた指標> 地元地域の取引先:30社

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 16日
住 所 さいたま市北区別所町65-3
県内企業等の名称 株式会社永和想商トラスティ
代表者役職氏名 代表取締役 小島正嗣

株式会社永和想商トラスティ はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は信頼できるものが集い、信頼できる企業を目指していくことで地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員一人ひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGs達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	ペーパーレス化や裏紙利用を推進し、コピー用紙の使用枚数を削減する。 <(現状値)2022年度の数値> コピー用紙使用枚数:171,000枚/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 20%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 5%削減
社会	社員参加型の社会貢献活動を推進するため、街の美化活動への取り組みを行う。 <(現状値)2022年度の数値> 実施なし 実施活動0件、参加人数0人	<2030年に向けた指標> 4回/延べ人数 8人 <取組開始3年後に向けた指標> 2回/延べ人数 4人
経済	ワークライフバランス実現のため、従業員の年次有給休暇取得率を向上させる。 <(現状値)2022年の数値> 平均有給休暇取得日数:8.6日/年	<2030年に向けた指標> 12日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 10日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 16日

住 所 さいたま市浦和区岸町7-1-4 荏原実業浦和ビル3階

県内企業等の名称 株式会社ユメックスホーム埼玉営業所

代表者役職 氏名 係長 森田優希

株式会社ユメックスホーム埼玉営業所 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

ユメックスホームは「家族」を大切にする会社です。
「社員＝家族」のもと、社員のやりがい、働きがいを与えられるよう、様々な施策を講じています。
家族を大切にする＝地球のことも大切にする。社員一人一人が同じ方向をむいて持続可能(SDGs)な
行動により、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の視点から、ハイブリッド車等の 環境配慮型車両の導入を進める。 <(現状値)2022年の数値> ①環境配慮型車両導入割合:42% (8台/19台) ②平均燃費:20.22km/l	<2030年に向けた指標> ①100%(19台/19台) ②30.66km/l <取組開始3年後に向けた指標> ①80%(15台/19台) ②25.98km/L
社会	次世代育成のため、インターンシップの受 入れを行う。 <(現状値)2022年の数値> インターン生受入回数:0回/年	<2030年に向けた指標> 4回/年 のべ10人参加 <取組開始3年後に向けた指標> 2回/年 のべ5人参加
経済	誰もが活躍できる労働環境の整備のため、 障害者雇用を積極的に進めるとともに、 社員満足度アンケートを実施し、社員の メンタルヘルスサポートを行う。 <(現状値)2022年の数値> ①アンケート満足度:実施なし ②障がい者雇用人数:1名/45名	<2030年に向けた指標> ①満足度90% ②4名/45名 <取組開始3年後に向けた指標> ①満足度60% ②3名/45名

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 16日

住 所 埼玉県さいたま市南区大谷口580-1

県内企業等の名称 一般社団法人こあ

代表者役職氏名 代表理事 佐藤 晋

一般社団法人こあ

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「病気や障害があっても安心して暮らせる地域づくり」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、ペーパーレス化に伴うコピー用紙の削減や環境に配慮された車両の導入を進める。 <(現状値)2022年の数値> ①コピー用紙使用量:30,000枚/年 ②環境配慮型車両導入割合:50%(1台/2台) ③平均燃費:16.53km/ℓ	<2030年に向けた指標> ①30%削減 ②100% ③25km/ℓ <取組開始3年後に向けた指標> ①10%削減 ②50% ③16.53km/ℓ
社会	退院後の生活拠点が無い障害者の生活支援を積極的に実施し、平等で当たり前の生活を実現する。また、社員参加型の社会貢献活動を推進し、近隣地域の清掃活動を行う。 <(現状値)2022年の数値> ①退院後の地域定着支援件数:13件/年 ②近隣地域の清掃活動:0回/年	<2030年に向けた指標> ①20件/年 ②5回/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①16件/年 ②3回/年
経済	年次有給休暇の確実な取得を目指す。また、より質の高いサービスを提供するため、職員の資格取得を推進していく。 <(現状値)2022年の数値> ①有給休暇取得平均日数:対象者なし ②介護職員初任者研修の有資格者割合:50%(1人/2人)	<2030年に向けた指標> ①10日/年 ②80%(4人/5人) <取組開始3年後に向けた指標> ①5日/年 ②60%(3人/5人)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣言日 令和 5年 5月 17日
住所 本庄市児玉町宮内字大谷838番地4
県内企業等の名称 株式会社エコスファクトリー
代表者役職 氏名 代表取締役 増田 淳

株式会社エコスファクトリー はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社のパーパス(存在意義)である「国連が掲げる持続可能な開発目標(SDGs)の達成に全力で取り組み、より良くより持続可能な未来を実現して、人類の進歩に貢献する」を念頭におき行動していく。廃棄物事業において、地域社会や環境、将来世代とも利益を共有できる持続可能なソリューションを我社のステークホルダーである地球環境・地域社会・株主・顧客・従業員と共に創造することに取り組みます。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献してまいります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	エネルギー(電気)使用量の削減を進める。 <(現状値)2022年の数値> 11,166,399kw/年	<2030年に向けた指標> 20%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 10%削減
社会	社員参加型の社会貢献活動を促進し、周辺環境の美化に努める。 <(現状値)2022年の数値> 事業所周辺の環境美化活動:2回/年・のべ20人参加	<2030年に向けた指標> 年4回以上・のべ50人参加 <取組開始3年後に向けた指標> 年3回・のべ30人参加
経済	有給休暇の取得を積極的に推進し、多様な働き方を推進する。 <(現状値)2022年の数値> 有給休暇平均取得日数:11日/年	<2030年に向けた指標> 13日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 12日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 17日
住 所 川口市上青木西3-6-34
県内企業等の名称 株式会社サン設備
代表者役職 氏名 代表取締役 小坂 廣継

株式会社サン設備 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

環境に配慮した事業活動及び、地域社会への貢献を重視した活動により、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、環境配慮型車両の導入を促進し、CO2排出量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> ①環境配慮型車両導入率:10%(4台/40台) ②平均燃費:10km/L	<2030年に向けた指標> ①30%(12台/40台) ②14km/L <取組開始3年後に向けた指標> ①15%(6台/40台) ②12km/L
社会	地域社会への貢献として、美化活動を実施する。 <(現状値)2022年の数値> 美化活動実施回数:0回(のべ0人参加)	<2030年に向けた指標> 4回/年(のべ8人参加) <取組開始3年後に向けた指標> 2回/年(のべ4人参加)
経済	多様な働き方の推進として、若年層(30歳未満)の雇用を拡大する <(現状値)2022年の数値> 30歳未満従業員割合:6%(3名/50名)	<2030年に向けた指標> 16%(8名/50名) <取組開始3年後に向けた指標> 10%(5名/50名)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 17日
住 所 埼玉県川口市差間1-19-5
県内企業等の名称 株式会社細小路工務店
代表者役職氏名 代表取締役 菊地 史明

株式会社細小路工務店はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

環境に配慮した事業活動及び、地域社会への貢献を重視した活動により、SDGsの達成に貢献してく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護のため、産業廃棄物排出量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> 産業廃棄物排出量:22t /年	<2030年に向けた指標> 2022年比 10%減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 5%減
社会	地域社会への貢献として、商工会や法人会の活動に参加する。 <(現状値)2022年の数値> イベント活動参加回数:0回(のべ0人参加)	<2030年に向けた指標> 4回/年(のべ8人参加) <取組開始3年後に向けた指標> 2回/年(のべ4人参加)
経済	多様な人材が活躍できる職場づくりの推進として、女性社員の雇用を拡大する <(現状値)2022年の数値> 女性従業員割合:18%(2名/11名)	<2030年に向けた指標> 33%(5名/15名) <取組開始3年後に向けた指標> 27%(3名/11名)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 17日
住 所 新座市馬場1-1-12
県内企業等の名称 株式会社松島製本
代表者役職 氏名 代表取締役 菅原廣吉

株式会社松島製本

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「高品質な書籍の製本ならびに紙加工を提供することにより、社会に貢献すること」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この理念は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、エネルギー使用量削減を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①エネルギー使用量:358,758kWh/年 ②LED化率:10%(照明器具28点/270点)	<2030年に向けた指標> ①20%削減 ②100%(照明器具270点/270点) <取組開始3年後に向けた指標> ①10%削減 ②50%(照明器具140点/270点)
社会	地元のお祭りの後援(寄付)を行う。子ども食堂の運営を支援する。 <(現状値)2022年の数値> ①地元祭りへの寄付:5,000円/年 ②子ども食堂への寄付:実施なし	<2030年に向けた指標> ①30,000円/年 ②100,000円/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①10,000円/年 ②50,000円/年
経済	障がい者や高齢者雇用を積極的に進め、多様な人材が活躍できる職場づくりを推進する。 <(現状値)2022年の数値> ①障がい者雇用比率:13%(5人/38人) ②高齢者(65歳以上)の雇用比率:15.8%(6人/38人)	<2030年に向けた指標> ①18% ②30% <取組開始3年後に向けた指標> ①15% ②20%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月17日
住 所 朝霞市膝折町4-12-62
県内企業等の名称 有限会社カタノ精工
代表者役職氏名 代表取締役社長 片野 信

有限会社カタノ精工

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「常に未来を展望し、誠実に、社会及びお客様から信頼を得るよう全力を尽くす。」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組みむ事により、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、エネルギー使用量の削減及び社用車の環境配慮型車両への切り替えを行う。 <(現状値)2022年の数値> ①エネルギー使用量:214,000kwh/年 ②環境配慮型車両の導入:0台/3台	<2030年に向けた指標> ①20%削減 ②2台/3台 <取組開始3年後に向けた指標> ①10%削減 ②1台/3台
社会	社員参加型の社会貢献活動を推進する。 <(現状値)2022年の数値> 地域の美化活動:年1回 6名参加	<2030年に向けた指標> 年6回 36名参加 <取組開始3年後に向けた指標> 年3回 18名参加
経済	多様な人材が活躍できる職場づくりを推進するため、女性管理職登用や、高齢者雇用を積極的に進める。 <(現状値)2022年の数値> ①女性管理職登用:1人/3人 ②高齢者(65歳以上)雇用:0人/12人	<2030年に向けた指標> ①2人/4人 ②3人/12人 <取組開始3年後に向けた指標> ①1人/4人 ②1人/12人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 18日
住 所 埼玉県川越市久下戸3460-1
県内企業等の名称 仲産業 株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役 仲 剛

仲産業 株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

より高品質な製品を創り出し、安心安全な食の提供に貢献すると共に、『地域に根付く企業として、納税義務や雇用の創出などの企業義務を果たすことにより、地域社会の健全な発展に貢献していく』という当社の理念に基づく全従業員の実直な行動により、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、高効率な配電設備を導入し、エネルギー使用量の削減を図る。また、ITデバイスの導入による紙の使用量の削減を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①エネルギー使用量:413,897kwh/年 ②紙使用量:195,000枚/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 ①20%削減 ②30%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 ①10%削減 ②10%削減
社会	従業員のQOL向上として、人員の増員・適正配置により、会社全体の超過労働時間の削減を図る。 <(現状値)2022年の数値> 1人当たりの月平均超過労働時間:20時間/月	<2030年に向けた指標> 2022年比 30%削減 14時間/月 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 10%削減 18時間/月
経済	人口減少による人手不足等、社会問題の解決に資する厨房機器等の製品の開発・製造を図るとともに、人材確保のため、高齢者(60歳以上)雇用を推進する。 <(現状値)2022年の数値> ①開発・製造件数:3件/年 ②高齢者の雇用比率:20%(11人/50人)	<2030年に向けた指標> ①10件/年 ②30% <取組開始3年後に向けた指標> ①6件/年 ②25%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 18日

住 所 埼玉県新座市大和田5-2-25

県内企業等の名称 株式会社ボン

代表者役職 氏名 代表取締役 加藤久人

株式会社ボン

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社経営理念である「全従業員の物心両面の幸福を追求し、永遠の美しさの提供を通じて社会に貢献する」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は、持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員一人一人が誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO2削減のため、コピー用紙の使用枚数の削減に取り組む。 <(現状値)2022年の数値> コピー用紙の使用枚数:85,000枚/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 20%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 10%削減
社会	社会貢献活動の一環として、中学・高等学校の職場体験(インターンシップ)を受け入れる。 <(現状値)2022年の数値> ①中学生の受入れ:0校・0人/年 ②高校生の受入れ:2校・4人/年	<2030年に向けた指標> ①5校・10人/年 ②10校・20人/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①2校・4人/年 ②5校・10人/年
経済	多様な人材が活躍できる社会を実現するため、外国人の雇用者数を増加する。 <(現状値)2022年の数値> 外国人の雇用人数 2人(2人/155人)	<2030年に向けた指標> 外国人の雇用人数 8人 <取組開始3年後に向けた指標> 外国人の雇用人数 5人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 8 日
住 所 新座市野火止1-13-16-1
県内企業等の名称 ゆたか磨材株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役 加藤由光

ゆたか磨材株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

基本理念の「顧客に必要とされる製品・サービス・人材・会社」を追求し続け、自動車補修業界、地域社会の発展に貢献する。この考えはSDGsと同じ方向を目指すものであり、従業員ひとりひとりが共に成長し誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO2削減の為、公共交通機関を活用し、ガソリン使用量を削減、また、ペーパーレスを推進しコピー用紙削減に取り組む。 <(現状値)2022年の数値> ①ガソリン使用量:16,333L/年(社用車7台分) ②コピー用紙使用量:15,000枚/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 ①15%削減 ②40%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 ①8%削減 ②20%削減
社会	社会参加型の地域美化活動を推進する。 <(現状値)2022年の数値> 町の美化活動:年1回 のべ3人参加	<2030年に向けた指標> 年5回 のべ15人参加 <取組開始3年後に向けた指標> 年3回 のべ9人参加
経済	多様な人材が働く職場づくりの推進のため、女性や高齢者の雇用比率を上げる。 <(現状値)2022年の数値> ①女性雇用率:25%(8人中2人) ②60歳以上の高齢者の雇用率:0%(8人中0人)	<2030年に向けた指標> ①40%(12人中5人) ②16%(12人中2人) <取組開始3年後に向けた指標> ①30%(10人中3人) ②10%(10人中1人)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5 年 5 月 19 日
住 所 さいたま市北区宮原町4-67-1
県内企業等の名称 株式会社飯沼工務店
代表者役職 氏名 代表取締役 飯沼章

株式会社飯沼工務店 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は従来よりSDGsのゴール達成に繋がる取組をしてきたが、人材育成、技術の継承が課題となっている。今後は若年層の雇用に注力し、企業の存続すなわち持続可能性を高め、地域社会の衛生設備環境を整えていくことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO2削減のため、電気使用量や水道使用量の削減に取り組む。 <(現状値)2022年の数値> ①電力使用量:16,149kWh/年 ②水道使用量:70m ³ /年	<2030年に向けた指標> 2022年比 ①90% ②94% <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 ①95% ②97%
社会	社会貢献活動の一環として、建設現場に寄付型自動販売機を設置する。 <(現状値)2022年の数値> 1台設置(累計1台)	<2030年に向けた指標> 累計15台設置 <取組開始3年後に向けた指標> 累計5台設置
経済	技術継承のために若年技術者を雇用し、育成していく。特に10~30代の技術者数を増員させる。 <(現状値)2022年の数値> 若年(10~30代)技術者数:2人/8人	<2030年に向けた指標> 5人 <取組開始3年後に向けた指標> 3人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 19日
住 所 埼玉県戸田市早瀬1-12-7
県内企業等の名称 ミート物流株式会社 戸田物流センター
代表者役職 氏名 戸田物流センター長 佐藤 光

ミート物流株式会社 戸田物流センター はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社の経営理念である「食品流通を通して人類・社会の進歩発展に寄与する」ことを目指し、社員一人一人が誠実に事業活動に取り組むことによりSDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の一環として、DX化を推進してペーパーレス化を図る。 <(現状値)2022年の数値> ペーパー使用量:2万枚/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 10%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 5%削減
社会	社会貢献活動の一環として街の美化活動を行う。また、地域活性化のため、地元の人材を積極的に雇用する。 <(現状値)2022年の数値> ①美化活動回数:0回/年 のべ0名 ②地元従業員数:31人/46人	<2030年に向けた指標> ①4回/年 のべ12名 ②2022年比 6人増員 <取組開始3年後に向けた指標> ①2回/年 のべ4名 ②2022年比 3人増員
経済	多様な働き方の推進として、女性、高齢者(65歳以上)が活躍できるように雇用比率の向上を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①女性社員比率:48%(22人/46人) ②高齢者雇用比率:11%(5人/46人)	<2030年に向けた指標> ① 26人/50人 ② 8人/50人 <取組開始3年後に向けた指標> ① 23人/46人 ② 6人/46人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 19日
住 所 埼玉県戸田市笹目4-17-5
県内企業等の名称 株式会社Y HOLDINGS
代表者役職 氏名 代表取締役社長 利島弘悟

株式会社Y HOLDINGS はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社の経営理念である「食品流通を通して人類・社会の進歩発展に寄与する」ことを目指し、社員一人一人が誠実に事業活動に取り組むことによりSDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の一環として、照明のLED化等を行い電気使用量の削減を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①LED化率:0%(0室/2室) ②電気使用量:1,384kwh/年	<2030年に向けた指標> ①LED照明比率:100%(2室/2室) ②1,100kwh/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①LED照明比率:50%(1室/2室) ②1,250kwh/年
社会	社会貢献活動の一環として、会社周辺の美化活動を行う。また、使用済みの切手を埼玉県ユニセフ協会に郵送しアジアやアフリカの保健医療に役立てる。 <(現状値)2022年の数値> ①美化活動回数:0回/年 のべ0名 ②ユニセフへの切手送付:0回/年 0枚	<2030年に向けた指標> ①4回/年 活動人数のべ8名 ②3回/年 累計150枚 <取組開始3年後に向けた指標> ①2回/年 活動人数のべ2名 ②2回/年 累計100枚
経済	誰もが活躍できる職場づくりの一環として、女性、高齢者の雇用を推進する。 <(現状値)2022年の数値> ①女性社員:0名/1名 ②高齢者(65歳以上):0名/1名	<2030年に向けた指標> ①女性社員:2名/10名 ②高齢者:2名/10名 <取組開始3年後に向けた指標> ①女性社員:1名/7名 ②高齢者:1名/7名

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 19日

住 所 埼玉県比企郡川島町大字中山1888

県内企業等の名称 株式会社ナガセ

代表者役職 氏名 代表取締役 永瀬満康

株式会社ナガセ

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

安心安全なインフラの提供をテーマに金属製品製造業会社として、人と自然に負荷をかけずに製品製造をすることが、これからのメーカーとしての今後の課題としてとらえ、高品質の製品提供と環境にやさしく、持続可能な社会の実現を目指したい。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO2削減のため、電力使用量の削減に努める。 <(現状値)2022年の数値> 年間電力使用量(高圧電力):67,000KWh/年	<2030年に向けた指標> 電力使用量の削減:8% <取組開始3年後に向けた指標> 電力使用量の削減:2%
社会	地域・社会貢献活動を推進する。 <(現状値)2022年の数値> 川島町社会福祉協議会への寄付:5千円/年	<2030年に向けた指標> 3万円/年 <取組開始3年後に向けた指標> 1万円/年
経済	ワークライフバランス向上の一環として、有給休暇平均取得日数を増加させる。 <(現状値)2022年の数値> 平均有給休暇取得日数:5日/年	<2030年に向けた指標> 12日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 8日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 19日
住 所 越谷市大字袋山1959番地
県内企業等の名称 矢島建設株式会社
代表者役職氏名 代表取締役 矢島 壽夫

矢島建設株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、道路工事や造成工事等の建設工事を通じて、地域社会のインフラとしての事業活動を行うと共に、環境保全活動や資源エネルギーの有効活用等により、CO2や廃棄物の削減を推進し、地域の人々の暮らしやすい環境作りに貢献できる企業を目指すことで、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の一環として紙資源の使用量削減とエネルギー使用量削減を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①コピー用紙使用枚数:140,000枚/年 ②エネルギー使用量:70,000kwh/年	<2030年に向けた指標> 2022年度比 ①10%削減 ②8%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年度比 ①5%削減 ②4%削減
社会	社会貢献活動への参加として、事業所周辺の清掃活動を実施する。 <(現状値)2022年の数値> 清掃活動の実施:0回/年 のべ0人参加	<2030年に向けた指標> 3回/年 のべ15人参加 <取組開始3年後に向けた指標> 2回/年 のべ10人参加
経済	多様な人材活躍を推進するため、定年後の再雇用など高齢者雇用を推進する。 <(現状値)2022年の数値> 60歳以上の高齢者採用者数:1人/18人(高齢者雇用者数/全従業員数)	<2030年に向けた指標> 高齢者採用者数:5人 <取組開始3年後に向けた指標> 高齢者採用者数:2人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 19日

住 所 久喜市菖蒲町三箇5-6

県内企業等の名称 株式会社ホンダパーツ日商 埼玉営業所

代表者役職氏名 所長 藏屋敷 勇

株式会社ホンダパーツ日商 埼玉営業所

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「ヒトの成長」に基づき考動し、業務内容の延長線上を地域及び社会貢献することで社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取組むことにより、持続可能な開発目標(SDGs)と同じベクトルに向かうことでSDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO2削減に貢献するため、室内灯を蛍光灯からLED灯に変更し、エネルギー使用量の削減に努める。 <(現状値)2022年の数値> ①エネルギー使用量:205,786kWh/年 ②LED化率:0%	<2030年に向けた指標> ①2022年比 50%削減 ②90%(倉庫1階・2階) <取組開始3年後に向けた指標> ①2022年比 15%削減 ②30%(事務所・食堂・会議室)
社会	社員参加型の交通安全教室を開催することで、地域社会貢献活動を推進する。 <(現状値)2022年の数値> 交通安全教室:0回/年 のべ0人参加	<2030年に向けた指標> 4回/年 のべ40人参加 <取組開始3年後に向けた指標> 2回/年 のべ20人参加
経済	騎西特別支援学校から実習生を定期的に受入れ、就職に向けた実習経験を創出する機会を設ける。 <(現状値)2022年の数値> 騎西特別支援学校(1校)より実習生受入:1名	<2030年に向けた指標> 特別支援学校3校から3名受入 <取組開始3年後に向けた指標> 特別支援学校2校から2名受入

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 19日
住 所 さいたま市大宮区宮町二丁目35番地
県内企業等の名称 株式会社日立プラントサービス 関東支店
代表者役職氏名 支店長 北村公宏

株式会社日立プラントサービス 関東支店 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は責任ある企業活動と社会イノベーション事業を通じて、社会が直面する課題に率先して応えることで、SDGsの達成に貢献します。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO2排出量削減のため社有車を環境配慮型車両に順次入れ替える。 <(現状値)2022年の数値> ①環境配慮型車両の導入割合:25%(1台/4台) ②平均燃費:11km/ℓ	<2030年に向けた指標> ①100%(4台/4台) ②平均燃費:17km/ℓ <取組開始3年後に向けた指標> ① 50%(2台/4台) ②平均燃費:14km/ℓ
社会	地域貢献のため、地域の道路・河川の清掃活動を推進する。 <(現状値)2022年の数値> ①道路清掃活動:12回/年 のべ60人参加 ②河川清掃活動:2回/年 のべ10人参加	<2030年に向けた指標> ①24回/年のべ120人参加 ②6回/年のべ30人参加 <取組開始3年後に向けた指標> ①18回/年のべ90人参加 ②4回/年のべ20人参加
経済	ワークライフバランス実現のため、残業時間の削減及び有給休暇平均取得日数の増加を目指す。 <(現状値)2022年の数値> ①時間外労働平均時間:30時間/月 ②有給休暇平均取得日数:10日/年	<2030年に向けた指標> ①10時間/月 ②20日/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①20時間/月 ②15日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 19日
住 所 富士見市下南畑957
県内企業等の名称 株式会社 シオダ建工
代表者役職 氏名 代表取締役 塩田正広

株式会社 シオダ建工 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は「信用される技術屋集団として地域社会の発展に貢献する」を基本理念として行動しています。この考え方はSDGsと同じ方向を示すものであり、社員一人ひとりが誠実に事業活動に取り組むことによりSDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の一環として建築産業廃棄物を細分別し資源として再利用できるように努める。 <(現状値)2022年の数値> リサイクル率:0%(0t/80t)	<2030年に向けた指標> 10%(8t/80t) <取組開始3年後に向けた指標> 5%(4t/80t)
社会	社会貢献活動の推進として、フードドライブや子ども食堂の支援を行っていく。 <(現状値)2022年の数値> ①フードドライブ:0kg/年 ②子ども食堂への支援金:0円/年	<2030年に向けた指標> ①30kg/年 ②12万円/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①10kg/年 ②6万円/年
経済	多様な人材が活躍する社会実現のため、女性や高齢者の雇用を促進する。 <(現状値)2022年の数値> ①高齢者(60歳以上)雇用人数:0人(0人/10人) ②女性の雇用人数:0人(0人/10人)	<2030年に向けた指標> ①2人/11人 ②2人/11人 <取組開始3年後に向けた指標> ①1人/10人 ②1人/10人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月18日
住 所 埼玉県北本市古市場2-266
県内企業等の名称 株式会社 矢口造園
代表者役職 氏名 代表取締役 矢口 光太郎

株式会社 矢口造園 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

弊社は経営理念である「四季折々の自然を大切に、地球環境と人との和合を根底に携え、人々の周りに安らぎと癒しの場を提供する」により、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、コピー用紙の使用枚数を削減する。 <(現状値)2022年の数値> 使用量(コピー用紙):120,000枚/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 10%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 5%削減
社会	社会貢献活動の推進として「子どもの権利相談」の開催を実施する。 <(現状値)2022年の数値> 0回/年	<2030年に向けた指標> 6回/年 <取組開始3年後に向けた指標> 3回/年
経済	地域で栽培された野菜および加工された食品の販売促進を支援する。 <(現状値)2022年の数値> 地域食品の販売促進:0社	<2030年に向けた指標> 5社 <取組開始3年後に向けた指標> 3社

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 20日
住 所 埼玉県鴻巣市袋1081-6
県内企業等の名称 有限会社 滝沢化成
代表者役職氏名 代表取締役 黒澤伸介

有限会社 滝沢化成

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社はプラスチック成形の中でも、特に光学素子精密成形に特化し、45年以上培った技術により、お客様が求める光エネルギーの効率化・省力化する製品開発などを通じて、お客様と共にSDGsの達成に貢献していきます。
当社の「お客様のニーズの半歩先を行く企業を目指す」という経営理念における「お客様のニーズ」とは、概して持続可能な開発目標(SDGs)であると考えており、社員一同がこの認識をもち、当社内のあらゆる事業活動に取り組むことでSDGsの達成を目指していけるものと考えております。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	これまでの旧空調設備を高効率空調設備に交換し、エネルギー使用量の削減を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①エネルギー使用量:302,000kwh/年 ②CO2排出量:134t-CO2	<2030年に向けた指標> ①164,000kwh/年 ②2022年比 50%削減 <取組開始3年後に向けた指標> ①250,000kwh/年 ②2022年比 30%削減
社会	多様な人材が活躍できる職場づくりとして、女性従業員の増加と定着を図る。 <(現状値)2022年の数値> 女性従業員数:6人/9人	<2030年に向けた指標> 10人/12人 <取組開始3年後に向けた指標> 8人/10人
経済	後世の良き技術者育成のため、新入職スタッフを外部の技術教育機関に派遣し、効率の良い技術承継と能力育成を図るとともに、有給休暇平均取得日数の向上を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①派遣人数:0人/年 ②有給休暇平均取得日数:5日/年	<2030年に向けた指標> ①延べ3人 ②10日/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①延べ1人 ②6日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5 年 5 月 18 日
住 所 越谷市大道478番地
県内企業等の名称 株式会社協和設備
代表者役職氏名 代表取締役 清水一郎

株式会社協和設備

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は社訓である「誠実・創造・信頼」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	エコアップ認証制度の取組項目を実行し、年間CO ₂ 排出量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> ①年間CO ₂ 排出量:60.8t-CO ₂ ②年間電気使用量:16,700kw	<2030年に向けた指標> 2022年度比 ①10%削減 ②10%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年度比 ①3%削減 ②3%削減
社会	従業員の健康増進・ワークライフバランスを目的とし、年次有給休暇の取得率アップを図る。 <(現状値)2022年の数値> 平均年次有給休暇取得日数:5日/年	<2030年に向けた指標> 平均年次有給休暇取得日数:10日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 平均年次有給休暇取得日数:7日/年
経済	県内高校生を対象にしたインターンシップ・職業体験を活用し、建設業の魅力の発信、県内企業への就職を促進により、地域経済の活性化を図る。 <(現状値)2022年の数値> インターンシップ受入れ人数:0人/年	<2030年に向けた指標> インターンシップ受入れ人数:10人/年 <取組開始3年後に向けた指標> インターンシップ受入れ人数:3人/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 23日
住 所 埼玉県秩父市大野原2227
県内企業等の名称 昭和工業株式会社
代表者役職氏名 代表取締役 栗原 創

昭和工業株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、当社の経営理念「法と報・連・相を順守し、顧客の信頼に応えよう」に基づき、地域社会へ貢献することを目指しています。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	会社敷地の緑化率を上昇し、地球環境の保全に貢献する。 <(現状値)2022年の数値> 敷地に対する緑化率:1% (0.0063ha/0.6236ha)	<2030年に向けた指標> 敷地に対する緑化率:25% <取組開始3年後に向けた指標> 敷地に対する緑化率:5%
社会	社会貢献活動(ロードサポート)を実施し、地域社会の美化環境維持に貢献する。 <(現状値)2022年の数値> ロードサポート回数: 2回/年 のべ8人参加	<2030年に向けた指標> ロードサポート回数: 6回/年、のべ24人参加 <取組開始3年後に向けた指標> ロードサポート回数: 4回/年、のべ16人参加
経済	シニア層の再雇用を推進し、社会活動に貢献する。 <(現状値)2022年の数値> 高齢者(60歳以上)の雇用人数: 8人/50人	<2030年に向けた指標> 60歳以上の雇用人数: 14人 <取組開始3年後に向けた指標> 60歳以上の雇用人数: 10人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 16日
住 所 秩父市山田2706番地4
県内企業等の名称 有限会社今泉薬局
代表者役職 氏名 代表取締役 今泉 学之

有限会社今泉薬局 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は薬局として公衆衛生の向上及び増進に寄与するという観点から全ての薬品や取扱品目を通して良質なサービスを提供し、また、地域の活動を積極的に支援することにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO2排出量削減のために社用車に環境配慮型車両を導入する。 <(現状値)2022年の数値> 導入率: 25%(1台/4台)	<2030年に向けた指標> 導入率:100%(4台/4台) <取組開始3年後に向けた指標> 導入率:50%(2台/4台)
社会	社会参加型の社会貢献活動を支援し推進する。 <(現状値)2022年の数値> 街の美化活動等の実施支援: 1回/年 のべ100人参加	<2030年に向けた指標> 6回/年 のべ600人参加 <取組開始3年後に向けた指標> 3回/年 のべ300人参加
経済	ジェネリック医薬品の普及に努め医療費削減に貢献する。 <(現状値)2022年の数値> ジェネリック医薬品使用率:90%	<2030年に向けた指標> ジェネリック医薬品使用率:95% <取組開始3年後に向けた指標> ジェネリック医薬品使用率:92%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 24日
住 所 本庄市早稲田の杜5-4-1
県内企業等の名称 株式会社セイワ
代表者役職氏名 代表取締役 齊藤一英

株式会社セイワ

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「地域に根差した企業を目指し地域から信頼・信用・感謝されるとともに、継続するための技術力の向上を図り、継承するために日々努力をし仕事を通じ地域にも笑顔を提供します」を掲げている。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員一人ひとりが誠実に事業活動に取り込むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	エネルギー使用量を削減するとともに、太陽光発電による再生可能エネルギー生産を持続させる。また、ペーパーレス化も促進する。 <(現状値)2022年の数値> ①再生可能エネルギーの生産量:32,000KWh/年 ②コピー用紙の使用枚数:30,000枚/年	<2030年に向けた指標> ①35,000KWh/年 ②2022年比 30%削減 <取組開始3年後に向けた指標> ①33,000KWh/年 ②2022年比 10%削減
社会	社員参加の社会貢献活動を推進する。 <(現状値)2022年の数値> ①地元小中学校の環境整備活動への協力:2回/年 ②地域のスポーツチームへの協賛:5万円/年	<2030年に向けた指標> ①環境整備:4回/年 ②協賛:10万円/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①環境整備:3回/年 ②協賛:6万円/年
経済	働きがいのある人間らしい仕事の実践を目指す。 <(現状値)2022年の数値> 休日取得日数:80日 ※1日7時間、みなし残業45時間/月	<2030年に向けた指標> 休日取得日数:105日 <取組開始3年後に向けた指標> 休日取得日数:95日

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 25日
住 所 埼玉県川口市北原台3-1-34
県内企業等の名称 有限会社野中商会
代表者役職氏名 代表取締役 長坂 俊江

有限会社野中商会

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社はプラスチックリサイクル業及び運送事業に携わる企業として、循環型社会の実現に努めています。事業活動を通じて、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の一環として、輸送などで出る廃棄パレット等をリサイクル資源化することで廃棄物を削減する。 <(現状値)2022年の数値> リサイクル率:48% 1,700kg/3,500kg	<2030年に向けた指標> 85% 3,000kg/3,500kg <取組開始3年後に向けた指標> 57% 2,000kg/3,500kg
社会	ワークライフバランスを意識した働き方の推進として、年次有給休暇を取得しやすい環境を整備する。 <(現状値)2022年の数値> 有給休暇平均取得日数:5日/年	<2030年に向けた指標> 15日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 10日/年
経済	就労支援施設への仕事の発注を増やし、地域への社会貢献を図る。 <(現状値)2022年の数値> 就労支援施設への仕事の発注: 22,000kg/月	<2030年に向けた指標> 30,000kg/月 <取組開始3年後に向けた指標> 25,000kg/月

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 25日
住 所 ふじみ野市ふじみ野1-1-39
県内企業等の名称 株式会社ライフバディ
代表者役職 氏名 代表取締役 橋本 悟

株式会社ライフバディ はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社の経営理念【地域をはじめとする社会への貢献】に基づき環境に配慮し、社員一同誠実に地域社会への事業活動に取り組みむことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、DX化などにより社内のペーパーレス化を推進し、コピー用紙の使用量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> コピー用紙使用量:200,000枚/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 30%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 20%削減
社会	社会貢献活動として富士見特別支援学校への寄付・ふじみ野市の子ども食堂への寄付活動を行う。 <(現状値)2022年の数値> ①富士見特別支援学校寄付額:30万円/年 ②子ども食堂寄付:0円/年	<2030年に向けた指標> ①50万円/年 ②15万円/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①40万円/年 ②10万円/年
経済	多様な働き方推進の一環として、積極的に女性管理職と高齢者の雇用の増加を図り、誰もが活躍できる職場づくりを行う。 <(現状値)2022年の数値> ①女性管理職数:0名/2名 ②高齢者(65歳以上)従業員数:0名/19名	<2030年に向けた指標> ①3名/6名 ②2名/30名 <取組開始3年後に向けた指標> ①2名/4名 ②1名/20名

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月25日
住 所 ふじみ野市亀久保1609-7
県内企業等の名称 株式会社太伽
代表者役職氏名 代表取締役社長 大木孝修

株式会社太伽

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

弊社は経営理念である「治具を通してお客様、社会の発展に貢献するとともに、全従業員の物心両面の豊かさを追求する」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境負荷軽減のため、主要樹脂材料等の産業廃棄物量の削減に取り組む。 <(現状値)2022年の数値> 産業廃棄物排出量:23.5m ³ /年	<2030年に向けた指標> 2022年比 35%減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 10%減
社会	多様な人材が活躍できる職場とするため、女性役職者を積極的に登用する。 <(現状値)2022年の数値> 女性役職者数:2名/37名	<2030年に向けた指標> 女性役職者数:6名 <取組開始3年後に向けた指標> 女性役職者数:3名
経済	ワークライフバランスの向上を図るため時間外労働の削減に取り組む。 <(現状値)2022年の数値> 1人あたり平均残業時間:20時間/月	<2030年に向けた指標> 1人あたり平均残業時間:16時間/月 <取組開始3年後に向けた指標> 1人あたり平均残業時間:18時間/月

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年5月25日
住 所 北本市宮内5丁目351番地
県内企業等の名称 丸和工業株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役 矢部 利人

丸和工業株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、経営方針の中にある「顧客に満足を提供し社会に貢献するとともに社員の幸福を実現する」と定めたことに基づき2030年までに持続可能な開発目標(SDGs)を目指し社員一丸をなって取り組めます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境負荷軽減のため、エネルギー使用量及び自動車燃料使用量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> ①エネルギーの使用量:72,894kwh/年 ②自動車燃料使用量:33,209L/年	<2030年に向けた指標> ①5.9%削減 ②5.9%削減 <取組開始3年後に向けた指標> ①3.0%削減 ②3.0%削減
社会	彩の国ロードサポート及び川の国応援団に参加し、地域の美化に取り組む。 <(現状値)2022年の数値> 美化活動実施回数:2回/年(のべ10人参加)	<2030年に向けた指標> 4回/年 のべ20人 <取組開始3年後に向けた指標> 3回/年 のべ15人
経済	多様な人材が活躍できる職場づくりのため、高齢者(60歳以上)を積極的に雇用する。 <(現状値)2022年の数値> 高齢者雇用比率:14%(9人/64人)	<2030年に向けた指標> 高齢者雇用比率:20% <取組開始3年後に向けた指標> 高齢者雇用比率:16%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 26日
住 所 越谷市袋山648-5
県内企業等の名称 最上電器有限会社
代表者役職 氏名 代表取締役 小嶋幸一

最上電器有限会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「モノ作りにかかわる方々と製品に真摯に向き合い、共に歩んでいく企業を目指して」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考えは持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員一人一人が誠実に事業活動に取り組むことによりSDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、DX等によりコピー用紙の使用を枚数を削減する。 <(現状値)2022年の数値> 年間使用量:12,000枚	<2030年に向けた指標> 年間使用量:8,000枚 <取組開始3年後に向けた指標> 年間使用量:10,000枚
社会	社会貢献活動の一環として、事業所周辺の環境美化活動を実施する。 <(現状値)2022年の数値> 街の美化活動:12回/年 延べ36人参加	<2030年に向けた指標> 街の美化活動:35回/年 延べ70人参加 <取組開始3年後に向けた指標> 街の美化活動:20回/年 延べ50人参加
経済	働き方改革の推進・ワークライフバランスの更なる充実に向けて有給休暇取得を促進する。 <(現状値)2022年の数値> 有給休暇平均取得率:5日/年	<2030年に向けた指標> 10日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 7日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月26日
住 所 東松山市大字大谷3068-70
県内企業等の名称 株式会社環境テクノ
代表者役職 氏名 代表取締役 星野 宗義

株式会社環境テクノ はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、「社会における環境保全の一翼を担う」を基本理念に掲げ、経営革新と技術研鑽により企業価値の向上に努めていくことで、持続可能な社会の構築に向けた活動に積極的に取り組む。また、理念を実践し環境保全に努め、事業活動を通してお客様や地域の環境負荷低減、環境保全活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	省エネルギー設備導入、省エネ活動の実施、エコドライブの徹底により、CO2排出量を削減する。 <(現状値)2021年の数値> 118t-CO2/年	<2030年に向けた指標> 2021年比 10%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2021年比 5%削減
社会	社会貢献活動として、事業所周辺の環境美化活動を行う。 <(現状値)2021年の数値> 事業所周辺美化活動回数:0回/年(のべ0人)	<2030年に向けた指標> 4回/年(のべ20人) <取組開始3年後に向けた指標> 2回/年(のべ8人)
経済	従業員の働き方向上として、従業員が子育てしながら就業継続しやすい雇用環境を整える。 <(現状値)2021年の数値> 育児休暇取得率:男性0%、女性:100% (1人/1人)	<2030年に向けた指標> 育児休暇取得率:男性50%、女性:100% <取組開始3年後に向けた指標> 育児休暇取得率:男性25%、女性:100%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 26日

住 所 川越市芳野台2-8-61

県内企業等の名称 三光産業株式会社 川越工場

代表者役職氏名 工場長 渡邊 美将

三光産業株式会社 川越工場

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

三光産業は、「高い技術力、品質力で社会に貢献する」を企業理念に掲げ、さらに「顧客企業における最高のサプライヤーになる基盤を整備する」という方針の元、すべてのステークホルダーとともにESG課題を解決し、持続可能(=サステナブル)な社会実現に貢献します。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO2削減のため、社用車のガソリン使用量、電力使用量、廃プラスチックの削減に取り組む。 <(現状値)2022年の数値> ①社用車のガソリン使用量:32,751ℓ/年 ②電力使用量:1,654,386kwh/年 ③廃プラスチック:172t/年	<2030年に向けた指標> ①5%削減、②5%削減、③3%削減 <取組開始3年後に向けた指標> ①3%削減、②3%削減、③1%削減
社会	住みやすいまちづくりに貢献するために、自主的なクリーン活動や外部ボランティア活動に参加する。寄付型自販機の増設に取り組む。 <(現状値)2022年の数値> ①32回/年(のべ317人参加) ②寄付型自販機設置台数:3台	<2030年に向けた指標> ①40回/年(のべ2,900人参加) ②5台 <取組開始3年後に向けた指標> ①35回/年(のべ1,000人参加) ②4台
経済	働きやすい職場環境を構築し、有給休暇取得率を上げ、社員のライフワークバランスの向上を目指す。 <(現状値)2022年の数値> 有給付与日数に対する取得率50%以上の割合:全社員の74%(社員数255人)	<2030年に向けた指標> 全社員の90% <取組開始3年後に向けた指標> 全社員の80%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和5年5月26日
住 所 埼玉県新座市野火止7-4-3
県内企業等の名称 吉田資材株式会社
代表者役職氏名 代表取締役 吉田 明弘

吉田資材株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「労働時間・安全衛生・メンタルヘルス」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境負荷軽減のため、エネルギー使用量の削減、再生可能エネルギーの利用率の向上を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①エネルギー使用量:9,854kwh/年 ②再生可能エネルギー利用率:0%	<2030年に向けた指標> ①2022年比 10%減 ②30% <取組開始3年後に向けた指標> ①2022年比 8%減 ②10%
社会	街の美化活動への参加、高齢者施設等を訪問して利用者とともに草むしりをする事等の活動により社会貢献を行う。 <(現状地)2022年の数値> ①美化活動:3回/年 のべ20人参加 ②高齢者施設の訪問:4回/年 のべ45人参加	<2030年に向けた指標> ①12回/年 のべ100人 ②12回/年 のべ100人参加 <取組開始3年後に向けた指標> ①6回/年 のべ50人 ②8回/年 のべ80人参加
経済	多様な人材が活躍できる職場とするため、女性及び高齢者(60歳以上)の雇用人数を増加させる。 <(現状地)2022年の数値> ①女性の雇用人数:2人/4人 ②高齢者の雇用人数:0人/4人	<2030年に向けた指標> ①6人 ②6人 <取組開始3年後に向けた指標> ①3人 ②2人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 29日
住 所 草加市原町3-6-9
県内企業等の名称 株式会社S・T・R
代表者役職氏名 代表取締役社長 樋口 朋幸

株式会社S・T・R

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は事業理念である「運送業務を行う会社として、迅速な対応・正確な配送・更なる顧客満足度を提供できる会社となる」に基づき行動しており、物流の観点から地域社会の発展に貢献している。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員一人一人が誠実に事業活動を取り組む事によりSDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、ペーパーレス化を推進しコピー用紙の削減に取り組む。また、車両を環境配慮車両に入れ替える。 <(現状値)2022年の数値> ①コピー用紙使用量:25,000枚/年 ②環境配慮型車両:33%(5台/15台) ③平均燃費:3km/L	<2030年に向けた指標> ①2022年比 15%削減 ②75%(15台/20台) ③5km/L <取組開始3年後に向けた指標> ①2022年比 5%削減 ②47%(8台/17台) ③4km/L
社会	社会貢献活動の一環として、自社事務所及び車庫用地周辺における美化活動を実施する。 <(現状値)2022年の数値> 周辺美化活動実施:1回/年(延べ1人参加)	<2030年に向けた指標> 5回/年(延べ8人参加) <取組開始3年後に向けた指標> 2回/年(延べ3人参加)
経済	高齢者雇用を積極的に進め、多様な人材雇用を推進する。 <(現状値)2022年の数値> 高齢者(60歳以上)雇用者:0人/15人	<2030年に向けた指標> 5人 <取組開始3年後に向けた指標> 1人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 29日
住 所 吉川市保1-21-10泉ビル1F/2F
県内企業等の名称 一般社団法人カルミア
代表者役職氏名 代表理事 山田 絢介

一般社団法人カルミア はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当法人の経営理念である「障がいや難病があっても、自らが望む働き方を手にすることができる社会の実現」に向けて、地域社会と連携をしつつ、その発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、法人職員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの発展と達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、DX化などによりコピー用紙の使用枚数を削減する。また、LED化によりエネルギー使用量の低減に努める。 <(現状値)2022年の数値> ①コピー用紙の使用枚数:48,000枚/年 ②電気使用量:27,516kwh/年 ③LED化率:53%(7/13室)	<2030年に向けた指標> ①2022年比 30%削減 ②23,637kwh/年 ③92%(12/13室) <取組開始3年後に向けた指標> ①2022年比 15%削減 ②25,577kwh/年 ③69%(9/13室)
社会	地域社会への貢献のため、近隣歩道の清掃活動を実施する。 <(現状値)2022年の数値 清掃活動回数:0回/年(延べ0人)	<2030年に向けた指標> 12回/年(延べ120人) <取組開始3年後に向けた指標> 4回/年(延べ20人)
経済	地域経済活性化と障がい者の社会参加促進につなげるため、県内事業者との年間取引件数を増加させる。 <(現状値)2022年の数値> 県内事業者との取引数:4件/年	<2030年に向けた指標> 8件/年 <取組開始3年後に向けた指標> 6件/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 29日
住 所 さいたま市見沼区南中丸938-2
県内企業等の名称 アズサ防災システム株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役 氏名 杉本 尊志

アズサ防災システム株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

まだまだ中小企業には厳しい経済環境の中、各工業団地、各団体との地域の交流・貢献を一層深めていくとともに、BCP等にも取り組み、持続可能な事業活動・地域社会づくりの達成を目指すことで、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、コピー用紙の再生紙利用とペーパーレス化を徹底する。 <(現状値)2022年の数値> ①再生紙利用割合:20% ②コピー用紙使用枚数:6000枚/年	<2030年に向けた指標> ①100% ②500枚 <取組開始3年後に向けた指標> ①80% ②800枚
社会	地域の美化活動を実施するとともに、社員の参加を促す。 <(現状値)2022年の数値> 地域の美化活動実施:2回/年のべ5人参加 (岩槻工業団地事業協同組合行事参加)	<2030年に向けた指標> 4回/年 のべ10人参加 <取組開始3年後に向けた指標> 3回/年 のべ8人参加
経済	防災・消防訓練を積極的に開催し弊社の認知度を高めるとともに防災意識に関する啓蒙活動を実施する。 <(現状値)2022年の数値> ①参加企業数:5社 ②開催数:2回/年(延べ100人来訪)	<2030年に向けた指標> ①15社/年 ②4回/年(延べ200人来訪) <取組開始3年後に向けた指標> ①10社/年 ②3回/年(延べ150人来訪)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 30日
住 所 埼玉県戸田市笹目8-10-10
県内企業等の名称 株式会社世亜企画
代表者役職氏名 代表取締役 石原哲夏

株式会社世亜企画

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は埼玉県戸田市に密着し韓国との懸け橋になれるよう行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	エネルギー使用量を削減するとともに、再生可能エネルギーの利用率の向上を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①エネルギー使用量:403,550kw/年 ②再生可能エネルギー利用率:12%	<2030年に向けた指標> ①2022年比 30%削減 ②50% <取組開始3年後に向けた指標> ①2022年比 15%削減 ②30%
社会	男性の育児休暇取得率と女性役職者登用を積極的に推進する。 <(現状値)2022年の数値> ①育児休暇取得率:20%(1人/5人) ②女性役職者登用数:1人/9人	<2030年に向けた指標> ①40% ②5人 <取組開始3年後に向けた指標> ①30% ②3人
経済	地元経済の発展のため、地域業者との取引を増やしていく。 <(現状値)2022年の数値> 地域業者との取引数:2者(累計)	<2030年に向けた指標> 10者(累計) <取組開始3年後に向けた指標> 4者(累計)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5 年 5 月 30日
住 所 埼玉県川口市西新井宿117
県内企業等の名称 ウチダオート株式会社
代表者役職氏名 代表取締役 植松 良浩

ウチダオート株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

1972年の創業以来、地元埼玉県で自動車販売業を営んでまいりました。現在は、エンパイヤ自動車株式会社グループの一員として、「恒久不変 日々革新 安全で快適なカーライフの創造」を経営理念に持続可能な経営に取り組んでいます。これからも安心安全なまちづくりへの貢献を通じて、お客さまや地域から選ばれ愛される会社を目指してまいります。このような経営方針は国連が採択した「持続可能な開発目標(SDGs)」に通ずるものと考えます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	温室効果ガス削減に向け、エネルギー使用量を削減するとともに、再生可能エネルギーの利用率の向上を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①エネルギー使用量:118,866kwh/年 ②再生可能エネルギー利用率:0%	<2030年に向けた指標> ①2022年比 30%削減 ②30% <取組開始3年後に向けた指標> ①2022年比 10%削減 ②10%
社会	外国人材(外国人技能実習生、外国人留学生)を積極的に受け入れ地域活性化に貢献する。またベルマーク運動により社会貢献活動に参画する。 <(現状値)2022年の数値> ①外国人材受入数:0人/年 ②ベルマーク寄付点数:0点/年	<2030年に向けた指標> ①4人/年 ②2000点/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①2人/年 ②1500点/年
経済	環境に配慮した自動車の販売や整備を通じ地域経済の活性化に貢献する。 <(現状値)2022年の数値> ①車検整備台数:2,225台/年 ②環境配慮型車両販売台数:459台/年	<2030年に向けた指標> ①3,000台/年 ②800台/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①2,500台/年 ②600台/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 30日
住 所 新座市馬場3-4-29
県内企業等の名称 株式会社いなばNEXUS
代表者役職 氏名 代表取締役 平野 輝寿

株式会社いなばNEXUS はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「笑顔を作る『楽しい』の創造」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO ² 排出量削減のため、ハイブリッド車への移行を行う。 <(現状値)2022年の数値> ①環境配慮型車両導入率:18%(2台/11台) ②CO ² 排出量:30t/年	<2030年に向けた指標> ①66%(4台/6台) ②12t/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①38%(3台/8台) ②19.5t/年
社会	子供の車内放置を削減する啓発活動と、子供たちへの防災意識の啓蒙活動を開催する。 <(現在値)2022年の数値> ①啓発活動実施:2回/年 のべ10人参加 ②啓蒙活動実施:2回/年 のべ10人参加	<2030年に向けた指標> ①5回/年(のべ60人参加) ②5回/年(のべ60人参加) <取組開始3年後に向けた指標> ①3回/年(のべ36人参加) ②3回/年(のべ36人参加)
経済	社員のQOLの向上と経済成長を両立させるため、有給休暇取得率100%を目指す。 <(現在値)2022年の数値> 有給休暇平均取得日数:5日/年	<2030年に向けた指標> 15日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 12日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月30日

住 所 埼玉県幸手市大字西関宿330番地6

県内企業等の名称 川村建設株式会社

代表者役職氏名 代表取締役 川村 昇

川村建設株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、経営理念「地球環境の意識向上を図り、『汚染予防・環境負荷低減・資源の再利用』を認識し、施工活動を通じて地域社会に貢献する。
この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが主体的に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	LED化を推進し、エネルギー使用量の削減を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①電力使用量:17,506kwh/年 ②LED化率:0%(0室/8室)	<2030年に向けた指標> ①2022年比 40%削減 ②100%(8室/8室) <取組開始3年後に向けた指標> ①2022年比 20%削減 ②50%(4室/8室)
社会	社会貢献活動(ロードサポート)を継続実施し、地域の環境美化に貢献する。 <(現状値)2022年の数値> ロードサポート実施回数:3回/年(のべ20人参加)	<2030年に向けた指標> 4回/年(のべ35人参加) <取組開始3年後に向けた指標> 3回/年(のべ28人参加)
経済	多様な人材が活躍できる会社づくりの一環として、高齢者(60歳以上)の雇用を促進する。 <(現状値)2022年の数値> 高齢者従業員数:3人/26人	<2030年に向けた指標> 6人/26人 <取組開始3年後に向けた指標> 4人/26人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5 年 5 月 30 日
住 所 熊谷市広瀬416-1
県内企業等の名称 ソーセツエンジニアリング株式会社
代表者役職氏名 代表取締役 熊井戸 啓二

ソーセツエンジニアリング株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、「約束を守る」「お客様の身になって考える」「助けあう」をモットーに行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の為、コピー用紙の使用枚数削減、エネルギー使用量の削減を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①コピー用紙使用枚数:248,500枚/年 ②エネルギー使用量:111,300kwh/年	<2030年に向けた指標> ①2022年比 10%削減 ②2022年比 20%削減 <取組開始3年後に向けた指標> ①2022年比 5%削減 ②2022年比 10%削減
社会	社員参加型社会貢献活動を推進する。 <(現状値)2022年の数値> 彩の国ロードサポート実施回数 :2回/年 延べ10人参加	<2030年に向けた指標> 4回/年 延べ20人参加 <取組開始3年後に向けた指標> 3回/年 延べ15人参加
経済	多様な人材が活躍できる環境づくりとして、65歳以上の高齢者雇用を促進する。 <(現状値)2022年の数値> 高齢者雇用者数:6人/54人	<2030年に向けた指標> 8人 <取組開始3年後に向けた指標> 7人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 30日
住 所 埼玉県狭山市柏原新田99-3
県内企業等の名称 株式会社グリーンコーナー
代表者役職 氏名 代表取締役 島田 弥奈

株式会社グリーンコーナー はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

弊社は経営理念である「日本の未来が求める今を」に基づき、企業として日本の未来・将来のあるべき姿のために今何をすべきかを追求し、実践することで地域社会の発展や改善に貢献いたします。持続可能な開発目標(SDGs)の目に見える提唱を行い、この事業活動に具体的に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	産業廃棄物の発生量とコピー用紙の使用枚数を削減する。 <(現状値)2022年の数値> ①産業廃棄物発生量:8,897kg/年 ②コピー用紙使用枚数:9,890枚/年	<2030年に向けた指標> ①2022年比 30%削減 ②2022年比 30%削減 <取組開始3年後に向けた指標> ①2022年比 10%削減 ②2022年比 10%削減
社会	高齢者(65歳以上)と障がい者の雇用を促進する。 <(現状値)2022年の数値> ①高齢者雇用率:15%(1人/7人) ②障がい者雇用率:0%(0人/7人)	<2030年に向けた指標> ①30%(4人/12人) ②16%(2人/12人) <取組開始3年後に向けた指標> ①20%(2人/10人) ②10%(1人/10人)
経済	女性と男性が分け隔てなく活躍できる職場づくりを実践する。 <(現状値)2022年の数値> ①女性の管理職割合:25%(1人/4人) ②男性社員の育児休暇取得率:0%	<2030年に向けた指標> ①60%(3人/5人) ②28%(2人/7人) <取組開始3年後に向けた指標> ①50%(2人/4人) ②16%(1人/6人)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 30日
住 所 草加市柿木町1734-1
県内企業等の名称 株式会社緑酔園
代表者役職氏名 代表取締役 吉田卓馬

株式会社緑酔園

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

SDGsの浸透により、顧客も環境に配慮した商品の購入や暮らし方を意識するようになったのではないかと私たちは考えます。緑酔園としても、現在の造園業では緑地管理を通して「目標11 住み続けられるまちづくりを」に取り組みが出来ていますが、現状の課題として剪定・伐採した木の幹や枝葉を処分しているということがあります。この課題に取り組むことで、新たな顧客ニーズを掴むことが出来ると考えています。今後は更なるSDGs市場拡大を見据え、造園屋だからこそ出来る造園業に留まらないサービスを展開していくことでSDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	事業活動(工事業)における廃材廃棄率を削減するとともに、事業所における緑化率の向上を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①廃材廃棄量:5トン ②事業所緑化率:10%(55.3㎡/553㎡)	<2030年に向けた指標> ①2022年比 30%削減 ②30% <取組開始3年後に向けた指標> ①2022年比 20%削減 ②20%
社会	女性の管理職登用や高齢者雇用を積極的に進め、多様な人材雇用を推進する。 <(現状値)2022年の数値> ①女性の管理職割合:0%(0人/3人) ②高齢者(65歳以上)の雇用比率:0%(0人/3人)	<2030年に向けた指標> ①60%(2人/3人) ②40%(2人/5人) <取組開始3年後に向けた指標> ①30%(1人/3人) ②20%(1人/5人)
経済	地域の事業者との取引を拡大し、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る <(現状値)2022年の数値> ①埼玉県内事業者との取引件数:6社(累計) ②社会問題の解決に資する新製品の開発:1件(累計)	<2030年に向けた指標> ①20社(累計) ②20件(累計) <取組開始3年後に向けた指標> ①12社(累計) ②5件(累計)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 29日
住 所 越谷市増森2-160-1
県内企業等の名称 有限会社BRE関東
代表者役職氏名 代表取締役 長良 辰雄

有限会社BRE関東

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社の主要製品である地球にやさしいリビルトエンジンは、会社理念の「環境を守る、エンジンの再生・再利用」に基づき、作業工程においても環境保護に気を配り、自社にて独自の排水処理装置を開発し、エンジン洗浄などが出る工業排水を外部に流さず、循環型社会の発展に貢献し続けます。また、各種方針(個人・セキュリティ情報、品質)で掲げる内容は、人権や地域社会、持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組む事により、SDGsの達成に貢献してまいります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	エネルギー使用量とコピー用紙使用量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> ①エネルギー使用量:401,642kw/年 ②コピー用紙使用量:300,000枚/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 ①20%削減 ②20%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 ①5%削減 ②5%削減
社会	従業員のQOL向上として、年次休暇の取得促進と超過労働時間の削減を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①年次休暇平均所得日数:10日/年 ②平均超過労働時間数:17.2時間/月	<2030年に向けた指標> ①15日/年 ②10時間/月 <取組開始3年後に向けた指標> ①13日/年 ②15時間/月
経済	女性やシニア(60歳以上)の働きがいや住み続ける場所作りに貢献するよう、地元で雇用募集・採用を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①女性従業員数:3名/60名 ②シニア従業員数:4名/60名	<2030年に向けた指標> ①6名 ②10名 <取組開始3年後に向けた指標> ①5名 ②7名

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 6日
住 所 吉川市三輪野江1375
県内企業等の名称 株式会社豊田
代表者役職氏名 代表取締役 豊田宇助

株式会社豊田

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は皆様のお役に立つ掛かりつけの「住まいのホームドクター」として、感謝の心でより良いサービスを実践するをモットーに、常にお客様の立場になり、思いやり、気配りを忘れず、満足いただけるきめ細やかなサービスを実施し、常に必要とされる地域No.1企業を目指し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	工事事業において、産業廃棄物の分別処分を増加させる。 CO2削減に向けた省エネ型機器の提案をし設置率を増加させる。 <(現状値)2022年の数値> ①分別処分割合:20%(120/600m3) ②設置率:20%(400/2,000件)	<2030年に向けた指標> ①50% ②60% <取組開始3年後に向けた指標> ①30% ②40%
社会	女性社員の採用を積極的に進め、多様な働き方を推進する。また、地域活性化の為に学生向けの職場体験インターンシップを執り行う。 <(現状値)2022年の数値> ①女性社員比率:14%(4人/30人) ②インターン受入人数:0人/年	<2030年に向けた指標> ①16人 ②4人/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①8人 ②2人/年
経済	ペーパーレス化を推進して用紙等の削減を図る。同時にデジタル化による業務効率化を向上させる。 <(現状値)2022年の数値> ①紙使用枚数:100,000枚/年 ②平均所定外労働時間数:30時間/月	<2030年に向けた指標> ①2022年比 50%削減 ②15時間/月 <取組開始3年後に向けた指標> ①2022年比 20%削減 ②25時間/月

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月31日
住 所 入間郡毛呂山町大字毛呂本郷154
県内企業等の名称 株式会社 上 村 建 業
代表者役職 氏名 代表取締役 上村重之

株式会社 上 村 建 業

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

毛呂山町に昭和27年4月に創業して以来、常に新しい快適を創造し歴史を刻みながら着実に成長し「総合建設業」として数多くの公共・民間工事に従事してまいりました。技術と施工経験を活かしながら持続可能な地域社会づくりに努め、SDGsの発展に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	社用車を環境配慮型車両に入れ替え、CO2排出量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> ①環境配慮型車両導入率:0%(0台/9台) ②平均燃費:8.3km/L	<2030年に向けた指標> ①30%(3台/9台) ②10.0km/L <取組開始3年後に向けた指標> ①20%(2台/9台) ②9.1km/L
社会	清掃活動などの地域社会貢献活動を推進する。 <(現状値)2022年の数値> ①ロードサポート実施回数:2回/年(のべ6人参加) ②川の国応援団実施回数:1回/年(のべ3人参加)	<2030年に向けた指標> ①2回/年(のべ10人参加) ②1回/年(のべ5人参加) <取組開始3年後に向けた指標> ①2回/年(のべ8人参加) ②1回/年(のべ4人参加)
経済	多様な人材の活躍を推進するため、高齢者(60歳以上)の雇用を促進する。 <(現状値)2022年の数値> 高齢者従業員数:1人/5人	<2030年に向けた指標> 3人 <取組開始3年後に向けた指標> 2人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 31日
住 所 さいたま市見沼区卸町1-43
県内企業等の名称 埼玉薬品株式会社
代表者役職氏名 代表取締役 福本 光靖

埼玉薬品株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

私たち埼玉薬品は、経営理念である「一人一人専門能力を高め社会の発展に貢献する」に基づき経営基盤の強化と環境負荷低減を着実に取り組んでおります。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向性を目指すものであり、社員一人一人が誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGs達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	IT化・リモート化推進及び環境負荷低減のためにコピー用紙購入の削減を実現する。 <(現状値)2022年の数値> 年間購入枚数:125,000枚	<2030年に向けた指標> 2022年度比 50%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年度比 20%削減
社会	社員の専門能力向上のために社内制度の拡充を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①資格補助制度数:3分野 ②外部セミナー参加率:15%(4人/27人) ※セミナー参加費は会社で負担	<2030年に向けた指標> ①5分野 ②100% <取組開始3年後に向けた指標> ①4分野 ②30%
経済	社員のQOL向上のため、働き方改革を実施する。 <(現状値)2022年の数値> ①平均有給取得日:5日/年 ②平均所定外労働時間:20時間/月	<2030年に向けた指標> ①10日/年 ②2022年比 30%削減 <取組開始3年後に向けた指標> ①7日/年 ②2022年比 10%削減

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月31日
住 所 埼玉県桶川市南一丁目2番6号
県内企業等の名称 青木清掃株式会社
代表者役職氏名 代表取締役青木勝美

青木清掃株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「きれいな地球環境を次世代に引き継ぐこと」に基づき、一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬業務を通して、地域社会と共生し、継続的に地球環境の保全に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	事務所内でのコピー用紙の使用を削減し、電子保存を増やす。 <(現状値)2022年の数値> コピー用紙使用量:600,000枚/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 10%削減 (540,000枚/年) <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 5%削減 (570,000枚/年)
社会	環境保全を目的としたイベント「ほたるのタベ」を開催し、社員参加型を促す。また、ごみ拾いボランティア活動を実施する。 <(現状値)2022年の数値> ①ほたるのタベ参加人数:のべ20人参加 ②ボランティア活動の実施:年0回(0名)	<2030年に向けた指標> ①のべ40名参加 ②年1回 30名参加 <取組開始3年後に向けた指標> ①のべ30名参加 ②年1回 20名参加
経済	高齢者雇用(65歳以上)を積極的に進め、人材の活躍を支援する。 <(現状値)2022年の数値> 高齢者雇用率(65歳以上):7.08%(8名/113名)	<2030年に向けた指標> 10%(12名/113名) <取組開始3年後に向けた指標> 8%(10名/113名)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 31日
住 所 比企郡小川町大字青山375-5
県内企業等の名称 株式会社ヤマグチ工務店
代表者役職 氏名 代表取締役 山口 徹朗

株式会社ヤマグチ工務店

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「桃李成蹊」に基づき行動し、より良い地域づくりで日常生活を守り、安心・安全をクリエイトすることで地域社会に貢献する。この考え方は、持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員一人ひとりが信頼・誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境への配慮のため、LED照明への変更やペーパーレス化を推進する。 <(現状値)2022年の数値> ①LED照明の割合:15%(3本/20本) ②電気使用量:14,043kwh/年 ③コピー用紙使用枚数:60,300枚	<2030年に向けた指標> ①80% ②13,340kwh/年 ③2022年比 10%削減 <取組開始3年後に向けた指標> ①30% ②13,600kwh/年 ③2022年比 5%削減
社会	彩の国ロードサポート活動を継続実施し、地域の環境美化に貢献する。また、インターシップの学生を対象とした就業体験の受入れを実施する。 <(現状値)2022年の数値> ①ロードサポート実施:4回/年 のべ16人 ②就業体験受入:中学生・高校生 0名	<2030年に向けた指標> ①6回/年 のべ30人 ②中学生・高校生 のべ6人/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①5回/年 のべ20人 ②中学生・高校生 のべ3人/年
経済	ワークライフバランス向上のため、有給休暇取得の推進に取り組む。 <(現状値)2022年の数値> 有給休暇取得平均日数:5日/年	<2030年に向けた指標> 14日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 10日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 31日
住 所 埼玉県本庄市児玉町金屋1220
県内企業等の名称 内藤建設工業株式会社
代表者役職氏名 代表取締役 内藤 稔

内藤建設工業株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は基本理念である「安全は、すべてに最優先する」に基づき行動し、土木構造物の施工という事業活動を通して、お客様の信頼、環境汚染の予防、及び負傷・疾病の予防並びに健康的で働き易い労働条件の提供に取り組む。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO2排出量削減のためコピー用紙やエネルギー使用量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> ①コピー用紙使用量:47,000枚/年 ②エネルギー使用量:28.739kwh/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 ①15%削減 ②5%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 ①5%削減 ②3%削減
社会	社員参加の社会貢献活動を推進する。 <(現状値)2022年の数値> ①道路の美化活動:4回/年 のべ20人参加 ②河川の美化活動:1回/年 のべ5人参加	<2030年に向けた指標> ①4回/年のべ50人参加 ②1回/年のべ15人参加 <取組開始3年後に向けた指標> ①4回/年のべ30人参加 ②1回/年のべ10人参加
経済	多様な働き方を推進するため、有給休暇取得日数を増加させる。 <(現状値)2022年の数値> 平均有給休暇取得日数:8日/年	<2030年に向けた指標> 16日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 11日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 1日
住 所 加須市東栄2-8-17
県内企業等の名称 株式会社 久保田建設
代表者役職氏名 代表取締役 久保田宏宗

株式会社久保田建設

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「お客様と当社 お互いが幸せになる建物づくり」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献します。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	照明をLEDに順次入れ替えるなどにより、電気使用量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> ①電気使用量 23,260kw/年 ②LED化率0%(0部屋/5部屋)	<2030年に向けた指標> 2022年比 ①20%削減 ②80%(4部屋/5部屋) <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 ①10%削減 ②40%(2部屋/5部屋)
社会	社員参加型の社会貢献活動を推進する。 <(現状値)2022年の数値> 地域の美化活動 4回/年・のべ16人参加	<2030年に向けた指標> 6回/年・のべ20人 <取組開始3年後に向けた指標> 5回/年・のべ18人
経済	地域経済活性化に貢献するため、地域事業者との取引を増やす。 <(現状値)2022年の数値> 地域事業者取引先数:18者	<2030年に向けた指標> 2022年比 5者増 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 3者増

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 1日

住 所 埼玉県川口市本町3丁目2-12

県内企業等の名称 株式会社Step y's 川口コンタクトセンター

代表者役職 氏名 支店長 丸山 祐介

株式会社Step y's 川口コンタクトセンター はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「スタッフ全員が今日よりも明日、明日よりも1ヶ月後、1年後、着実に一歩ずつ(step wise)成長し続け、社会貢献すること」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境配慮への観点から、コピー用紙の使用量、電気使用量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> ①コピー用紙使用量:16,497枚/年 ②電気使用量:12,298kwh/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 ①40%削減 ②8%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 ①30%削減 ②4%削減
社会	地域の子供(中学生)向けに就業体験の受入を行う。社員参加型の地域美化活動を行う。 <(現状値)2022年の数値> ①体験授業:0回/年 のべ0人受入れ ②美化活動:0回/年 のべ0人参加	<2030年に向けた指標> ①2回/年 のべ10人受入れ ②1回/年 のべ5人参加 <取組開始3年後に向けた指標> ①1回/年 のべ5人受入れ ②1回/年 のべ3人参加
経済	安心して働ける環境整備のため、アルバイト社員を正規雇用社員に変えていく。 <(現状値)2022年の数値> 正規雇用となったアルバイト社員率:4%(1人/25人)(正社員数3人)	<2030年に向けた指標> 20%(7人/35人)(正社員数15人) <取組開始3年後に向けた指標> 10%(3人/30人)(正社員数8人)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 1日

住 所 埼玉県さいたま市大宮区大成町1丁目212-3

県内企業等の名称 株式会社サトー 大宮支店

代表者役職 氏名 支店長 上村 武弘

株式会社サトー 大宮支店

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

本業を通じて「より豊かで持続可能な世界社会の発展に貢献すること」を使命としてきたサトーグループにとって、持続可能な社会への貢献は本業と不可分のものです。サステナビリティへの取り組みの一環として、SDGs(経済成長、社会、環境問題)の目的達成に向けて他社と連携して活動し取り組みます。大宮支店としても、会社の方針に沿って、支店単位で、また、社員一人一人が誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献いたします。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	ペーパーレス化を推進し、紙資源の削減を行う。 <(現状値)2022年の数値> コピー用紙使用枚数:85,000枚/年	<2030年に向けた指標> 10%削減 76,500枚/年 <取組開始3年後に向けた指標> 5%削減 80,750枚/年
社会	社員の年次有給休暇取得日数を増やすことで、社員の健康増進を行う。 <(現状値)2022年の数値> 年次平均有給取得日数:7.96日/年	<2030年に向けた指標> 12日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 10日/年
経済	県内企業との取引を増やし、地域貢献・地域活性化に繋げる。 <(現状値)2022年の数値> 県内取引先数:1,291社(累計)	<2030年に向けた指標> 1,420社(10%増) <取組開始3年後に向けた指標> 1,355社(5%増)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 1日
住 所 さいたま市見沼区蓮沼296-1
県内企業等の名称 株式会社R&A
代表者役職 氏名 代表取締役 影山篤史

株式会社R&A

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

株式会社R&Aは経営理念である「前進 常に前進し 時代の流れにいち早く対応し お客様・地域社会から信頼される企業を目指します。」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献します。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境配慮の観点から、再生可能エネルギーの利用率向上を促進する。 <(現状値)2022年の数値> ①電気使用量:2,657kwh/年 ②再生可能エネルギー利用率:0%	<2030年に向けた指標> ①2022年比 5%削減 ②5% <取組開始3年後に向けた指標> ①2022年比 3%削減 ②3%
社会	社員参加型の環境美化活動を推進することにより、地域社会に貢献する。 <(現状値)2022年の数値> 地域美化活動:0回/年・のべ0人	<2030年に向けた指標> 4回/年・のべ40人 <取組開始3年後に向けた指標> 2回/年・のべ20人
経済	ワークライフバランス向上のため有給休暇平均取得日数を増加させる。 <(現状値)2022年の数値> 有給休暇平均取得日数:7日/年	<2030年に向けた指標> 12日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 9日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 2日
住 所 さいたま市桜区中島2-21-13
県内企業等の名称 株式会社小島レッカー
代表者役職氏名 代表取締役 小島光博

株式会社小島レッカー はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「全てのお客様に安心と満足を提供いたします。」を行動規範とし、地道に事業活動に邁進し地域に貢献します。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員一人一人が誠実に取り組むことによってSDGs達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境負荷を低減するため、エアコンや家電類、電光掲示板の使用抑制によるエネルギー使用量を抑制やペーパーレス化の推進を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①エネルギー使用量:68,992kwh/年 ②コピー用紙使用量:30,000枚/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 ①8%削減 ②30%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 ①3%削減 ②10%削減
社会	ワークライフバランス向上のため年次有給休暇を取りやすい環境を推進する。 <(現状値)2022年の数値> 年次有給休暇平均取得日数:5日	<2030年に向けた指標> 10日 <取組開始3年後に向けた指標> 7日
経済	多様な人材が活躍できる社会づくりのため、高齢者雇用の拡大を図る。 <(現状値)2022年の数値> 高齢者(60歳以上)の雇用率 8%(2人/25人)	<2030年に向けた指標> 23%(7人/30人) <取組開始3年後に向けた指標> 16%(4人/25人)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 2日
住 所 加須市栄368番地1
県内企業等の名称 ウム・ヴェルト株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役 小柳明雄

ウム・ヴェルト株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、「もっとやさしい未来へ」を合言葉に循環型社会づくりを志す環境企業です。「捨てる」という概念を捨て、豊かな資源や自然を次世代に引き継ぐことをミッションとして密度の濃いリサイクルループ構築を目指していきます。また、地域に根ざした地域創生に取り組み、廃棄物リサイクル業に縛られない様々な事業や取り組みを行い、SDGsの達成に貢献してまいります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	焼却処理されている汚れたプラスチックを石炭の代替燃料となるフラフ燃料にすることで、CO ₂ 排出量の削減を行う。 <(現状値)2022年の数値> ①焼却処理の重量:914t/年 ②フラフ燃料の重量:8,445t/年	<2030年に向けた指標> ①0t/年 ②15,000t/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①600t/年 ②10,000t/年
社会	埼玉西武ライオンズ・レディースのオフィシャルスポンサーとして、選手が競技に集中できるよう、アスリート雇用を引き続き行う。 <(現状値)2022年の数値> アスリート雇用人数(合計):2人/154人	<2030年に向けた指標> 5人 <取組開始3年後に向けた指標> 3人
経済	多様な働き方実践企業として、男性の育児休業取得の推進及び年間休日の増加を行う。 <(現状値)2022年の数値> ①男性の育児休業取得率:66%(2人/3人) ②年間休日:105日	<2030年に向けた指標> ①100% ②120日 <取組開始3年後に向けた指標> ①75% ②115日

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 6日
住 所 さいたま市北区日進町3-477-1
県内企業等の名称 有限会社ニュークリーン
代表者役職氏名 取締役 金子 高司

有限会社ニュークリーン はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は公共施設等を利用する多くの人々に快適環境を提供することで、地域社会の発展を目指します。この取り組みは持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員が一丸となって事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境に配慮した資材を使用し、省資源化、環境への負担の低減を図ります。 <(現状値)2022年の数値> 環境配慮洗剤使用率:28% (220,297ml/786,775ml)	<2030年に向けた指標> 2022年比 15%向上 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 5%向上
社会	社会貢献となる寄付(自治会、赤い羽根、子ども食堂等)を継続的に行います。 <(現状値)2022年の数値> ①寄付額の算定割合:0% ※寄付額=前年度の純利益*① ②寄付回数:0回/年	<2030年に向けた指標> ①1% ②2回/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①0.5% ②1回/年
経済	高齢者や女性の雇用を積極的に行い、多様な人材登用を推進する。 <(現状値)2022年の数値> ①高齢者(65歳以上)の雇用比率:70%(133人/190人) ②女性雇用比率:39%(74人/190人)	<2030年に向けた指標> ①75% ②50% <取組開始3年後に向けた指標> ①73% ②44%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 2日
住 所 新座市野火止1-12-43
県内企業等の名称 株式会社アルファテック
代表者役職氏名 代表取締役 堀田 茂

株式会社アルファテック

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は誠実・努力・奉仕に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、ペーパーレス化を推進することで、コピー用紙使用量の削減に努める。 <(現状値)2022年の数値> コピー用紙使用量:36,000枚/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 30%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 15%削減
社会	地元のお祭りの後援をするなど、地域活動に貢献する取組を行う。 <(現状値)2022年の数値> 地元祭りへの後援:0回/年	<2030年に向けた指標> 3回/年 <取組開始3年後に向けた指標> 1回/年
経済	誰もが活躍できる職場づくりとして、高齢者雇用を積極的に進める。 <(現状値)2022年の数値> 高齢者(60才以上)雇用比率:10%(1人/10人)	<2030年に向けた指標> 30% <取組開始3年後に向けた指標> 20%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 2日
住 所 埼玉県草加市青柳2-14-28
県内企業等の名称 株式会社メタルコア
代表者役職氏名 代表取締役 小林誠一

株式会社メタルコア

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は「ひとりでも多くの装飾金物職人を世に送り続けることが使命」と考えており、持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	当事業所における緑化率の向上に取り組む。 <(現状値)2022年の数値> 事業所内の緑化率:0% (緑化面積0㎡/事業所面積997㎡)	<2030年に向けた指標> 6.6%(66㎡/997㎡) <取組開始3年後に向けた指標> 2.8%(28㎡/997㎡)
社会	赤い羽根募金等、公共性の高い団体へ寄付を行い、社会や地域への貢献活動を積極的に行う。 <(現状値)2022年の数値> ①寄付金額:0円/年 ②寄付回数:0回/年	<2030年に向けた指標> ①84,000円/年 ②2回/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①36,000円/年 ②1回/年
経済	従業員の年次休暇取得を促進し多様な働き方を後押し、ワークライフバランスを充実させる。 <(現状値)2022年の数値> 年次休暇平均取得日数:5日/年	<2030年に向けた指標> 10日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 7日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 3日
住 所 埼玉県熊谷市石原一丁目102番地
県内企業等の名称 株式会社ホンダニュー埼玉
代表者役職氏名 代表取締役 枘野 芳彦

株式会社ホンダニュー埼玉 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は基本方針である「くるま生活の豊かさを広げよう」、「くるま生活の豊かさを深め支えよう」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方はSDGsの目標と目指すものは同じであり、スタッフ1人1人が業務活動を通じて、SDGsを達成していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO ₂ 削減のため、エネルギー使用量の削減を実施する。 <(現状値)2022年の数値> ①エネルギー使用量:247,717kwh/年 ②LED化率:22.7%(LED照明39本/ショールーム照明器具172本)	<2030年に向けた指標> ①2022年比 8%削減 ②100% <取組開始3年後に向けた指標> ①2022年比 5%削減 ②50%
社会	街の美化活動など社会貢献活動を実施する。 <(現状値)2022年の数値> 街の美化活動実施回数:2回/年(のべ92人参加)	<2030年に向けた指標> 4回/年(のべ200人参加) <取組開始3年後に向けた指標> 3回/年(のべ150人参加)
経済	CO ₂ 排出量削減のため、環境配慮型車両の販売を促進する。 <(現状値)2022年の数値> EV車の販売比率:0.19%(2台/1,044台)	<2030年に向けた指標> 6% <取組開始3年後に向けた指標> 1.5%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 4日
住 所 埼玉県さいたま市浦和区常盤1-3-15
県内企業等の名称 有限会社 田沼クリーニング
代表者役職氏名 代表取締役社長 田沼 一

有限会社 田沼クリーニング

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「いつもお客様の身近に」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、ペーパーレス化を推進し、紙資源の削減に努める。 <(現状値)2022年の数値> コピー用紙使用枚数:10,000枚/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 50%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 20%削減
社会	社会貢献活動の一環として、地元開催の祭りを通じた寄付活動を行う。 <(現状値)2022年の数値> 寄付金額:20,000円/年	<2030年に向けた指標> 30,000円/年 <取組開始3年後に向けた指標> 25,000円/年
経済	女性雇用や高齢者雇用を積極的に進め、多様な人材の活躍を支援する。 <(現状値)2022年の数値> ①女性の雇用人数:2人/7人(28%) ②高齢者(65歳以上)の雇用人数:0人/7人(0%)	<2030年に向けた指標> ①4人/7人(57%) ②5人/7人(71%) <取組開始3年後に向けた指標> ①3人/7人(42%) ②1人/7人(14%)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 5 日

住 所 埼玉県さいたま市岩槻区太田2丁目16-11 3階

県内企業等の名称 Smart Alive株式会社

代表者役職 氏名 代表取締役 酒井成美

Smart Alive株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念の【事業を通して、新しい価値を創造し、「お客様の生活をより豊かにする」ことで社会に貢献する】に基づき、産業廃棄物を排出しない壁紙のリフォーム事業を行うことよりSDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	クロス(壁紙)施工をする際の廃棄物排出量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> 産業廃棄物排出量:2,400kg/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 70%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 50%削減
社会	女性や外国人の雇用を促進し、多様な人材が活躍できる社会を推進する。 <(現状値)2022年の数値> ①女性作業員率:20%(3名/15人) ②外国人作業員率:0%(0名/15人)	<2030年に向けた指標> ①50% ②20% <取組開始3年後に向けた指標> ①30% ②10%
経済	代理店制度を導入し、同様の施工方法を広く伝える活動をしていく。 <(現状値)2022年の数値> 代理店数:0社(合計)	<2030年に向けた指標> 1,000社 <取組開始3年後に向けた指標> 300社

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 1日
住 所 さいたま市中央区新中里2-16-9
県内企業等の名称 金本建設株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役 金本俸謙

金本建設株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「現在の我々の小さな一歩は、将来の大きな財産となることを確信して邁進します。」に基づき行動し、地域の社会、経済の発展に貢献する。社員1人1人が誠実に宣言内容の活動に取り組むことにより、持続可能な開発目標(SDGs)達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境負荷軽減のため、契約、申請書類や打合せ議事録などのペーパーレス化に取り組む。また、エネルギー使用量削減の為、事務所の蛍光灯のLED化を順次行う。 <(現状値)2022年の数値> ①コピー用紙:40,000枚/年 ②照明のLED化:0室/10室	<2030年に向けた指標> ①30%削減(28,000枚/年) ②3室 <取組開始3年後に向けた指標> ①15%削減(34,000枚/年) ②2室
社会	特別支援学校への継続的な支援を行う。 <(現状値)2022年の数値> 支援金:10,000円/年	<2030年に向けた指標> 50,000円/年 <取組開始3年後に向けた指標> 30,000円/年
経済	多様な人材が活躍できる職場づくりのため、60歳以上の雇用者数を増加させる。 <(現状値)2022年の数値> 高齢者の雇用者数(60歳以上):0人/12人	<2030年に向けた指標> 3人 <取組開始3年後に向けた指標> 1人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 1日
住 所 さいたま市北区日進町2丁目1864-10
県内企業等の名称 関東ソフトウェア株式会社
代表者役職氏名 代表取締役 浜口 浩一

関東ソフトウェア株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「顧客に信頼される会社」を目指す」という考えに基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、コピー用紙の使用量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> コピー用紙使用量: 30,500枚/年	<2030年に向けた指標> 2022年度比 10%削減(▲3,050枚/年) <取組開始3年後に向けた指標> 2022年度比 5%削減(▲1,525枚/年)
社会	近隣地域の清掃活動を実施する。(さいたま市ごみゼロキャンペーン市民清掃活動の参加等) <(現状値)2022年の数値> 清掃活動:年0回(のべ0人参加)	<2030年に向けた指標> 年2回(のべ10人参加) <取組開始3年後に向けた指標> 年1回(のべ3人参加)
経済	IT 導入によって作業効率を上げ、勤怠管理作業時間を削減する。 <(現状値)2022年の数値> 勤怠管理作業:作業者合計 月平均32時間	<2030年に向けた指標> 2022年度比 20%削減(▲月平均6.4時間) <取組開始3年後に向けた指標> 2022年度比 10%削減(▲月平均3.2時間)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 5日
住 所 さいたま市北区奈良町153-12
県内企業等の名称 株式会社ケーアイ
代表者役職氏名 代表取締役 熊井戸 純

株式会社ケーアイ

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は創業以来、空気調和設備・給排水衛生設備に関する事業を行って参りました。新鮮・清潔・安全な空気や水の提供は快適且つ健康的な生活を守り、地球環境を守ることにもつながります。これはSDGsの趣旨と合致するものであり、今後も社員一人一人が安心・安全で心豊かに暮らせる社会づくりを目指すとともに、すべての人々が幸福に暮らせる社会の実現に貢献できるようSDGsの達成に取り組んで参ります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	脱炭素化、エネルギー使用量の削減に向け、環境配慮型車両への入替及び使用電力量の削減を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①環境配慮型車両率:56.5%(13台/23台) ②電力使用量:48,299kwh/年	<2030年に向けた指標> ① 78%(18台/23台) ② 46,850kwh/年 <取組開始3年後に向けた指標> ① 65%(15台/23台) ② 47,333kwh/年
社会	社会貢献活動として赤い羽根募金と事業所周辺の環境美化活動を実施する。 <(現状値)2022年の数値> ①赤い羽根募金:0円/年 ②美化活動実施回数:1回/年(のべ5人参加)	<2030年に向けた指標> ① 15,000円/年 ② 3回/年(のべ12人参加) <取組開始3年後に向けた指標> ① 10,000円/年 ② 2回/年(のべ8人参加)
経済	社員のワークライフバランス向上の一環として有給休暇平均取得日を増加させる。 <(現状値)2022年の数値> 有給休暇平均取得日数 10日/年	<2030年に向けた指標> 14日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 12日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 5日
住 所 さいたま市浦和区北浦和3-6-5
県内企業等の名称 斎藤工業株式会社
代表者役職氏名 代表取締役社長 斎藤 恵介

斎藤工業株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「建設を通じて顧客の要求する満足感に貢献し、豊かな街づくりをめざす」「法を順守し、確かな技術で安全で快適な生活環境を提供する」「地域における社員の個を尊重し、夢のある企業風土をつくる」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。
この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境負荷軽減のため、社用車を環境配慮型車両を導入するとともに燃費の向上を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①環境配慮型車両の導入割合:20%(4台/20台) ②平均燃費:14.4km/L	<2030年に向けた指標> ①30% ②16.0km/L <取組開始3年後に向けた指標> ①25% ②15.0km/L
社会	事業所周辺の環境美化活動を行う。男性の育休取得者を増加させ、社員・家族満足度のアップを図る。 <(現状値)2022年の数値> ①美化活動実施回数:0回/年・のべ0人 ②取得者なし	<2030年に向けた指標> ①20回/年・のべ100人参加 ②4人取得 <取組開始3年後に向けた指標> ①12回/年・のべ60人参加 ②2人取得
経済	多様な人材が活躍できる環境とするため、女性管理職の登用者数増を目指す。 <(現状値)2022年の数値> 女性管理職数:2人/70人	<2030年に向けた指標> 7人 <取組開始3年後に向けた指標> 4人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 5日
住 所 新座市中野2-3-8
県内企業等の名称 株式会社ロータス
代表者役職氏名 代表取締役 相原和人

株式会社ロータス はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、未来の豊かな地域社会実現のため、製造業として取り組むべき環境問題等の社会的価値の創造をしっかりと認識し、経済的価値の創造との両立を目指して、SDGs目標達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、FAXや回覧用資料の電子化等ペーパーレスを推進し、コピー用紙の削減に取り組む。併せて、社内照明器具のLED化をさらに促進させる。 <(現状値)2022年の数値> ①コピー用紙使用量:50,000枚/年 ②LED化率:70%(7部屋/10部屋)	<2030年に向けた指標> ①2022年比 20%削減 ②100% <取組開始3年後に向けた指標> ①2022年比 10%削減 ②80%
社会	社員参加型の社会貢献活動を推進する。 <(現状値)2022年の数値> ロードサポート活動:3回/年・延べ6人参加	<2030年に向けた指標> 24回/年・延べ72人参加 <取組開始3年後に向けた指標> 12回/年・延べ36人参加
経済	多様な人材活躍推進の一環として、女性社員の積極的な雇用を行う。 <(現状値)2022年の数値> 女性従業員割合:5%(1人/20人)	<2030年に向けた指標> 15% <取組開始3年後に向けた指標> 10%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6 月 5 日
住 所 埼玉県さいたま市南区曲本1-18-17
県内企業等の名称 株式会社岡部商店
代表者役職氏名 代表取締役 岡部 弘

株式会社岡部商店

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は古紙、プラスチックのリサイクルで限られた資源に対し資源循環型システムを推進している。未来の為に環境負荷を最小限にする事を念頭に「人と地球へ優しい社会創り」を目標としSDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO ₂ 削減とガソリン消費量削減を目的とし、社用車を環境配慮型車両に変えていく <(現状値)2022年の数値> ①環境配慮型車両導入率:0%(0台/7台) ②平均燃費:14km/ℓ	<2030年に向けた指標> ①57%(4台) ②20km/ℓ <取組開始3年後に向けた指標> ①28%(2台) ②18km/ℓ
社会	社会貢献活動として、事業所周辺の清掃活動を行う。また、地区子供会へ寄付をする。 <(現状値)2022年の数値> ①美化活動実施回数:1回/年 のべ2人参加 ②地区子供会へ寄付:10,000円/年	<2030年に向けた指標> ①6回/年 のべ20人参加 ②30,000円/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①4回/年 のべ5人参加 ②15,000円/年
経済	多様な人材雇用を推進するため、高齢者(60歳以上)が活躍できる職場作りを行う。 <(現状値)2022年の数値> 60歳以上の高齢者雇用人数:2名/40名	<2030年に向けた指標> 5名/40名 <取組開始3年後に向けた指標> 4名/40名

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 5日

住 所 埼玉県鶴ヶ島市藤金822番地53

県内企業等の名称 株式会社 ミネギシ

代表者役職 氏名 代表取締役 峯岸 由起子

株式会社 ミネギシ

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は建設業務を通して地域活性化に貢献していきます。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、ペーパーレス化を推進し、コピー用紙の使用量を削減する。また、照明のLED化を推進する。 <(現状値)2022年の数値> ①コピー用紙使用量:50,000枚/年 ②LED化率:20%(1部屋/5部屋)	<2030年に向けた指標> ①50%削減(25,000枚/年) ②100% <取組開始3年後に向けた指標> ①20%削減(40,000枚/年) ②40%
社会	社員参加型の社会貢献活動を推進する。 <(現状値)2022年の数値> ①ロードサポート:2回/年 のべ10人 ②地元祭りへの参加:0回/年	<2030年に向けた指標> ①5回/年・のべ25人参加 ②4回/年・のべ10人参加 <取組開始3年後に向けた指標> ①3回/年・のべ15人参加 ②2回/年・のべ4人参加
経済	多様な人材が活躍できる社会実現のため、定年延長を図り、高齢者の雇用を積極的に進める。 <(現状値)2022年の数値> ①定年年齢:60歳 ②60歳以上の雇用者:2人(2人/6人)	<2030年に向けた指標> ①70歳 ②5人 <取組開始3年後に向けた指標> ①65歳 ②3人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 5日
住 所 埼玉県川口市西川口1-26-4
県内企業等の名称 株式会社アイ・ピー・シー
代表者役職氏名 代表取締役 小島宣二

株式会社アイ・ピー・シー はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

建築資材の輸入卸売である当社は、環境負荷を考慮した様々な製品の提案により海外の工場への負担の軽減に努めます。
また、社員ひとりひとりがより働きやすく、ライフステージの変化にも関わらず働き続けられる環境を整えることによってSDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO2削減と環境保護のため、ペーパーレス化をすすめ、コピー用紙の使用枚数の削減に取り組みます。 <(現状値)2022年の数値> コピー用紙使用枚数:25,000枚/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 30%削減(17,500枚) <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 10%削減(22,500枚)
社会	社員の有給休暇取得率をあげ、地域活動への参加を推進します。 特に子育て中の社員が、学校活動へ意欲的に参加できるような環境整備を行います。 <(現状値)2022年の数値> 有給休暇平均取得日数:5日/年	<2030年に向けた指標> 15日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 10日/年
経済	ワークライフバランスの実現のためフレックスタイム制の採用と、テレワークでの勤務を推進し、子育て中の社員でも働きやすい企業を目指します。 <(現状値)2022年の数値> テレワーク・フレックスタイム制利用人数:3人/8人	<2030年に向けた指標> 7人 <取組開始3年後に向けた指標> 4人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 5日
住 所 さいたま市南区別所一丁目11番2号
県内企業等の名称 株式会社奏介護支援サービス
代表者役職 氏名 代表取締役 齋藤 紀夫

株式会社奏介護支援サービス はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「利用者様がみなさん笑顔でいられる、自分の家と思える温かみのある場所の提供」の実践を通じて、地域の皆様の健康的な生活を確保し福祉を推進していくことで、住み続けられる街づくりに貢献してまいります。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、従業員一人一人が働きがいを感じ、健康に配慮した経営を行っていくことで、SDGsの達成に貢献してまいります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、業務のIT化を進め、ペーパーレス化を図るとともに、社用車の環境配慮型車両への切替を図ってまいります。 <(現状値)2022年の数値> ①コピー用紙使用枚数:96,000枚/年 ②環境配慮型車両:0台/5台	<2030年に向けた指標> ①2022年比 20%削減 ②2台 <取組開始3年後に向けた指標> ①2022年比 10%削減 ②1台
社会	高齢者が活躍できる機会の創出として、高齢者(65歳以上)雇用を促進してまいります。 <(現状値)2022年の数値> 65歳以上の高齢者雇用人数:2名/30名(7%)	<2030年に向けた指標> 6名/30名(20%) <取組開始3年後に向けた指標> 3名/30名(10%)
経済	社内にて介護福祉士資格の取得を推進してまいります。 <(現状値)2022年の数値> 介護福祉士資格保有者:46%(7名/15名)	<2030年に向けた指標> 資格保有者95% <取組開始3年後に向けた指標> 資格保有者75%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 5日
住 所 埼玉県三郷市中央1-17-8-102
県内企業等の名称 株式会社聖心トランスポート
代表者役職氏名 代表取締役 野村聖悦

株式会社聖心トランスポート

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念の一つである「安全、迅速、正確をモットーにお客様に信頼される物流企業を目指します。」に基づき、地域社会の更なる発展に貢献すると共に、環境保護、労働環境の観点においても社員ひとりひとりが貢献することにより、SDGsの達成に取り組んでいく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、ペーパーレス化を推進し、紙資源の削減を行う。 <(現状値)2022年の数値> コピー用紙使用枚数:4,500枚/年	<2030年に向けた指標> 1,500枚/年 <取組開始3年後に向けた指標> 3,000枚/年
社会	労働環境の整備に努め、従業員の年次休暇取得日数を増加させる。 <(現状値)2022年の数値> 従業員の年次休暇平均取得日数 :3年以上勤務14日、6年以上勤務20日	<2030年に向けた指標> 3年以上勤務16日、6年以上勤務23日 <取組開始3年後に向けた指標> 3年以上勤務15日、6年以上勤務22日
経済	多様な人材が十分に活躍できる環境の整備に取り組み、女性雇用率の増加を図る。 <(現状値)2022年の数値> 女性従業員の割合:8%(4人/50人)	<2030年に向けた指標> 30% <取組開始3年後に向けた指標> 15%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 5日
住 所 埼玉県坂戸市柳町11-2
県内企業等の名称 東日本昇降機サービス株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役 揚石 剛

東日本昇降機サービス株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である4か条「安全・感謝・和合・努力」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員一人一人が誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の一環として、3Rの推進(リデュース、リユース、リサイクル)に取り組み、廃棄物の排出量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> 廃棄物排出量: 2t/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 20%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 10%削減
社会	従業員のワークライフバランス促進のため、長時間労働の防止に取り組み、時間外労働時間を削減する。 <(現状値)2022年の数値> 平均時間外労働時間: 30時間/月	<2030年に向けた指標> 20時間/月 <取組開始3年後に向けた指標> 25時間/月
経済	多様な人材雇用の推進として、高齢者(60歳以上)の雇用を積極的に進める。 <(現状値)2022年の数値> 高齢者従業員数: 4人/46人	<2030年に向けた指標> 10人 <取組開始3年後に向けた指標> 7人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 5日
住 所 埼玉県入間郡越生町越生1040-1
県内企業等の名称 旭彫刻工業株式会社
代表者役職氏名 代表取締役 小林 秀行

旭彫刻工業株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は「他社には真似できないものづくり」にこだわり、社員・お客さまとアイデアを出し合い、持続可能な地域社会づくり(SDGs)に貢献して参ります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	生産工程の変更を行うことで、廃棄物の排出量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> 廃棄物排出量:6,765kg/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 10%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 5%削減
社会	地域貢献として、「ハイキングの街作り」といったボランティア活動を実施する。 <(現状値)2022年の数値> ボランティア実施回数:0回/年(のべ0人参加)	<2030年に向けた指標> 4回/年(のべ8人参加) <取組開始3年後に向けた指標> 1回/年(のべ2人参加)
経済	「卵子の冷凍保存容器」といった新製品の開発及び売上増加を図ることで、女性の社会進出・活躍の一端を担う。 <(現状値)2022年の数値> 新製品売上個数:0個(2023年から販売)	<2030年に向けた指標> 60万個/年 <取組開始3年後に向けた指標> 30万個/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和5年 6月 6日
住 所 埼玉県戸田市氷川町2丁目12番7号
県内企業等の名称 株式会社ユカ 東京城北支店
代表者役職氏名 支店長 門脇秀幸

株式会社ユカ はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

ユカは「街に潤い・心にやすらぎ」をテーマとして、自動販売機を通じて持続可能な開発目標(SDGs)に取り組んでいます。
今や自動販売機は人々の生活になくてはならない社会インフラです。
24時間365日稼働し、どなたでも利用可能な自動販売機をSDGsのツールとして、すべての人々が強いられることなく、カーボンニュートラルやBtoBといった環境貢献活動に参加いただけるサービスを展開してゆくことでSDGsに貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO2削減に貢献するため、倉庫の照明をLED化するなど電力の削減を推進する。 <(現状値)2022年の数値> ①事業所の電力使用量63,619kw/h ②LED化率:0%	<2030年に向けた指標> ①46,254kw/h ②LED化率 100% <取組開始3年後に向けた指標> ①54,937kw/h ②LED化率 50%
社会	女性のルートセールス採用を増加する。災害対策用自販機やAEDサービス付き自販機の設置を増加させる。 <(現状値)2022年の数値> ①女性従業員数:3人(103人中3人) ②AED付などの自販機設置数:20台	<2030年に向けた指標> ①7人 ②40台 <取組開始3年後に向けた指標> ①5人 ②30台
経済	カーボンオフセット自販機を展開し、販売の推進をする。CO ² 排出量を実質ゼロとすることで、カーボンニュートラル推進に貢献する。 <(現状値)2022年の数値> ①カーボンオフセット自販機契約数:1台 ②CO ² 削減量:10トン/年	<2030年に向けた指標> ①25台 ②250トン/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①15台 ②150トン/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 6日
住 所 飯能市大字大河原273-6
県内企業等の名称 株式会社 梨木建設
代表者役職 氏名 代表取締役 梨木幹雄

株式会社 梨木建設

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、経営理念でもある「和を以て貴しとなす」の心の一つでもある、理解しあって調和・協調するという考えを常に忘れずに行動し、「より快適に」「より心地よく」すごせるような地域づくりを目指す。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、LED化を推進するなどによりエネルギー使用量を削減する。 <(現状値)2022年度の数値> ①LED化率:17%(1室/6室) ②エネルギー使用量:3,550kwh/年	<2030年に向けた指標> ①2022年比 15%削減 ②50%(3室/6室) <取組開始3年後に向けた指標> ①2022年比 10%削減 ②33%(2室/6室)
社会	社会貢献活動の推進として、彩の国ロードサポート団体及び川の国応援団美化活動団体の活動に参加する。 <(現状値)2022年度の数値> 美化活動参加回数:4回/年 のべ25人参加	<2030年に向けた指標> 6回/年 のべ40人参加 <取組開始3年後に向けた指標> 5回/年 のべ30人参加
経済	多様な人材活躍推進のため、高齢者(65歳以上)の雇用を積極的に進める。 <(現状値)2022年度の数値> 65歳以上の高齢者従業員数:0人/6人	<2030年に向けた指標> 2人 <取組開始3年後に向けた指標> 1人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 6日
住 所 埼玉県北葛飾郡杉戸町堤根4040
県内企業等の名称 株式会社 三嘉ホーム
代表者役職氏名 代表取締役 福田 春彦

株式会社 三嘉ホーム

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

三嘉ホームでは1980年の設立以降、「省エネで地震に強い家」を基本とした、住む人にも、地球にも優しい住宅をお客様、そして地域の皆様にお届けできるよう日々努力しております。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、会社の成長とともにSDGsの達成に貢献して参ります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	ペーパーレス化に取り組み、コピー用紙の使用枚数を削減する。 <(現状値)2022年の数値> コピー用紙使用枚数:103,000枚/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 20%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 10%削減
社会	杉戸町社会福祉協議会へ使用済み切手の寄付を実施する。 <(現状値)2022年の数値> 使用済み切手寄付枚数:300枚/年	<2030年に向けた指標> 500枚/年 <取組開始3年後に向けた指標> 400枚/年
経済	埼玉県内の事業者との取引を更に増やす。 <(現状値)2022年の数値> 県内の取引事業者数:累計378社	<2030年に向けた指標> 累計393社(2022年比 新規取引 15社増加) <取組開始3年後に向けた指標> 累計383社(2022年比 新規取引 5社増加)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 6日
住 所 戸田市美女木7-13-1
県内企業等の名称 青山通商株式会社
代表者役職氏名 代表取締役 布特 格其

青山通商株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「常にお客様の立場で考え、よりよい製品づくりを目指します。安全・安心な高品質商品を価格以上の価値を持たせて提供することで社会貢献できるよう努力していく企業を目指しております。」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	ペーパーレス化を推進し、紙資源や印刷資材の削減に推進する。 <(現状値)2022年の数値> コピー用紙使用量:30,000枚/年	<2030年に向けた指標> 21,000枚/年 (2022年度比30%削減) <取組開始3年後に向けた指標> 25,500枚/年 (2022年度比15%削減)
社会	社員参加型の社会貢献活動を推進する。 <(現状値)2022年の数値> 街の美化活動:1回/年・のべ11人参加	<2030年に向けた指標> 6回/年・のべ66人参加 <取組開始3年後に向けた指標> 3回/年・のべ33人参加
経済	女性の管理職登用や高齢者雇用を積極的に進め、多様な人材が活躍できる社会を目指す。 <(現状値)2022年の数値> ①女性の管理職人数:1人/5人 ②高齢者(60歳以上)の雇用人数:1人/11人	<2030年に向けた指標> ①3人 ②3人 <取組開始3年後に向けた指標> ②2人 ②2人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 6日
住 所 越谷市東大沢2-33-45
県内企業等の名称 合同会社プロプラス
代表者役職 氏名 代表社員 川上政紀

合同会社プロプラス はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「価値ある生活の提供を企業理念とかけ、スタッフ全員がお客様に仕える、与える、絆をつなぐことにより、安心安全なサービスの提供に取り組む。」に基づき行動し、地域の発展に貢献する。
この考え方はSDGsと同じ目標を目指すものであり、社員一人一人が誠実に事業活動に取り組むことで、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	古着や在庫品などをリメイクや加工を行い、アパレル資材の廃棄物量の削減を図っていく。 <(現状値)2022年の数値> ①古着の買取量:20着 ②洋服のリメイク数:12着	<2030年に向けた指標> ①100着 ②100着 <取組開始3年後に向けた指標> ①45着 ②30着
社会	社員参加型の社会貢献活動を推進する。 <(現状値)2022年の数値> 街の美化活動に参加:年2回 延べ4名	<2030年に向けた指標> 年4回 延べ40名 <取組開始3年後に向けた指標> 年2回 延べ10名
経済	女性雇用や高齢者雇用を積極的に進め、多様な人材が活躍できる社会を目指す。 <(現状値)2022年の数値> ①女性雇用:4名/5名 ②高齢者(60歳以上)の雇用:1名/5名	<2030年に向けた指標> ①15名 ②5名 <取組開始3年後に向けた指標> ①6名 ②2名

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 6日
住 所 志木市柏町1-9-77-703
県内企業等の名称 株式会社コンバート・ワン
代表者役職氏名 代表取締役 尾上元彦

株式会社コンバート・ワン

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

弊社は、「家事で社会を明るく元気に」をスローガンに、家事シェアによる男性の家事参加を促進することにより、健康と福祉、ジェンダー平等、住み続けられるまちづくり等の課題解決に取り組み、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	自家用車による移動を控え、公共の交通機関、自転車等の使用にシフトする。 <(現状値)2022年の数値> 自家用車走行距離:6,000km/年	<2030年に向けた指標> 0km/年 <取組開始3年後に向けた指標> 3,000km/年
社会	主に高齢者男性を対象に、家事のアドバイスを行う講座をボランティアで開催する。 <(現状値)2022年の数値> 受講者実績数:48人/年	<2030年に向けた指標> 100人/年 <取組開始3年後に向けた指標> 65人/年
経済	高齢者(60歳以上)を対象に、家事スキルが活かせる就労の支援を積極的に行う。 <(現状値)2022年の数値> 高齢者就労人数:0人/年	<2030年に向けた指標> 100人/年 <取組開始3年後に向けた指標> 10人/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5 年 6 月 6 日
住 所 川口市安行吉岡1661-1
県内企業等の名称 中新商事株式会社
代表者役職氏名 代表取締役 程 立新

中新商事株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「世界を幸せにする」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	太陽光パネルの設置によって発電による環境負荷を軽減するとともに電気使用量の削減を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①太陽光パネル設置率:20%(20坪/100坪) ②電力使用量:21,000kw/年	<2030年に向けた指標> ①100% ②2022年比 15,000kw削減 <取組開始3年後に向けた指標> ①50% ②2022年比 12,000kw削減
社会	社会貢献活動として、地域の清掃活動を実施する。 <(現状値)2022年の数値> 清掃活動実施回数:0回/年(のべ0人参加)	<2030年に向けた指標> 3回/年(のべ10人参加) <取組開始3年後に向けた指標> 1回/年(のべ5人参加)
経済	働き方改革の推進として、有給休暇取得率の向上と超過労働時間の削減を行う。 <(現状値)2022年の数値> ①有給休暇平均取得率:60%(12日/20日) ②平均所定外労働時間:25時間/月	<2030年に向けた指標> ①90% ②2022年比 80%削減 <取組開始3年後に向けた指標> ①75% ②2022年比 40%削減

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 6日
住 所 加須市伊賀袋405-4
県内企業等の名称 小林土建工業株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役 小林 房子

小林土建工業株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、地域密着の建設会社として地域の皆様の住みよい暮らしのお手伝いをさせていただく為に、地域社会の発展に貢献致します。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO2削減のため、照明をLED化するなど、エネルギー使用量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> ①LED照明率:25%(1室/4室) ②エネルギー使用量:14,512kwh/年	<2030年に向けた指標> ①100% ②11,623kwh/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①50% ②12,915kwh/年
社会	赤い羽根共同募金運動の活動支援や、ボランティア活動を行う。 <(現状値)2022年の数値> ①募金額:3,000円/年 ②ボランティア活動実施回数:1回/年(のべ5人参加)	<2030年に向けた指標> ①20,000円/年 ②5回/年(のべ25人参加) <取組開始3年後に向けた指標> ①10,000円/年 ②3回/年(のべ15人参加)
経済	地域経済活性化のため、地域の事業者との取引を増加させる。 <(現状値)2022年の数値> 取引事業者数:28社(累計)	<2030年に向けた指標> 38社(累計) <取組開始3年後に向けた指標> 33社(累計)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 6日

住 所 埼玉県川口市芝中田 2-5-23

県内企業等の名称 芝測量建築設計株式会社

代表者役職氏名 代表取締役 高橋 到

芝測量建築設計株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

【経営理念】「・会社の目的は誇りある仕事を通して社会に貢献する事である。・会社の姿勢は顧客の信頼に応え満足を提供し続ける事である。そのうえで会社の健全な発展と社員の生活の安定に邁進する。」
【行動指針八訓】「1 安全第一:2 環境保全:3 自己研鑽:4 尊重融和:5 創意工夫:6 改革継続:7 迅速確実:8 整理整頓、点検整備」
以上の考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	エネルギー使用量を削減するとともに、再生可能エネルギーの利用率の向上を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①LED化率:50%(4室/8室) ②社有車(ガソリン車)をEV車へ変更する(0台/10台)	<2030年に向けた指標> ①100% ②(10台/10台) <取組開始3年後に向けた指標> ①80% ②(4台/10台)
社会	寄付活動や地域ボランティアといった、社会貢献活動を推進する。 <(現状値)2022年の数値> ①寄付金額:0円/年 ②地域ボランティア実施回数:0回/年(のべ0人参加)	<2030年に向けた指標> ①30万円/年 ②12回/年(のべ100人参加) <取組開始3年後に向けた指標> ①15万円/年 ②6回/年(のべ60人参加)
経済	誰もが活躍できる職場づくりの推進として、女性管理職数及び女性従業員数の増加を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①女性管理職数:0名/25名 ②女性従業員数:8名/25名	<2030年に向けた指標> ①4名/36名 ②14名/36名 <取組開始3年後に向けた指標> ①2名/32名 ②12名/32名

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6 月 6 日
住 所 埼玉県越谷市大房874-4
県内企業等の名称 ジャパンテック株式会社
代表者役職氏名 代表取締役 奈良部 達也

ジャパンテック株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

弊社の企業理念にある「地域に貢献できる企業を目指し、楽しんで、笑顔で働ける環境を作る。」に基づき行動し、地域社会の発展・子供たちへの支援活動に貢献し、信頼される企業を目指していきます。社員ひとりひとりが誠実に企業理念の基づき行動し、技術の向上と人とのコミュニケーション力を磨き、持続可能なSDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、コピー用紙の使用枚数とエネルギー使用量の削減を図る <(現状値)2022年の数値> ①コピー用紙使用枚数:101,480枚/年 ②エネルギー使用量:33,737kwh/年	<2030年に向けた指標> ①2022年比 30%削減 ②2022年比 20%削減 <取組開始3年後に向けた指標> ①2022年比 10%削減 ②2022年比 10%削減
社会	「子ども食堂」へ食材の寄付の支援を行う。 <(現状値)2022年の数値> 寄付回数:0回/年	<2030年に向けた指標> 6回/年 <取組開始3年後に向けた指標> 2回/年
経済	女性の雇用推進と管理職登用を推進する。 <(現状値)2022年の数値> ①女性従業員数:5人/27人 ②女性管理職割合:20%(1人/5人)	<2030年に向けた指標> ①10人 ②50%(5人/10人) <取組開始3年後に向けた指標> ①7人 ②30%(2人/7人)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 1日
住 所 東松山市大字新郷88番地44
県内企業等の名称 東京電化株式会社 東松山工場
代表者役職氏名 東松山工場長 佐川 代志次

東京電化株式会社 東松山工場

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「得意先様からの継続した信頼を獲得する」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すことであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境負荷の低減の観点から、CO2排出量や廃棄物量を抑制する <(現状値)2022年の数値> ①売上高に対するCO2排出量の原単位: 0.124t-co2/百万円 ②売上高に対する廃棄物量の原単位: 6.760t/百万円	<2030年に向けた指標> ①2022年比 10%減 ②2022年比 10%減 <取組開始3年後に向けた指標> ①2022年比 3.75%減 ②2022年比 3.75%減
社会	社会貢献活動の一環として、工業団地の美化運動へ社員の積極的参加を促進する <(現状値)2022年の数値> 美化運動実施回数:1回/年(のべ1名参加)	<2030年に向けた指標> 5回/年(のべ15人参加) <取組開始3年後に向けた指標> 3回/年(のべ9人参加)
経済	社員の働き方改革に取り組むために、毎年、社員の有給休暇取得日数を増やす <(現状値)2022年の数値> 有給休暇の平均取得日数:10日/年	<2030年に向けた指標> 14日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 11.5日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 7日
住 所 行田市埼玉4516
県内企業等の名称 キムラ石油株式会社
代表者役職氏名 代表取締役 木村峰子

キムラ石油株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は「人のお役に立ち 人に愛され 人とともに成長する」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	家庭用ボイラーにスマートセンサーを装着し配送を効率化することで燃料使用を削減させるとともにEV・PHV充電設備を設置する。 <(現状値)2022年の数値> ①スマートセンサー装着率:40% ②EV・PHV充電設備:未設置	<2030年に向けた指標> ①スマートセンサー装着率 90% ②2基 <取組開始3年後に向けた指標> ①スマートセンサー装着率 70% ②1基
社会	「彩の国ロードサポート」に登録し、店舗周辺道路の美化活動に参加する。また、心身ともに健康的な生活を構築するために年次有給休暇の取得日数を増やす。 <(現状値)2022年の数値> ①道路の美化活動:1回/年・のべ3人参加 ②有給休暇平均取得日数:6日	<2030年に向けた指標> ①5回/年・のべ20人参加 ②10日 <取組開始3年後に向けた指標> ①3回/年・のべ12人参加 ②8日
経済	女性社員・パート及び高齢者(60歳以上)雇用の割合を増やしていく。 <(現状値)2022年の数値> ①女性社員・パート:4人/17人 ②高齢者雇用:2人/17人	<2030年に向けた指標> ①6人 ②4人 <取組開始3年後に向けた指標> ①5人 ②3人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 7日
住 所 さいたま市大宮区浅間町2-257
県内企業等の名称 彩光建設株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役 下總 勉

彩光建設株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は新しい付加価値を創出しうる総合建設業として地域社会基盤づくりへの貢献を目指す。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員一人ひとりが独創的な発想で、知恵と技術と力を尽くすことを通じて、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の一環として、CO2排出削減のために社用車を環境配慮型車両に入れ替える。 <(現状値)2022年の数値> ①環境配慮型車両導入率:2台/5台40% ②平均燃費:13.8km/ℓ	<2030年に向けた指標> ①5台/5台 100% ②19.0km/ℓ <取組開始3年後に向けた指標> ①3台/5台 60% ②15.5km/ℓ
社会	社会貢献活動の推進として、社員参加型清掃活動を実施する。 <(現状値)2022年の数値> さいたまロードサポート清掃活動回数 8回/年 延べ41人参加	<2030年に向けた指標> 12回/年 延べ80人参加 <取組開始3年後に向けた指標> 10回/年 延べ60人参加
経済	働き方改革の推進として、年次有給休暇取得の促進を図る。 <(現状値)2022年の数値> 有給休暇平均取得日数:6.9日/年	<2030年に向けた指標> 12日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 8日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 7日
住 所 埼玉県秩父市宮側町14番16号
県内企業等の名称 守屋八潮建設株式会社
代表者役職氏名 代表取締役 山口浩人

守屋八潮建設株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は社長の品質方針である「お客様に本当に喜ばれる品物とサービスをより早く提案・提供し、社会に貢献する」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の一環として、LED化等によりエネルギー使用量を削減するとともに、再生可能エネルギーの利用率の向上を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①LED化率:53%(28室/53室) ②エネルギー使用量:44,370kwh/年 ③再生可能エネルギー利用率:41.6%	<2030年に向けた指標> ①69%(37室/53室) ②2022年比 7%削減 ③48% <取組開始3年後に向けた指標> ①64%(34室・53室) ②2022年比 3%削減 ③45%
社会	社会貢献活動として、社員参加型の美化活動を推進する。 <(現状値)2022年の数値> ①道路の美化活動:2回/年・のべ33人参加 ②河川の美化活動:2回/年・のべ33人参加	<2030年に向けた指標> ①4回/年 のべ66人参加 ②4回/年 のべ66人参加 <取組開始3年後に向けた指標> ①3回/年 のべ50人参加 ②3回/年 のべ50人参加
経済	高齢者雇用を積極的に進め、多様な人材が活躍する社会づくりを推進する。 <(現状値)2022年の数値> 高齢者(65歳以上)の雇用比率:15%(11人/72人)	<2030年に向けた指標> 22%(16人/72人) <取組開始3年後に向けた指標> 18%(13人/72人)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 7日
住 所 埼玉県蓮田市西新宿3-49-5
県内企業等の名称 株式会社吉田食品
代表者役職氏名 代表取締役 吉田 昌司

株式会社吉田食品 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

株式会社吉田食品は、和日配品を取り扱う食品卸売業として、特に環境問題に重点を置き、地域社会への貢献や経済の発展へ向けた活動を全社員で取り組むことにより、SDGsの達成に向け努力していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	自社で取り扱う食料品の適正な仕入・在庫管理体制を整備、また廃棄物の分別に取り組み廃プラスチック類の量を減らし、年間で排出する包装済みの食料品の廃棄量を減らす。 <(現状値)2022年の数値> 包装済み食料品廃棄量:100kg/年	<2030年に向けた指標> 50kg/年 <取組開始3年後に向けた指標> 75kg/年
社会	子ども食堂への食材の寄付を地域機関と連携し積極的に実施する。 <(現状値)2022年の数値> 子ども食堂への寄附回数:0回/年	<2030年に向けた指標> 5回/年 <取組開始3年後に向けた指標> 3回/年
経済	経理担当従業員と協力し積極的なDX化及び日中業務の生産性向上に努め、残業時間の削減を目指す。 <(現状値)2022年の数値> 平均所定外労働時間:30時間/月	<2030年に向けた指標> 10時間/月 <取組開始3年後に向けた指標> 25時間/月

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 7日
住 所 さいたま市西区佐知川1433-1
県内企業等の名称 株式会社チヨダ
代表者役職 氏名 代表取締役 上野 良則

株式会社チヨダ はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社の経営理念にある「社員の幸福を第一とし、事業の全ての面で誠実かつ倫理を守り、経営は常にパブリックを念頭に」に基づき地域社会の発展に貢献する。
この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員一人一人が誠実に事業活動に取り組むことによりSDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	ガソリン使用量削減の為に業務用車両を環境配慮型車両にする <(現状値)2022年の数値> ①環境配慮型車両導入率:52%(25台/48台) ②平均燃費:15.5km/L	<2030年に向けた指標> ①100%(55台/55台) ②25.4km/L <取組開始3年後に向けた指標> ①80%(40台/50台) ②19.6km/L
社会	社会貢献活動として、地域の美化活動を実施する。 <(現状値)2022年の数値> 美化活動実施回数:12回/年(のべ24人参加)	<2030年に向けた指標> 24回/年(のべ48人参加) <取組開始3年後に向けた指標> 16回/年(のべ32人参加)
経済	年次有給休暇取得数の向上と時間外労働の削減を行う。 <(現状値)2022年の数値> ①年次有給休暇平均取得日数:8日/年 ②平均時間外労働時間:20.0時間/月	<2030年に向けた指標> ①15日/年 ②15.0時間/月 <取組開始3年後に向けた指標> ①10日/年 ②18.0時間/月

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 7日
住 所 坂戸市片柳2299-2
県内企業等の名称 株式会社柳沢リース建設
代表者役職 氏名 代表取締役 柳澤光則

株式会社柳沢リース建設 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は建設業を通じて、安心・安全・快適な住環境のもと、地域社会の発展を目指しています。限りある資源を大切に考え、環境保全・リサイクルの推進に努めていくとともに、SDGsの達成に貢献してまいります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO2排出量を削減するため、社用車を環境配慮型車両に入れ替える。 <(現状値)2022年の数値> ①環境配慮型車両導入率:7%(1台/13台) ②平均燃費:12.7km/L	<2030年に向けた指標> ①61%(8台/13台) ②18.0km/L <取組開始3年後に向けた指標> ①23%(3台/13台) ②14.0km/L
社会	社会貢献活動の継続及び推進を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①「ロードサイン」実施回数:2回/年(延べ14人) ②川の国応援団実施回数:1回/年(延べ7人)	<2030年に向けた指標> ①6回/年(延べ42人) ②3回/年(延べ21人) <取組開始3年後に向けた指標> ①4回/年(延べ28人) ②2回/年(延べ14人)
経済	年次有給休暇の平均取得日数を増加させる。 <(現状値)2022年の数値> 年次有給休暇平均取得日数:5日/年	<2030年に向けた指標> 10日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 8日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 7日
住 所 熊谷市上之3849番地4
県内企業等の名称 株式会社ヒグチ電機
代表者役職氏名 代表取締役 樋口順一

株式会社ヒグチ電機

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は「人×技術×信頼＝日本の未来を創る力」を理念に掲げ、日々変化する環境や多種多様な建築物に培ってきた技術力で対応し、電気工事業を通じて地域社会の発展向上に貢献しております。この理念は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員一同、誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献してまいります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	事業所内で使用しているコピー用紙をFSC森林認証又はエコマーク製品へ切替えるとともに、使用枚数の削減に取り組む。 <(現状値)2022年の数値> ①紙製品切替率:10% ②コピー用紙使用枚数:62,000枚/年	<2030年に向けた指標> ①80% ② 2022年比 20%削減 <取組開始3年後に向けた指標> ①50% ② 2022年比 10%削減
社会	社会貢献活動として、事業所周辺の美化活動を行う。 <(現状値)2022年の数値> 美化活動実施回数:1回/年(のべ3人)	<2030年に向けた指標> 12回/年(のべ36人) <取組開始3年後に向けた指標> 3回/年(のべ9人)
経済	社員のワークライフバランス向上のため、年次休暇の取得を促進する。 <(現状値)2022年の数値> 年次休暇取得平均日数:5日/年	<2030年に向けた指標> 10日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 7日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 7日

住 所 埼玉県川口市戸塚東1-27-15ソメヤハイツ103

県内企業等の名称 中華 丸

代表者役職 氏名 代表 丸山 佳剛

中華 丸

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当店は経営理念である「本格中華をゆっくりくつろぎながら」に基づき、地元産地直送野菜を使った健康志向の本格中華メニューを楽しむことができる会食・交流の場所を提供し、地域社会の発展に貢献する。健康・環境整備・社会貢献をテーマに、誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	テイクアウト容器をプラスチックから耐水・耐熱の環境配慮の容器に切り替えていく。 <(現状値)2022年の数値> 環境配慮型容器使用率:10%(100枚/1,000枚)	<2030年に向けた指標> 80%(800枚/1,000枚) <取組開始3年後に向けた指標> 50%(500枚/1,000枚)
社会	地元密着型店舗として、地域の美化に協力するとともに、子ども食堂の運営を支援する。 <(現状値)2022年の数値> ①店舗前歩道の清掃:12回/年(延べ12人参加) ②子ども食堂への食材提供:0回/年	<2030年に向けた指標> ①48回/年(延べ48人参加) ②3回/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①24回/年(延べ24人参加) ②2回/年
経済	地産地消メニューを推進するため、川口市内の伝統食材である味噌・酒や埼玉県産の野菜を使ったメニュー提供を行う。 <(現状値)2022年の数値> 県産野菜使用率:5%(50kg/1000kg)	<2030年に向けた指標> 40%(400kg/1000kg) <取組開始3年後に向けた指標> 30%(300kg/1000kg)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 7日

住 所 戸田市早瀬1-6-3

県内企業等の名称 センコー株式会社 埼玉南支店

代表者役職氏名 支店長 石田 元将

センコー株式会社 埼玉南支店

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

『「持続可能な環境・社会の実現」に貢献し、「グループの持続的な成長」を図るため、当社グループのもつ多様な事業を通じて、人と社会を「つなぐ」、新しい価値を届けることを目指します。』というセンコーグループサステナブル方針により、脱酸素、社会貢献を行い、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	業務連絡車(乗用車)の電気自動車化を推進する。 <(現状値)2022年の数値> 電気自動車への入替台数:0台(8台中0台)	<2030年に向けた指標> 3台 <取組開始3年後に向けた指標> 1台
社会	清掃活動を通じ、地域との共生を強化していく。 <(現状値)2022年の数値> 営業所周辺清掃活動:10回/年(のべ50人参加)	<2030年に向けた指標> 14回/年(のべ70人参加) <取組開始3年後に向けた指標> 12回/年(のべ60人参加)
経済	障害者雇用を地域の支援機関と協力して推進する。 <(現状値)2022年の数値> 障がい者雇用数:1人(1人/54人)	<2030年に向けた指標> 3人 <取組開始3年後に向けた指標> 2人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 8日
住 所 川越市大字牛子708番地1
県内企業等の名称 社会福祉法人誠豊会
代表者役職 氏名 理事長 沢田 誠

社会福祉法人誠豊会

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当法人は「あなたも生きる、わたしも生きる。」を理念に掲げ、福祉サービスの提供と地域社会との共助を通じて持続可能な福祉を目指しておりますが、この考えは長期的な視点の上に立つ「持続可能な開発目標(SDGs)」と親和性が高いことから、福祉といった狭義(直接貢献)に留まることなく、社会の一員として未来を見据え社会が抱える諸課題解決への対応に当法人の強みと潜在能力を活かして大局的な視点で多角的に取り組むこと(間接貢献)でSDGs目標達成に寄与できるよう努力して参ります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	設備の更新を順次行い、使用エネルギー量を削減するとともにCO2排出量削減を図る。 <(現状値)2022年度の数値> ①原油換算エネルギー使用量:約234KL/年 ②CO2排出量:約519t-CO2/年	<2030年に向けた指標> ①10%(約24KL)削減 ②10%削減(約52t-CO2)削減 <取組開始3年後に向けた指標> ①5%(約12KL)削減 ②5%削減(約26t-CO2)削減
社会	生涯学習の場として子供から高齢者まで幅広い年齢層の方々への施設開放を実施する。 <(現状値)2022年度の数値> ①学生の社会体験・実習受入:延べ4名 ②ボランティア活動受入:延べ71名	<2030年に向けた指標> ①延べ30名/年 受入 ②延べ300名/年 受入 <取組開始3年後に向けた指標> ①延べ15名/年 受入 ②延べ150名/年 受入
経済	職員の働き方改善の一環として時間単位有給休暇取得制度を導入するなどして有給休暇取得率の向上を図る。 <(現状値)2022年の数値> 有給休暇平均取得日数:14.45日/年	<2030年に向けた指標> 20日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 18日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 2日
住 所 新座市野火止3-5-22
県内企業等の名称 有限会社 丸並商会
代表者役職氏名 代表取締役 並木 祐太

有限会社 丸並商会

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「お客様へ安心と感動を与える企業を目指します」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保全の観点から、コピー用紙の使用枚数を削減する。 <(現状値)2022年の数値> コピー用紙使用枚数:7,607枚/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 40%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 20%削減
社会	社会貢献活動として地域のボランティア活動に参加する。また、交通事故防止のため、社員への定期的な交通指導研修を実施する。 <(現状値)2022年の数値> ①ボランティア活動参加回数:5回/年(のべ10人参加) ②研修実施件数:0回/年	<2030年に向けた指標> ①10回/年(のべ20人参加) ②5回/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①7回/年(のべ14人参加) ②1回/年
経済	地域活性化に貢献する為、地域の取引先を増やす。 <(現状値)2022年の数値> 県内企業との取引件数:2社(累計)	<2030年に向けた指標> 8社(累計) <取組開始3年後に向けた指標> 4社(累計)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 7日
住 所 さいたま市南区根岸5-16-6
県内企業等の名称 埼玉ダイハツ販売株式会社
代表者役職氏名 代表取締役 田中 英穂

埼玉ダイハツ販売株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

自動車販売会社の当社は経営理念の1つ『会社の成長と地域への貢献』を掲げ、社員一同、環境への配慮や地域貢献をモットーに県内28店舗の店長をはじめスタッフ一人一人が事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	自社板金工場の塗料を油性から水性に変更する。 <(現状値)2022年の数値> 水性塗料使用率50%(塗料は切り替え済) (クリア塗装の塗料を油性から水性化)	<2030年に向けた指標> 100% <取組開始3年後に向けた指標> 75%
社会	自立した生活を地域と連携しサポートするため、高齢者運転講習体験教室を開催する。また、店舗周辺の清掃活動を実施する。 <(現状値)2022年の数値> ①体験教室開催数:0回/年(のべ0人参加) ②実施回数:24回/年(スタッフ700人参加)	<2030年に向けた指標> ①4回/年(のべ80人参加) ②276回/年(800人参加) <取組開始3年後に向けた指標> ①2回/年(のべ40人参加) ②48回/年(750人参加)
経済	安心・安全・便利な地域密着のカーシェア導入施設を増加させるとともに、福祉車両の配備を進める。 <(現状値)2022年の数値> ①カーシェア導入店舗数:12店舗 ②福祉車両の設置台数:1台	<2030年に向けた指標> ①29店舗+外部ステーション ②10台 <取組開始3年後に向けた指標> ①28店舗 ②5台

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 8日

住 所 さいたま市桜区南元宿2-32-13

県内企業等の名称 株式会社四ツ葉工業

代表者役職 氏名 代表取締役 大榮 淳

株式会社四ツ葉工業

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「安心・安全・信頼」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献します。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)の目指す方向と同じであり、社員一人一人が当社の掲げた理念に根差した行動をすることでSDGs達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	社内の印刷物等の削減・裏紙使用等リサイクルを行う。 <(現状値)2022年の数値> コピー用紙使用枚数:10,000枚/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 30%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 10%削減
社会	社会貢献活動の一環として、環境美化活動を実施する。 <(現状値)2022年の数値> 環境美化活動実施回数:0回/年(のべ0名参加)	<2030年に向けた指標> 12回/年 のべ100名参加 <取組開始3年後に向けた指標> 6回/年 のべ50名参加
経済	多様な働き方の推進として、男性の育児休暇取得を促進する。 <(現状値)2022年の数値> 男性社員の育児休暇取得率:7.1%(1人/14人)	<2030年に向けた指標> 100%(14人/14人) <取組開始3年後に向けた指標> 50%(7人/14人)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 8日
住 所 埼玉県さいたま市桜区道場2-13-32
県内企業等の名称 株式会社都平昆布海藻
代表者役職氏名 代表取締役 都平 浩司

株式会社都平昆布海藻 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「自分の子供にも安心して食べさせられる品質の商品を提供します」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献します。
資源の有効活用を行うことにより、食品廃棄物の削減に貢献し、循環型経済の促進に寄与しております。これらの事業活動を通じてSDGsの達成に貢献し、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでまいります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	製造工程上廃棄せざるを得なかった材料を再加工することにより、食品廃棄量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> 再加工率:5%(84kg/1,680kg)	<2030年に向けた指標> 100% <取組開始3年後に向けた指標> 50%
社会	ChatGPTや食品規格書作成ソフトの導入、生産管理のシステム化等ITの積極的導入により原価計算や在庫管理業務の作業時間の短縮をはかるとともに超過労働時間の削減を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①作業時間:60時間/月 ②平均超過労働時間数:20時間/月	<2030年に向けた指標> ①36時間/月 ②12時間/月 <取組開始3年後に向けた指標> ①42時間/月 ②14時間/月
経済	埼玉県内の野菜メーカー(ごぼう屋、ネギ屋、ゆず屋、芋屋)などとコラボレーションし、廃棄食品をなくすための環境配慮型商品の製造・販売を積極的に行う。 <(現状値)2022年の数値> ①環境配慮型商品の開発商品数:3商品/年 ②地域事業者との取引数:3件/年	<2030年に向けた指標> ①8商品/年 ②6件/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①5商品/年 ②4件/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 5日
住 所 埼玉県久喜市本町5-5-18MKビル3階
県内企業等の名称 有限会社あいおい保険イースト
代表者役職氏名 代表取締役社長 関根 信仁

有限会社あいおい保険イースト はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

あいおい保険イーストでは、「地域の皆様に確かな安心と安全をお届けし地域の発展に貢献する」という理念のもと、社員一人ひとりが事業活動を取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	印刷用紙に関して裏紙の利用やペーパーレスでの対応を行い、コピー用紙の使用枚数を削減します。 <(現状値)2022年の数値> コピー用紙使用枚数:100,000枚/年	<2030年に向けた指標> 70,000枚/年 <取組開始3年後に向けた指標> 90,000枚/年
社会	社会貢献活動として、ベルマークを回収して地域の教育施設に寄付をします。 <(現状値)2022年の数値> ベルマーク:500点寄付	<2030年に向けた指標> ベルマーク:30,000点/年 <取組開始3年後に向けた指標> ベルマーク:10,000点/年
経済	ハザードマップを活用した保険提案で地域の災害リスクの周知と防災に貢献します。 <(現状値)2022年の数値> 保険提案回数:30回/年	<2030年に向けた指標> 300回/年 <取組開始3年後に向けた指標> 100回/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 7日
住 所 草加市新里町633番地
県内企業等の名称 首都圏コンクリート株式会社
代表者役職氏名 代表取締役社長 森 厚

首都圏コンクリート株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「信用を重んじ誠実を旨とし、常に良き品質を追求し技術の研鑽に努める」「時代の変化に応じた事業展開を図り、製品責任を果たすことにより社会に貢献する」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組みることにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	事業活動による産業廃棄物排出量の削減を目指す。 <(現状値)2022年の数値> 産業廃棄物排出量:12,700t/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 30%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 15%削減
社会	地域の学童や家族を招いて工場見学やその他イベントを実施する。道路清掃車による事業所周辺の清掃など環境美化活動を強化する。 <(現状値)2022年の数値> ①工場見学等実施回数:0回/年(のべ0人) ②美化活動実施回数:10回/年(のべ10人)	<2030年に向けた指標> ①3回/年(のべ30人) ②20回/年(のべ30人) <取組開始3年後に向けた指標> ①2回/年(のべ20人) ②15回/年(のべ20人)
経済	多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者など)が活躍する機会をこれまで以上に広げ、積極的に雇用する <(現状値)2022年の数値> ①女性の管理職割合:5%(1人/18人) ②外国人、障がい者、高齢者(65歳以上)の雇用割合:22%(4人/18人)	<2030年に向けた指標> ①15%(3人/20人) ②30%(6人/20人) <取組開始3年後に向けた指標> ①10%(2人/20人) ②25%(5人/20人)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和5年6月8日
住 所 埼玉県川口市元郷1-29-17
県内企業等の名称 元郷塗装工業株式会社
代表者役職氏名 代表取締役 西澤 政芳

元郷塗装工業株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

「共存共栄の誠心の基、社会に貢献できるという自信を持って、経営に取り組むため、現状に甘えず驕らず、常に日々改善し、一步一步前へ進んでいく」という経営理念に基づき、社員一人ひとりが柔軟な対応力を持ちオンラインのサービス提供をすることで、常に一步先を見据えた「攻める」モノづくりに挑戦し、SDGsの達成に向け貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	工場が発生する排水を中和し、排水のクリーン化(水質改善)に努める。 <(現状値)2022年の数値> BOD(生物化学的酸素):1.2mg/l	<2030年に向けた指標> 2022年比 25%減少 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 16.6%減少
社会	効率の良い作業の見直しを行い、従業員のプライベート充実を目指す。 <(現状値)2022年の数値> 平均時間外労働時間:18時間/月	<2030年に向けた指標> 2022年比 30%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 10%削減
経済	未来の地球環境を守るため、自社で排出する廃棄物の削減やリサイクル等の活動に努める。 <(現状値)2022年の数値> ①ゴミ処理費用:248千円/年 ②廃棄物発生量:117t/年	<2030年に向けた指標> ①2022年比 10%削減 ②105t/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①2022年比 5%削減 ②111t/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 8日
住 所 埼玉県入間市牛沢町5番1号
県内企業等の名称 株式会社 宮崎土建工業所
代表者役職氏名 代表取締役 宮崎 正文

株式会社 宮崎土建工業所

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、お客様の信頼と満足を得られるように努め、地域社会の発展に貢献できるように取り組み、常に社会から必要とされるよう取り組んでいます。また、「土・水・人にやさしい環境を目指して」の当社理念に基づき、事業活動に取り組むことにより、SDGs達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	地球温暖化対策に貢献するため、CO2排出量の削減を図る。 <(現状値)2022年の数値> CO2排出量:8323.72kg/年	<2030年に向けた指標> 6242.79kg/年(2022年比 25%削減) <取組開始3年後に向けた指標> 7491.38kg/年(2022年比 10%削減)
社会	参加企業を増やす呼びかけ等を行いながら、社会貢献活動(ロードサポート、川の国応援団)の継続をしていく。 <(現状値)2022年の数値> 参加人数:20名(のべ6社)	<2030年に向けた指標> 35名(のべ8社) <取組開始3年後に向けた指標> 25名(のべ7社)
経済	職場環境の整備のため、時間外労働の削減を図る。 <(現状値)2022年の数値> 平均時間外労働時間:33.1時間/月	<2030年に向けた指標> 27時間/月 <取組開始3年後に向けた指標> 30時間/月

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 8日

住 所 狭山市入間川1-1-54

県内企業等の名称 西武通運株式会社

代表者役職 氏名 代表取締役社長 鳥居 伸雄

西武通運株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は『お客様第一主義』をモットーとしており、今後もその企業姿勢に基づいて活動することで地域とお客様の発展に寄与し、持続可能な社会にの実現に貢献する。また、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことでSDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	物流倉庫の空調等、電力負荷の高い設備の省エネ化を行い、電力使用量及びCO2排出量の削減を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①電力使用量:327,068kwh/年 ②CO2排出量80,459Kg-CO2/年	<2030年に向けた指標> ①2022年比 15%削減 ②2022年比 45%削減 <取組開始3年後に向けた指標> ①2022年比 5%削減 ②2022年比 20%削減
社会	地域活動の貢献の一つとして、狭山市で行われる行事に寄付を行う。 <(現状値)2022年の数値> 寄付金額:0回・0円/年	<2030年に向けた指標> 2回・100,000円/年 <取組開始3年後に向けた指標> 1回・10,000円/年
経済	働きやすい職場環境を整える一環として、60歳以上の高齢者雇用を積極的に進める。 <(現状値)2022年の数値> 高齢者雇用数:29人/130人(22.3%)	<2030年に向けた指標> 40人 <取組開始3年後に向けた指標> 34人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 8日
住 所 埼玉県三郷市三郷3-16-2
県内企業等の名称 株式会社 トーサイ
代表者役職 氏名 代表取締役社長 柏原 哲郎

株式会社 トーサイ はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

1966年(昭和41年)の設立以来、地元埼玉県に本社を置き半世紀以上、自動車販売業を営んでまいりました。
そして「お客様、社員、社会に必要とされる企業の創造」を企業理念に、新しい令和の時代もお客様、地域社会に貢献していけるよう社員一同感謝の心を大切に運営しております。
このような経営方針は国連が採択した「持続可能な開発目標(SDGs)」に通ずるものと考え、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献してまいります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	温室効果ガス削減に向け、エネルギー使用量を削減するとともに、紙使用量の削減を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①エネルギー使用量:55,000kwh/年 ②コピー用紙使用数:96,660枚/年	<2030年に向けた指標> ①53,000kwh/年 ②82,000枚/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①54,000kwh/年 ②87,000枚/年
社会	地域との交流やパートナーシップ構築に向け、社員参加型の社会貢献活動に取り組む。 <(現状値)2022年の数値> ①清掃活動実施回数:1回/年(のべ1人参加) ②ベルマーク収集:0点/年	<2030年に向けた指標> ①2回/年(のべ6人参加) ②1,200点/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①2回/年(のべ2人参加) ②500点/年
経済	ディーセントワークの実現や積極的な高齢者雇用に取り組むことで地域社会の活性化に貢献する。 <(現状値)2022年の数値> ①健康経営優良法人認定:未認定 ②高齢者(65歳以上)雇用:0人/10人	<2030年に向けた指標> ①健康経営優良法人ブライツ500に認定 ②2人 <取組開始3年後に向けた指標> ①健康経営優良法人に認定 ②1人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5 年 6 月 8 日

住 所 埼玉県入間市宮寺3283-1 長武ビル1F

県内企業等の名称 日伸商事株式会社

代表者役職 氏名 代表取締役 光井 聡子

日伸商事株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「お客様のパートナーとして共に成長し、必要とされる企業を目指します」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献し、また社員にとって楽しく働きがいがあることを目指す。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境改善の為、環境配慮型車両を社用車に導入する。 <(現状値)2022年の数値> ①環境配慮型車両導入率:0%(0台/1台) ②平均燃費:16.8km/ℓ	<2030年に向けた指標> ①100%(2台/2台)②26km/ℓ <取組開始3年後に向けた指標> ①50%(1台/2台)②21km/ℓ
社会	地域社会への貢献として、歩道や空き地の缶やゴミの掃除と“NPO法人フードバンクいるま”への支援を行う。 <(現状値)2022年の数値> ①清掃活動実施回数:1回/年(のべ1人参加) ②寄付金額:1万円/年	<2030年に向けた指標> ①3回/年(のべ9人参加) ②3万円/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①2回/年(のべ4人参加) ②2万円/年
経済	シニアの雇用促進と在宅ワークの導入を行う。 <(現状値)2022年の数値> ①シニア(65才以上)割合:40%(2人/5人) ②在宅ワーク導入割合:20%(1人/5人)	<2030年に向けた指標> ①70%(4人/6人) ②50%(3人/6人) <取組開始3年後に向けた指標> ①60%(3人/5人) ②40%(2人/5人)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 8日
住 所 埼玉県川口市東領家2-17-19
県内企業等の名称 株式会社ケミスター
代表者役職氏名 代表取締役 木村睦

株式会社ケミスター はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は最新の技術を結集し環境に配慮した製品・設備を提供することで、お客様は勿論、地域社会からの信頼獲得を重要と考えている。
この考え方にに基づき、社員一人一人が自分事として事業活動に取り組み、SDGs達成に向け行動していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護のため、エネルギー使用量の削減に取り組む。 <(現状値)2022年の数値> エネルギー使用量:10,000kwh/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 15%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 10%削減
社会	社会奉仕活動として、清掃活動を実施する。 <(現状値)2022年の数値> 清掃活動実施回数:48回/年(のべ96人参加)	<2030年に向けた指標> 72回/年(のべ144人参加) <取組開始3年後に向けた指標> 60回/年(のべ120人参加)
経済	従業員の年次休暇取得日数と男性の育児休暇取得率を増加させる。 <(現状値)2022年の数値> ①年次休暇平均取得日数:5日/年 ②育児休暇取得率:0%(0人/0人)	<2030年に向けた指標> ①15日/年 ②100% <取組開始3年後に向けた指標> ①10日/年 ②70%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和5年6月8日
住 所 入間市狭山ヶ原櫻木243
県内企業等の名称 株式会社ジャパンアート
代表者役職氏名 代表取締役 吉田 弘

株式会社ジャパンアート はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「誠意・信頼・実力」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、エネルギー使用量の削減を図る。 <(現状値)2022年の数値> 電気使用量:137,280kwh/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 20%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 10%削減
社会	地域の子供たち向けに就業体験を実施する。 <(現状値)2022年の数値> 就業体験実施回数:0回/年(のべ0人参加)	<2030年に向けた指標> 8回/年(のべ80人参加) <取組開始3年後に向けた指標> 3回/年(のべ30人参加)
経済	地元経済の活性化のため、地域の事業者との取引を増やす。 <(現状値)2022年の数値> 地域事業者との取引件数:3者(累計)	<2030年に向けた指標> 11者(累計) <取組開始3年後に向けた指標> 6者(累計)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 8日
住 所 埼玉県和光市下新倉5-22-50
県内企業等の名称 有限会社田村商店
代表者役職氏名 代表取締役 阿曾 敏晃

有限会社田村商店

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、金属スクラップのリサイクル業を行い、資源循環型社会の構築と、CO2排出量の削減を目指し、社会に貢献する。この考えは持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員全員が誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO2削減のため環境に配慮した重機・車両への切り替えを行い、燃料の使用量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> ①環境配慮重機・車両割合:0%(0台/10台) ②軽油使用量:154,000ℓ/年	<2030年に向けた指標> ①30%(3台/10台) ②126,560ℓ/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①10%(1台/10台) ②146,720ℓ/年
社会	社員参加の社会貢献活動として、自治体・学校・子ども食堂への寄付活動と地域の清掃活動を行う。 <(現状値)2022年の数値> ①寄付額:55万円/年 ②美化活動参加回数:50回/年(延べ200人)	<2030年に向けた指標> ①80万円/年 ②50回/年(延べ400人) <取組開始3年後に向けた指標> ①65万円/年 ②50回/年(延べ300人)
経済	多様な人材が活躍できる社会の実現のため、外国人雇用者数を増加させる。 <(現状値)2022年の数値> 外国人雇用者数:9人(25人中9人)	<2030年に向けた指標> 15人 <取組開始3年後に向けた指標> 13人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 8日
住 所 川越市広栄町4-16
県内企業等の名称 川木建設株式会社
代表者役職氏名 代表取締役 鈴木健二

川木建設株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、企画・設計から、施工・アフターサービスなど、全てのシーンや部署において、SDGsの目標達成に向けた取り組みを推進していきます。建設業界の一員である当社が、この取り組みを積極的に進めることは、持続可能な街づくり、家づくり、ひいては“持続可能な人々の暮らし”をつくるうえで、重要な責務であると捉え、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	アイドリングストップ、エコ運転を推進しCO2排出量削減、環境配慮車両の使用率を高める。 <(現状値)2022年の数値> ①環境配慮車率:12%(4台/33台) ②平均燃費:10km/L	<2030年に向けた指標> ①80% ②15km/L <取組開始3年後に向けた指標> ①20% ②12km/L
社会	建設時に発生する木材の端材を地域の皆様へ提供し、破棄量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> ①端材提供:12回/年 ②提供量:450kg/年	<2030年に向けた指標> ①24回/年 ②900kg/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①18回/年 ②680kg/年
経済	BIM(ビルディング・インフォメーション・システム)活用し、業務効率化を図る。ZEH住宅の建築を推進し、CO2排出量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> ①BIM施工物件率:0%(0棟/0棟) ②ZEH住宅の建築数:1棟(累計)	<2030年に向けた指標> ①50%(8棟/16棟) ②10棟 <取組開始3年後に向けた指標> ①20%(2棟/10棟) ②3棟

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 9日

住 所 入間市東藤沢2-15-5

県内企業等の名称 株式会社KJネクストグループ

代表者役職氏名 代表取締役 鈴木 健之

株式会社KJネクストグループ

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

弊社は「新しい時代、新しいカタチの総合商社」という理念を掲げております。その中の事業の一つとして、味や品質に問題は無いが、見た目やサイズを理由に廃棄されている青果を販売する、というビジネスを行っております。それにより、農家の方々の助けになり、日本の食料自給率の向上・食料廃棄問題の改善につながると確信しております。また並行して、弊社の運営するECサイトでのオンライン販売も取り入れていくことで、食料廃棄問題の改善に追い風を吹かせることと考えています。持続可能な開発目標(SDGs)は、当社の考えと同趣旨であることから大いに賛同し、SDGsの達成に貢献致します。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	各種書類を再生紙に変更、集約コピー、両面印刷の活用等の取組を進め、業務のペーパーレス化に取り組む。 ＜(現状値)2022年の数値＞ コピー用紙使用量:60,000枚/年	＜2030年に向けた指標＞ 2022年比 15%削減 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 2022年比 10%削減
社会	多様な人材が働ける職場づくりの推進の一環として、障害者雇用数の増加に努める。 ＜(現状値)2022年の数値＞ 障害者雇用数:0人(0人/30人)	＜2030年に向けた指標＞ 3人 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 1人
経済	女性の管理職登用と女性雇用を積極的に進めていく。 ＜(現状値)2022年の数値＞ ①女性の管理職数:0人(0人/5人) ②女性従業員数:10人(10人/30人)	＜2030年に向けた指標＞ ①3人 ②15人 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ ①1人 ②12人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 8日
住 所 埼玉県比企郡川島町大字正直595
県内企業等の名称 株式会社 利根川建設
代表者役職 氏名 代表取締役 利根川 博

株式会社 利根川建設 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社の主な事業は地域に密着したインフラ整備であり、災害の防止に努めることにより地域の発展に貢献するものだと考えております。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向をめざすものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	エコアップ認証制度の活動を継続して行い、CO2排出量を削減し地球温暖化の防止に貢献する。 <(現状値)2022年の数値> CO2排出量36.2 t-CO2/年 (令和4年度エコアップ認証制度数値)	<2030年に向けた指標> 2022年比 3%減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 1%減
社会	彩の国ロードマップの活動において、社会貢献活動を実施し、地域の環境美化に貢献する。 <(現状値)2022年の数値> 美化活動実施回数:4回/年(のべ18人)	<2030年に向けた指標> 美化活動12回/年(のべ48人参加) <取組開始3年後に向けた指標> 美化活動6回/年(のべ24人参加)
経済	多様な働き方の推進として、年間休日数の増加を図る。 <(現状値)2022年の数値> 4週8休の割合:25%(3ヶ月/12ヶ月)	<2030年に向けた指標> 100% <取組開始3年後に向けた指標> 50%(6ヶ月/12ヶ月)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 8日
住 所 さいたま市桜区西堀2-21-4
県内企業等の名称 株式会社DIGプライミング
代表者役職 氏名 代表取締役 伊藤 大介

株式会社DIGプライミング はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「お客様を満足させるための誠心誠意の心、どんなチャンスも逃さない柔軟な心、Noと言わない心」でお客様と共に発展を目指し社会に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員一人一人が誠実をもって事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	DXを推進しペーパーレス化を図る。 <(現状値)2022年の数値> コピー用紙使用枚数:168,000枚/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 20%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 10%削減
社会	社会貢献活動として、ごみ拾いやボランティアなどに参加する。 <(現状値)2022年の数値> 地域活動参加回数:0回/年(のべ0人参加)	<2030年に向けた指標> 3回/年(のべ12人参加) <取組開始3年後に向けた指標> 1回/年(のべ4人参加)
経済	働きがいのある労働環境を確保するため、有給休暇取得日数の向上を目指す。 <(現状値)2022年の数値> 有給休暇平均取得日数:5日/年	<2030年に向けた指標> 10日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 8日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 6日
住 所 埼玉県所沢市下安松779
県内企業等の名称 土方造園株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役 土方芳夫

土方造園株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

外国人労働者の積極的な雇用を推進するなど、働きやすい環境、生活水準の向上、造園業を基盤に環境面に配慮していく事により、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	産業廃棄物の再利用を行い、廃棄物の発生量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> ①産業廃棄物発生量:100kg/年 ②再利用:15%(15kg/100kg)	<2030年に向けた指標> ①80kg/年 ②50%(40kg/80kg) <取組開始3年後に向けた指標> ①90kg/年 ②25%(22.5kg/90kg)
社会	地元イベントへ積極的に参加・協賛する。 <(現状値)2022年の数値> ①イベントへの協賛回数:0回/年 ②イベント参加人数:0人/年	<2030年に向けた指標> ①10回/年 ②20人/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①5回/年 ②10人/年
経済	多様な人材の雇用を促進する。 <(現状値)2022年の数値> ①外国人従業員数:7人/26人 ②高齢者(60歳以上)従業員数:2人/26人	<2030年に向けた指標> ①15人 ②5人 <取組開始3年後に向けた指標> ①10人 ②4人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6 月 9 日
住 所 さいたま市南区沼影 1-11-1
県内企業等の名称 高田製薬株式会社
代表者役職氏名 代表取締役社長 高田浩樹

高田製薬株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、「飲みやすく 使いやすい くすり」を提供することで、患者さんや医療関係者に貢献するとともに、企業倫理と透明性の維持を図り、地域社会の発展に寄与し、地球環境を守ることで、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	全事業所・営業所にて発生する温室効果ガス排出量(Scope1, Scope2)について削減を図る。 <(現状値)2021年の数値> 温室効果ガス排出量:14,324t-Co2/年 (Scope1、Scope2合算)	<2030年に向けた指標> 8,308t-CO2/年 (2021年比 42%削減) <取組開始3年後に向けた指標> 11,660t-CO2/年 (2021年比 18.6%削減)
社会	従業員の年次有給休暇取得率向上を図るとともに、社会貢献活動の一環として寄贈活動を積極的に実施する。 <(現状値)2022年数値> ①有給休暇平均取得率:73.6%(取得日数/付与日数) ②寄贈活動:0団体(現状は実施なし)	<2030年に向けた指標> ①80%以上の維持 ②3団体(5回/年) <取組開始3年後に向けた指標> ①80% ②2団体(3回/年)
経済	環境に配慮した原材料を用いた製品を開発する <(現状値)2022年の数値> 製品化件数:0件(累計)	<2030年に向けた指標> 2件(累計) <取組開始3年後に向けた指標> 1件(累計)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 8日
住 所 比企郡滑川町羽尾3690-5
県内企業等の名称 Puntalto
代表者役職 氏名 代表 高橋祥子

Puntalto

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当店は、開発途上国であるホンジュラスの産業を応援する目的でダイレクトトレードを実施し、地元を基盤に広めていくことを目指している。さらに地域の障がい者の活動と結びつけ、双方に喜んでもらえる活動は、「持続可能な開発目標(SDGs)の理念に合致するものであり、当店の経営理念である。このような活動に誠実に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	食品ロスを削減することでごみの量を削減するとともに、コーヒーかすのごみの肥料化を進める。 <(現状値)2022年の数値> ①ごみの量:20Kg/年 ②コーヒーかす肥料化率:10%	<2030年に向けた指標> ①16kg/年 ②90% <取組開始3年後に向けた指標> ①18kg/年 ②50%
社会	社員のQOL向上のため、アルバイト職員の時給を向上させる。 <(現状値)2022年の数値> アルバイト職員の平均時給:1,000円	<2030年に向けた指標> 2022年比 20%増 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 10%増
経済	フェアトレード先の取引(コーヒー豆)と障がい者アートを採用したパッケージ商品の販売を増加させる。 <(現状値)2022年の数値> ①フェアトレード輸入量:2トン/年 ②商品販売額:0円/年	<2030年に向けた指標> ①2022年比 50%増 ②200万円/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①2022年比 5%増 ②100万円/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 9日

住 所 埼玉県吉川市中央2-10-11

県内企業等の名称 株式会社ルーポコーポレーション

代表者役職 氏名 代表取締役 三田 弘子

株式会社ルーポコーポレーション

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は企業理念である「人と街の快適な環境づくりに貢献する」に基づき環境保全を推進し、法令、規則、協定を順守し地域社会に貢献していく。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献します。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、LED化の導入により電気エネルギー使用量を削減する。 <2022年の数値> ①電気エネルギー使用量:1,967kWh/年 ②LED化率:50%(10室/20室)	<2030年に向けた指標> ①2022年比 9%削減 ②LED化率:100%(20室/20室) <取組開始3年後に向けた指標> ①2022年比 3%削減 ②LED化率:70%(14室/20室)
社会	社員参加型の美化活動により、社会貢献活動を推進する。また、地元のお祭りを支援・参加する。 <2022年の数値> ①吉川市道路里親制度:2回/年(のべ12人参加) ②参加回数:1回/年 寄付金額:1万円/年	<2030年に向けた指標> ①4回/年(のべ20人参加) ②1回/年 2万円/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①3回/年(のべ15人参加) ②1回/年 1.5万円/年
経済	働きがいと経済成長の両立のため、従業員の時間外労働の削減と年次有給休暇取得推進に努める。 <2022年の数値> ①平均時間外労働時間:40時間/月 ②平均年次有給休暇取得日数:5日/年	<2030年に向けた指標> ①30時間/月 ②10日/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①35時間/月 ②7日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 9日

住 所 本庄市下野堂642

県内企業等の名称 児玉化学工業株式会社 埼玉工場

代表者役職 氏名 埼玉工場長 木暮達人

児玉化学工業株式会社 埼玉工場

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は「時代のニーズに速やかに応えるための機敏な対応と、グローバルな視点で独創的な開発システムにより、プラスチックの可能性を追求し、いつもお客様の信頼に値する製品づくりに徹し、全てのステークホルダーに対し魅力ある企業であり続けること」という経営理念に基づき地域社会の発展に貢献する。この考えは持続可能な開発目標と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	3Rの推進などにより、エネルギー使用量の削減に取り組んでいる。また、再生可能エネルギーによる環境負荷低減を行っている。 <(現状値)2021年の数値> ①CO2排出量:12,400t/年 ②再生可能エネルギー使用率:6.7%	<2030年に向けた指標> ①2021年比 20%削減 ②10% <取組開始3年後に向けた指標> ①2021年比 10%削減 ②7.5%
社会	社内に支援型自動販売機を置くなどして『日本赤十字』『緑の募金』『赤い羽根の募金』へ寄付を行う。また、本庄市フードバンクへの食糧支援をする。 <(現状値)2022年の数値> ①寄付件数:10件/年 88,193円/年 ②食糧支援回数:0回/年	<2030年に向けた指標> ①15件/年 100,000円/年 ②2回/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①13件/年 95,000円/年 ②1回/年
経済	ワークライフバランスを意識した多様な働き方の推進として、社員の有給休暇取得を促進する。また、女性の管理職登用に積極的に取り組む。 <(現状値)2022年の数値> ①平均取得日数 12.3日/年 ②女性管理職 1人/10人	<2030年に向けた指標> ①16日/年 ②4人/10人 <取組開始3年後に向けた指標> ①13日/年 ②2人/10人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 9日
住 所 朝霞市本町1-15-29
県内企業等の名称 有限会社R・E・C
代表者役職氏名 代表取締役 辻 雅之

有限会社R・E・C

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、「責任を持つ仕事をし、努力し、優雅な生活をおくる会社」を社名の由来とし、質の高い管工事業を通して社会貢献している企業です。全国展開を視野に組織の発展を目指しながら、未来に向けた持続可能な社会を実現するための一員としてさまざまな取組を行うことにより、SDGsの達成に貢献してまいります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	ペーパーレス化を推進する取組として、紙資源や印刷資材を削減する。 <(現状値)2022年の数値> コピー用紙使用料:13,000枚/年	<2030年に向けた指標> 10%削減(2022年比) <取組開始3年後に向けた指標> 5%削減(2022年比)
社会	社会貢献活動の一環として、寄付を行う。 <(現状値)2022年の数値> 日本ユニセフ協会への寄付:36,000円/年	<2030年に向けた指標> 48,000円/年 <取組開始3年後に向けた指標> 42,000円/年
経済	多様な人材を活用する取組の一環として、外国人の雇用を拡大する。 <(現状値)2022年の数値> 外国人(技能実習生、特定技能外国人)の受入人数:8人/常勤従業員数19人	<2030年に向けた指標> 10人(2022年比 2人追加) <取組開始3年後に向けた指標> 9人(2022年比 1人追加)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 9日

住 所 さいたま市北区奈良町14-3

県内企業等の名称 株式会社 荇原製作所 北関東支社

代表者役職 氏名 支社長 吉田 英吾

株式会社 荇原製作所 北関東支社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

『技術で、熱く、世界を支える』というスローガンのもと、荇原グループは2030年に向けて解決・改善に取り組む「重要課題」を5つ設定しています。①持続可能な社会づくりへの貢献 ②進化する豊かな生活づくりへの貢献 ③環境マネジメントの徹底 ④人材の活躍促進 ⑤ガバナンスの更なる革新
荇原グループは事業活動を通じてこれらの解決に取り組むことで、社会・環境価値、経済価値の向上につながる成果を実現し、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、車両を環境配慮型車両に切り替える。 <(現状値)2022年の数値> ①環境配慮型車両導入率:76.7%(23台/30台) ②平均燃費:19.3km/L	<2030年に向けた指標> ①90%以上(27台/30台)②25.4km/L <取組開始3年後に向けた指標> ①85%以上(26台/30台)②21.4km/L
社会	地域社会への貢献として、彩の国ロードサポート制度による清掃活動を実施する。 <(現状値)2022年の数値> 彩の国ロードサポートによる清掃活動: 2回/年 のべ8人参加	<2030年に向けた指標> 6回/年 のべ24人参加 <取組開始3年後に向けた指標> 4回/年 のべ16人参加
経済	働き方改革の施策として、有給休暇の取得を促進する。 <(現状値)2022年の数値> 有給休暇平均取得日数:16日/年	<2030年に向けた指標> 18日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 17日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 9日
住 所 埼玉県深谷市小前田1921
県内企業等の名称 日本アイディーシステム株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役 柴崎 要

日本アイディーシステム株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は「信頼性、高精度の製品を短納期で安価に」という経営理念に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向性を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、LED化を図る等により、電気使用量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> ①電気使用量:21,169kwh/年 ②LED化比率:20%(1棟/5棟)	<2030年に向けた指標> ①2022年比 10%削減 ②80%(4棟/5棟) <取組開始3年後に向けた指標> ①2022年比 3%削減 ②40%(2棟/5棟)
社会	社会貢献活動の一環として、地域の特別養護施設へ寄付をする。 <(現状値)2022年の数値> 寄付金額:0円/年	<2030年に向けた指標> 100,000円/年 <取組開始3年後に向けた指標> 50,000円/年
経済	多様な人材雇用を推進するため、高齢者(60歳以上)の雇用に積極的に取り組む。 <(現状値)2022年の数値> 高齢者雇用比率:10%(3名/30名)	<2030年に向けた指標> 20% <取組開始3年後に向けた指標> 15%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 9日
住 所 埼玉県三郷市彦成1丁目100番地
県内企業等の名称 一般社団法人さんぴこ保育園
代表者役職 氏名 代表理事 美田 智幸

一般社団法人さんぴこ保育園 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当法人は経営理念である「職員一人ひとりの人間力向上を目指して」「子ども・保護者と共に成長できる保育園を目指して」に基づき、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、職員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	DX化を進めペーパーレス化を推進する。 <(現状値)2022年の数値> コピー用紙使用枚数:144,882枚/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 30%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 10%削減
社会	社会貢献活動として、地域の子どもの安全な遊び場の提供や子育て相談の機会を設けるために、園庭解放を実施する。 <(現状値)2022年の数値> 園庭開放の実施回数:1回/年	<2030年に向けた指標> 6回/年 <取組開始3年後に向けた指標> 5回/年
経済	多様な人材が活躍できる社会づくりの推進として、高齢者(65歳以上)の採用に積極的に取り組んでいく。 <(現状値)2022年の数値> 高齢者従業員数:3人/70人	<2030年に向けた指標> 6人 <取組開始3年後に向けた指標> 4人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 9日
住 所 埼玉県蓮田市井沼620-26
県内企業等の名称 有限会社ミトミ
代表者役職氏名 代表取締役 須戸 敏之

有限会社ミトミ

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

有限会社ミトミは、金属プレス加工品を取り扱う製造業者として「誰もが働きやすく明るい職場」を意識し、地域社会への貢献や経済の発展へ向けた活動を全社員で取り組むことにより、SDGsの達成に向け努力していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	適正な仕入・在庫管理体制を整備することで、企業活動で発生する金属廃材「新断」の年間廃棄量を減らす。 ＜(現状値)2022年の数値＞ 「新断」廃棄量:42,020kg/年	＜2030年に向けた指標＞ 30,000kg/年 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 37,500kg/年
社会	積極的なDX化及び日中業務の生産性向上に努め、残業時間の削減と有給休暇の取得しやすい環境を整える。 ＜(現状値)2022年の数値＞ 平均所定外労働時間数:20時間/月	＜2030年に向けた指標＞ 10時間/月 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 15時間/月
経済	埼玉県蓮田市近隣エリアの地場業者との取引を積極的に拡大し、地域社会の発展に寄与する。 ＜(現状値)2022年の数値＞ 蓮田市近隣エリアの取引会社数:3社	＜2030年に向けた指標＞ 10社(累計) ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 6社(累計)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 9日
住 所 越谷市東越谷7-31-3
県内企業等の名称 池中建設株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役社長 中島也一

池中建設株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「元気・熱意・創作をもって高品質な工事と再生エネルギーの利用促進で社会に貢献する」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	書類のDX化による印刷物、コピー物の削減、バイオマス発電使用量を向上する。 <(現状値)2022年の数値> ①コピー用紙使用枚数:150,000枚/年 ②バイオマス発電使用率: 15%(9,900kwh/66,000kwh)	<2030年に向けた指標> ①2022年度比 25%削減 ②19% <取組開始3年後に向けた指標> ①2022年度比 10%削減 ②17%
社会	IT導入により残業時間を削減する。 <(現状値)2022年の数値> 平均所定外労働時間:25時間/月	<2030年に向けた指標> 20時間/月 <取組開始3年後に向けた指標> 22時間/月
経済	地域活性化のため、地域事業者との取引を増加させる。 <(現状値)2022年の数値> 地域業者との新規取引案件数:105件	<2030年に向けた指標> 2022年度比 25件増 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年度比 10件増

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 9日
住 所 上里町大字嘉美448
県内企業等の名称 東和建設株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役 小林和江

東和建設株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社の経営理念「社員一同が、皆、安全で幸せであること」に基づき、まず、社員の健康面への配慮と管理、促進、改善により、良い職場環境を保持することから、社内外へと目を向け「地域貢献、社会貢献」に発展させていくことで、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	ペーパーレス化を推進し、紙使用量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> コピー用紙使用枚数:72,000枚/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 50%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 20%削減
社会	社会・地域貢献の推進、雇用につながる交流会を実施する。 <(現状値)2022年の数値> ①ロードサポート活動:4回/年(のべ20人) ②フードBankの寄付活動:0回/年 ③会社見学会:0回/年(のべ0人)	<2030年に向けた指標> ①12回/年(のべ60人参加) ②2回/年 ③2回/年(のべ20人) <取組開始3年後に向けた指標> ①6回/年(のべ30人参加) ②1回/年 ③1回/年(のべ10人)
経済	事業発展のための人材育成や雇用促進に努める。 <(現状値)2022年の数値>	<2030年に向けた指標> ①2名/2名 ②2名 <取組開始3年後に向けた指標> ①1名/2名 ②1名

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 9日
住 所 久喜市久喜北1-10-17
県内企業等の名称 株式会社 トミタモータース
代表者役職 氏名 代表取締役 富田 英則

株式会社 トミタモータース はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社の経営理念である『お客様の喜びや社員の幸せ作りや御取引先との共存共栄』に基づき、社会に貢献出来る企業になることで、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護のため、エコカーの導入、パー パーレス化の推進に取り組む。 <(現状値)2022年の数値> ①エコカー導入率:0%(0台/10台) ②平均燃費:12km/L ③コピー用紙使用枚数:70,000枚/年	<2030年に向けた指標> ①80%(18台/23台) ②20km/L ③2022年比 5 0%削減 <取組開始3年後に向けた指標> ①50%(12台/23台) ②15km/L ③2022年比 20%削減
社会	働き方改革のため、社員の有給休暇の日 数を増加させる。 <(現状値)2022年の数値> 社員の有給休暇平均取得日数:6日/年	<2030年に向けた指標> 20日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 10日/年
経済	新規事業立ち上げによる社員の増員及び 育成を推進する。また、女性の活躍の場を 創生し、雇用数を増加させる。 <(現状値)2022年の数値> ①従業員数:19名 ②女性雇用者数:3名(3名/19名)	<2030年に向けた指標> ①30名 ②6名 <取組開始3年後に向けた指標> ①22名 ②5名

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年6月9日

住 所 さいたま市中央区上落合5-17-1 S-4タワー

県内企業等の名称 株式会社ICST

代表者役職氏名 代表取締役 横井博之

株式会社ICST

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「1. 医療・健康に関わる事業を通して安全・安心を提供し世界の人々の健康に貢献する。2. 海外企業とのグローバルな提携を通して健全な経済循環を自ら創造するインターナショナルな企業として社会貢献を行う。」及び「社是」**<「全ては医療の安全・安心へつながる製品とサービス提供へ！」**に基づき行動し、世界の社会経済循環を自ら創造し発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、全社員がICSTの事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境対策のため、社内のペーパーレス化を進めるとともに、エアコンの温度調節等により社内節電に努める。 <(現状値)2022年の数値> ①用紙使用量:48,000枚/年 ②電力使用量:12,564kwh/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 ①100%削減 ②20%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 ①50%削減 ②10%削減
社会	災害発生時のBCPを策定する。また、障害者雇用にも力を入れていく。 <(現状値)2022年の数値> ①BCP計画策定進捗率:10% ②障害者雇用人数:0人/43人(全従業員)	<2030年に向けた指標> ①100% ②3人 <取組開始3年後に向けた指標> ①50% ②1人
経済	多様な人材登用を推進するため、女性の管理職及び高齢者雇用人数の増加を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①女性の管理職割合:7%(2人/28人(正社員)) ②高齢者(60歳以上)の雇用比率:7%(2人/28人(正社員))	<2030年に向けた指標> ①35%(10人/28人) ②30%(8人/28人) <取組開始3年後に向けた指標> ①10%(3人/28人) ②10%(3人/28人)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 9日
住 所 さいたま市中央区上峰2-18-3-1
県内企業等の名称 株式会社 公絆
代表者役職氏名 代表取締役 太田奏子

株式会社 公絆

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬業務を通して、SDGsと密接に関わっています。組織として積極的に業務に取り組みながら、顧客に対しても再資源化を意識した情報提供並びに提案を行い、SDGsの達成に貢献して参ります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	ペーパーレス化を促進し、コピー用紙の使用量削減に努める。また、環境により配慮したPEFC認証のコピー用紙へ切替える。 <(現状値)2022年の数値> ①コピー用紙使用枚数:10,000枚/年 ②PEFC認証用紙の導入率:20%(2,000枚)	<2030年に向けた指標> ①3,000枚/年 ②100%(3,000枚) <取組開始3年後に向けた指標> ①5,000枚/年 ②50%(2,500枚)
社会	社会貢献活動の一環として、事業所周辺地域の美化活動を実施する。 <(現状値)2022年の数値> 美化活動実施回数:0回/年(のべ0人参加)	<2030年に向けた指標> 3回/年(のべ15人参加) <取組開始3年後に向けた指標> 1回/年(のべ5人参加)
経済	従業員のQOL向上を図るため、年間休日増加を実施する。 <(現状値)2022年の数値> 年間休日数:108日/年	<2030年に向けた指標> 118日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 111日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 9日
住 所 埼玉県熊谷市問屋町2-5-5
県内企業等の名称 株式会社藤沢商事
代表者役職氏名 代表取締役社長 藤沢貞彦

株式会社藤沢商事

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「食生活と健康」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。
この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員一人一人が誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	エネルギー使用量の削減及び再生エネルギーの利用率向上を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①エネルギー使用量:19,800kwh/年 ②再生可能エネルギー利用率:0%	<2030年に向けた指標> ①2022年比 20%削減 ②10% <取組開始3年後に向けた指標> ①2022年比 10%削減 ②5%
社会	地域貢献のため、街の美化活動への参加を行う。 <(現状値)2022年の数値> 美化活動実施回数:1回/年(のべ10人参加)	<2030年に向けた指標> 3回/年(のべ50人参加) <取組開始3年後に向けた指標> 2回/年(のべ30人参加)
経済	多様な人材雇用の推進として、女性管理職の割合及び女性従業員数の増加を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①女性の管理職割合:5%(1人/16人) ②女性従業員数:16人/82人	<2030年に向けた指標> ①20%(4人/20人) ②20人 <取組開始3年後に向けた指標> ①15%(3人/18人) ②18人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 9日
住 所 さいたま市浦和区常盤9-22-14
県内企業等の名称 株式会社ムトーセーフ
代表者役職 氏名 代表取締役社長 櫻下 誠二

株式会社ムトーセーフ はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、快適な環境の創造が、人とふるさと埼玉の輝かしい未来へとつながるという理念に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。
この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	エネルギー使用量、温室効果ガスの排出量抑制の向上を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①電気使用量:57,848kwh/年 ②CO2排出量:62,970kg-co2/年	<2030年に向けた指標> ①2022年比 30%削減 ②2022年比 10%削減 <取組開始3年後に向けた指標> ①2022年比 10%削減 ②2022年比 5%削減
社会	社員参加型の社会貢献活動を推進する。 <(現状値)2022年の数値> 地域美化活動への参加:6回/年(のべ30人参加)	<2030年に向けた指標> 12回/年(のべ100人参加) <取組開始3年後に向けた指標> 8回/年(のべ40人参加)
経済	働き方改革を推進し、社員の有給休暇取得向上を図る。 <(現状値)2022年の数値> 有給休暇平均取得日数:5日/年	<2030年に向けた指標> 12日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 8日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 9日
住 所 さいたま市南区南浦和三丁目31番20号
県内企業等の名称 不動開発株式会社
代表者役職氏名 代表取締役 松永 満

不動開発株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は環境方針である「あらゆる分野で自主的、積極的に環境保全に取り組み循環型社会の実現貢献」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	社内書類について、ペーパーレス運動を基軸に印刷の際は不要用紙の裏紙使用、又両面印刷を徹底し紙使用量の削減を強化する。 <(現状値)2022年の数値> コピー用紙使用枚数:302,075枚/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 10%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 5%削減
社会	社内エコキャップ分別活動を徹底しワクチン支援寄付活動を行う。 <(現状値)2022年の数値> エコキャップ提供数:3.6kg(約1,600個)/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 5%増加 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 3%増加
経済	高齢者雇用を積極的に進め、多様な人材が活躍できる社会を目指す。 <(現状値)2022年の数値> 高齢者(65歳以上)雇用率:6%(3人/49人)	<2030年に向けた指標> 10%(5人/49人) <取組開始3年後に向けた指標> 8%(4人/49人)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 9日
住 所 埼玉県久喜市下早見1591
県内企業等の名称 株式会社河野解体工業
代表者役職 氏名 代表取締役 河野富美男

株式会社河野解体工業 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である[自社設備による廃棄物処理・資源リサイクルを互いに組み合わせ、新たな都市基盤構築を担う企業グループとして社会に貢献する]に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO2排出量削減のため社用車を順次環境配慮型車両にする。また、DX化を進め、ペーパーレス化を推進する。 <(現状値)2022年の数値> ①環境配慮型車両導入割合:57%(4台/7台) ②平均燃費:18.42km/ ③コピー用紙使用量:111,500枚/年	<2030年に向けた指標> ①85%(6台/7台) ②21km/l ③2022年比 5%削減 <取組開始3年後に向けた指標> ①71%(5台/7台) ②20km/l ③2022年比 3%削減
社会	社会貢献活動として、彩の国ロードサポート活動を実施する。 <(現状値)2022年の数値> 街の美化活動:3回/年 のべ18人参加	<2030年に向けた指標> ①11回/年 のべ66人参加 <取組開始3年後に向けた指標> ①6回/年 のべ36人参加
経済	取引先の拡大を図り、地域経済に貢献するため、社員教育の強化によって資格保持者の割合を増加させる。 <(現状値)2022年の数値> ①一級土木施工管理技士:15.6%(5人/32人) ②二級土木施工管理技士:3.1%(1人/32人) ③解体工事施工技士:25%(8人/32人)	<2030年に向けた指標> ①25% ②12% ③34% <取組開始3年後に向けた指標> ①18% ②6% ③28%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 9日
住 所 埼玉県久喜市下早見1591
県内企業等の名称 第一金属株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役 河野富美男

第一金属株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「自社設備による廃棄物処理・資源リサイクルを互いに組み合わせ、新たな都市基盤構築を担う企業グループとして社会に貢献する」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点からDX化を進め、ペーパーレスを推進する。 <(現状値)2022年の数値> コピー用紙使用量:60,000枚/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 10%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 5%削減
社会	社会貢献活動として、彩の国ロードサポート活動を実施する。 <(現状値)2022年の数値> 美化活動実施回数:3回/年 のべ9人参加	<2030年に向けた指標> ①11回/年 のべ33人参加 <取組開始3年後に向けた指標> ①6回/年 のべ18人参加
経済	社員教育を強化し、業務に必要な有資格者を増やすことにより、取引先の拡大を図り、地域経済に貢献する。 <(現状値)2022年の数値> ①玉掛け技能講習修了者:2人(2人/9人) ②スクラップ受入総重量:411,889.5kg	<2030年に向けた指標> ①5人 ②受入総重量:440,000kg <取組開始3年後に向けた指標> ①3人 ②受入総重量:420,000kg

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 9日
住 所 埼玉県久喜市河原井町16-1
県内企業等の名称 埼玉エコロジー株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役 河野利美

埼玉エコロジー株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「自社設備による廃棄物処理・資源リサイクルを互いに組み合わせ、新たな都市基盤構築を担う企業グループとして社会に貢献する」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO2排出量削減のため、社用車を順次環境配慮型車両にする。 <(現状値)2022年の数値> ①環境配慮型車両の導入割合:40%(2台/5台) ②平均燃費:16.86km/l	<2030年に向けた指標> ①80%(4台/5台) ②20km/l <取組開始3年後に向けた指標> ①60%(3台/5台) ②18km/l
社会	社会貢献活動として、彩の国ロードサポート活動を実施する。 <(現状値)2022年の数値> 街の美化活動:3回/年 のべ30人参加	<2030年に向けた指標> 11回/年 のべ110人 <取組開始3年後に向けた指標> 6回/年 のべ60人
経済	社員教育を強化し、業務に必要な有資格者を増やすことにより、取引先の拡大を図り、地域経済に貢献する。 <(現状値)2022年の数値> ①車両系建設機械運転技能資格保有者:6人(6人/18人) ②産業廃棄物受入総重量:56,519kg/年	<2030年に向けた指標> ①8人 ②58,000kg/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①7人 ②57,000kg/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 9日
住 所 埼玉県川口市芝中田2-31-6
県内企業等の名称 株式会社アクシス
代表者役職氏名 代表取締役社長 山本佳奈子

株式会社アクシス

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「取引先様に信頼される経営・社員が生きがいを持ち、社会に役立つ経営」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO2削減のため、社用車を環境配慮型車両に切り替える。 <(現状値)2022年の数値> ①環境配慮型車両導入率:15%(1台/7台) ②平均燃費:15km/L	<2030年に向けた指標> ①100%(10台/10台) ②25km/L <取組開始3年後に向けた指標> ①50%(4台/8台) ②20km/L
社会	多様な人材が活躍できる社会を実現するため、女性採用を積極的に推進する。 <(現状値)2022年の数値> 女性雇用数:5人(5人/12人)	<2030年に向けた指標> 7人(7人/15人) <取組開始3年後に向けた指標> 6人(6人/14人)
経済	地域内循環の為、市内事業者との取引を増やす <(現状値)2022年の数値> 新規取引する市内業者:1社/年	<2030年に向けた指標> 5社/年 <取組開始3年後に向けた指標> 3社/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 9日
住 所 八潮市西袋717-1
県内企業等の名称 株式会社カナイグループ
代表者役職 氏名 代表取締役社長 金井 亮太

株式会社カナイグループ はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、事業方針として「すべての事業活動において、地球環境、人々の健康・安全の調和を最優先課題として、持続可能な社会生活の向上を目指し、省エネルギー・省資源・省時間・省行動に努めながら、良き企業人として地域社会等、社会の健全な発展に貢献する。」ことを掲げており、これは持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すことであり、全社員が誠実に事業活動に参加することによって、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	エネルギー使用量を削減するとともに、排出される一般廃棄物の削減を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①電気使用量:716,726kWh/年 ②一般廃棄物排出量:22,783kg/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 ①20%削減 ②20%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 ①10%削減 ②10%削減
社会	エコキャップ運動を推進し、CO2排出削減とともに、世界の子どものためのワクチン接種に寄与する。 <(現状値)2022年の数値> ①キャップ回収量:98kg(49,000個) ②CO2削減効果:358kg-CO2 (430個を燃やすと3.15kgのCO2発生)	<2030年に向けた指標> ①127kg ②30% <取組開始3年後に向けた指標> ①107kg ②10%
経済	女性の管理職登用や障害者雇用を積極的に進め、多様な働き方を推進する。 <(現状値)2022年の数値> ①女性の管理職数18人(18人/199人) ②障害者の雇用数:5人(5人/199人)	<2030年に向けた指標> ①30人 ②7人 <取組開始3年後に向けた指標> ①24人 ②6人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。